パソコンだから一歩進んだテレビの楽しみ方を

LaVie

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

パソコンを使う準備をしよう

『パソコンの準備と基本』

パソコンの接続やセットアップ／セキュリティやバックアップ／インターネットに接続する方法／基本機能／パソコンのおすすめ機能　など

トラブルが起きたときは

『パソコンのトラブルを解決する本』

パソコンの電源が入らない、パソコンが急に動かなくなったときは／画面が表示されない／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法　など

この本

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／インターネットの接続方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作　など

デスクトップにある
をダブルクリック

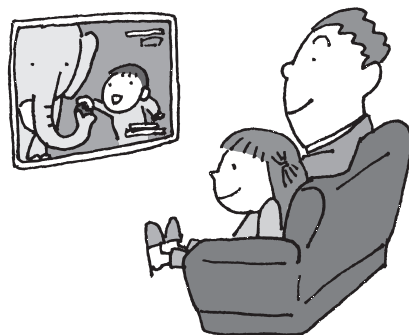
パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集など

853-810601-849-A

SmartVision ラクラク操作ガイド

巻頭の「ラクラク操作ガイド」では、このパソコンでテレビを楽しむための基本的な操作について説明しています。
テレビの便利な機能や高度な使い方については、「こんなときには」でちょっとだけご紹介しています。
「ラクラク操作ガイド」で基本的な操作に慣れたら、ぜひこのマニュアルをひととおりお読みになってください。きっとテレビをより便利に使いこなしていただくことができるでしょう。

設定はお済みですか?

パソコンでテレビを見るには
次の準備が必要です。
「ラクラク操作ガイド」を読む前に、
ワイヤレスTVデジタルを使えるように
しましょう。

☺ パソコンを使う準備をする

→『パソコンの準備と基本』をご覧ください

☺ ワイヤレスTVデジタルを使えるようにする

→ このマニュアルの PART1「ワイヤレス TV デジタルを設置する」(p.1)、「ワイヤレス TV デジタルの初期設定」(p.23)をご覧ください

Contents

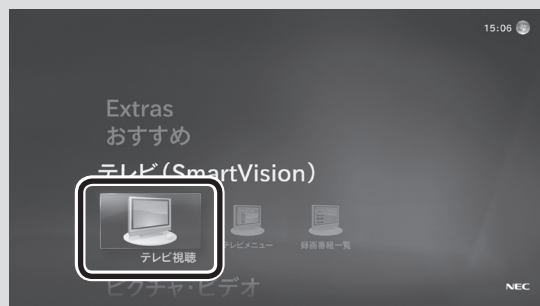
853-810601-849-A　2009年10月 初版

テレビを見る

テレビを見る

SmartVisionを起動する

「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」から、「テレビ(SmartVision)」をクリックします。

※テレビが起動するまでに、時間がかかることがあります。

詳しくは テレビを見る ➡ p.47

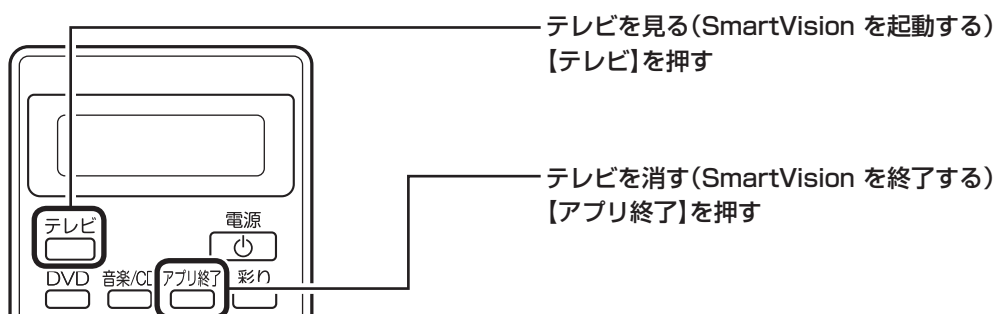
番組を選ぶ

の ▲ または ▼ をクリックします。

音量調節

の ＋ または － をクリックします。 をクリックすると消音されます。

詳しくは 音量を調節する ➡ p.50

SmartVisionを終了する

リモコンで操作するときは

詳しくは リモコンで操作する ➡ p.52

録画する

今見ている番組を録画する

録画を開始する

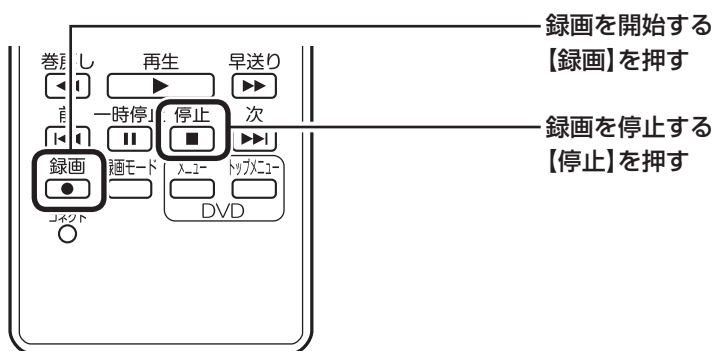
● をクリックします。

詳しくは 今見ている番組を録画する ➡ p.80

録画を停止する

■ をクリックします。

詳しくは 今見ている番組を録画する ➡ p.80

リモコンで録画するときは

詳しくは　リモコンで操作する ➡ p.52

もっと便利な録画方法

このパソコンでは、画面でテレビの番組表を見ることができます。この番組表を使って、予約録画をすることができます。

詳しくは　おてがる予約をする（番組表で予約する） ➡ p.86

再生する

録画番組を再生する

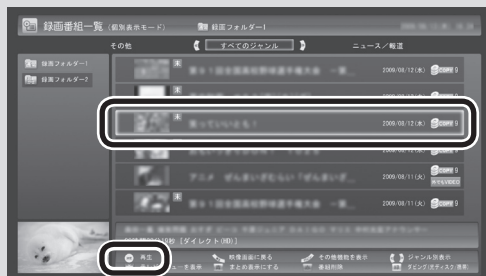
テレビメニューを表示する

をクリックします。

録画番組一覧を表示する

録画番組一覧 の、録画フォルダー 1をクリックします。

番組を選んで再生する

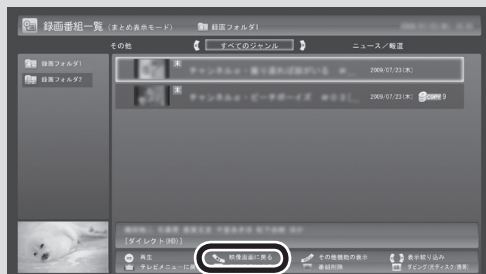
録画番組一覧で再生したい番組をクリックし、画面下の「再生」をクリックします。

再生中の番組を操作する

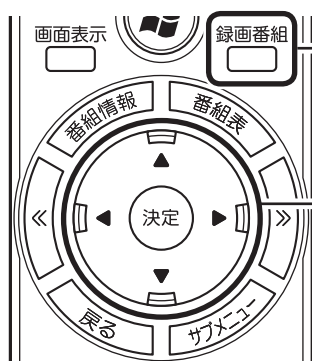
再生中は以下のボタンをクリックして操作できます。

再生を停止するときは、■ をクリックします。

詳しくは　**録画した番組を再生する ➡ p.102**

テレビ画面に戻る

再生を停止し、録画番組一覧の画面下の「映像画面に戻る」をクリックします。

詳しくは　**テレビ画面に戻る ➡ p.103**

リモコンで再生するときは

詳しくは　**リモコンで操作する ➡ p.52**

こんなときには

ここでは、このパソコンのテレビに搭載された「こんなときに使いたい機能」をご紹介しています。これらの機能を使って、テレビをより便利に楽しんでください。

新番組や興味のある番組を自動で録画したい

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それに合った番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。また、「新番組おまかせ録画」では新番組を自動で録画できます。

詳しくはこちら → PART5の「おまかせ録画をする」(p.111)
PART5の「新番組おまかせ録画をする」(p.118)

録画番組のお気に入りのシーンだけ残したい

録画番組の不要な部分をカットして、お気に入りのシーンだけ保存することができます。

詳しくはこちら → PART7の「簡易編集機能を使う」(p.159)

録画した番組を携帯電話で楽しみたい

録画した番組を携帯電話に転送して視聴することができます。

詳しくはこちら → PART7の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.162)

ハードディスクを節約したい

ハードディスクの残り容量が少なくなったら、保存しておきたい番組をDVDなどに保存して、不要となった番組はハードディスクから削除することができます。

詳しくはこちら → PART5の「録画した番組を削除する」(p.106)
PART6の「番組を光ディスクに保存する」(p.132)

ハードディスクを増設する

ハードディスクの残り容量が少なくなってきた。こんなときには、USB接続の外付けハードディスクを増設することができます。増設したハードディスクに録画したり、録画した番組を移動することもできます。

詳しくはこちら → PART7の「外付けハードディスクを利用する」(p.151)

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)または、DVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「ソフト＆サポートナビゲーター」はデスクトップの（ソフト＆サポートナビゲーター)をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 7	Windows® Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD AVC for NEC	InterVideo® WinDVD® AVC for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows
ウイルスバスター	ウイルスバスター ™2009

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
（10） この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
（11） 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

G-GUIDE for Windowsは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目次 CONTENTS

PART 5

付　録　211

ワイヤレスTVデジタルを設置する

ワイヤレスTVデジタルを使う前に、添付品の確認や、接続が必要です。

説明の流れ

ワイヤレスTVデジタルが使えるようになるまでの流れを説明します。

1 パソコンを使う準備をする

パソコンの接続をする

Windowsのセットアップをする

ワイヤレスTVデジタルを使う前に、まずはパソコンを使えるようにします。
『パソコンの準備と基本』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。

●見るマニュアル
『パソコンの準備と基本』

●必要な準備
- パソコンの設置
- パソコンの接続
- Windowsのセットアップ

2 ワイヤレスTVデジタルを使う準備をする

ワイヤレスTVデジタルの接続(アンテナケーブル、B-CASカード)をする

Windows Media Center(ウィンドウズ メディア センター)のセットアップをする

ワイヤレスTVデジタルの初期設定とテレビの初期設定(チャンネルや番組表の設定)をする

ワイヤレスTVデジタル本体と、テレビを見るためのソフト(SmartVision、Windows Media Center)の設定をします。このマニュアルで使い方を説明しています。

●見るマニュアル
『テレビを楽しむ本』(この本)

●必要な準備
- ワイヤレスTVデジタルの設置と接続(p.1)
- Windows Media Centerのセットアップ(p.25)
- ワイヤレスTVデジタルの初期設定(p.26)
- テレビ初期設定(p.29)

3 インターネットに接続する

●見るマニュアル
- ・『パソコンの準備と基本』
- ・『テレビを楽しむ本』（この本）

●必要な準備
- ・回線事業者やプロバイダとの契約
- ・インターネットへの接続（p.42）

ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネットに接続する

ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネットに接続できるようにします。このマニュアルで使い方を説明しています。

準備完了
さぁ、テレビを楽しみましょう！

PART 1
ワイヤレスTV
デジタルを
設置する

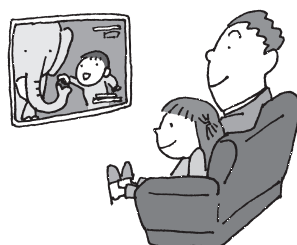
ワイヤレスTVデジタルでできること

ワイヤレスTVデジタルを使って楽しめるテレビ放送やインターネットの機能について説明します。

ワイヤレスTVデジタルで楽しめるテレビ放送

ワイヤレスTVデジタルでは、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まったテレビ放送です。デジタル放送になっているため、今までのアナログ放送に比べて高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

●BS・110度CSデジタル放送
デジタルで放送されている衛星放送です。BSデジタル放送と「スカパー！ e2」の番組が見られます。地上デジタル放送と同じく、高画質、高音質、データ放送などの特長があります。

アクセスポイントとして使う

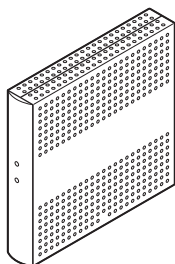
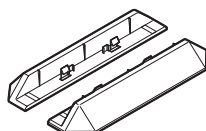
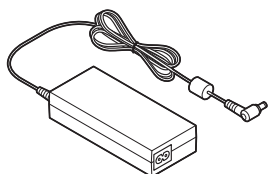
ワイヤレスTVデジタルは、IEEE802.11n対応のワイヤレスLANアクセスポイントとして動作します。
ワイヤレスTVデジタルをインターネットの設定がされたルータに接続することで、ワイヤレスTVデジタルを通じてインターネットを楽しむことができます。

安定してテレビを受信するため、テレビ視聴中および録画中は、他のパソコンも含めてワイヤレスTVデジタルを使ってネットワークに接続しないことをおすすめします。

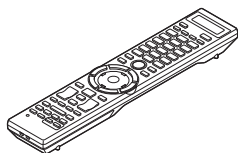
PART 1 ワイヤレスTVデジタルを設置する

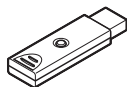
添付品を確認する

ワイヤレスTVデジタルを使用するために必要な添付品がそろっているか確認してください。

ワイヤレスTVデジタルのパッケージの添付品

□ワイヤレスTVデジタル本体

□スタンド

□ACアダプタ

□電源ケーブル

パソコン本体の添付品

□リモコン

□リモコン用乾電池
(単3形×2本)

□リモコン受信用
ユニット

□B-CASカード

□BS・110度CSデジタル放送パンフレット／加入契約申込書
□テレビを楽しむ本(このマニュアル)

チェック

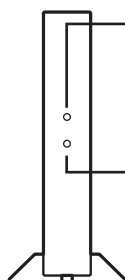
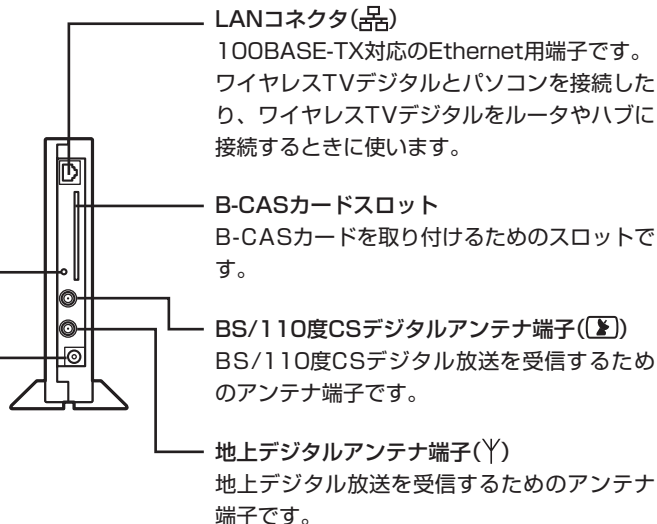
●ワイヤレスTVデジタルには、ワイヤレスTVデジタルのパッケージに同梱されたACアダプタ、電源ケーブルを使用してください。
●ワイヤレスTVデジタルのパッケージに同梱されたACアダプタ、電源ケーブルは他の製品に使用しないでください。

PART 1

ワイヤレスTVデジタルを設置する

各部の名称

ワイヤレスTVデジタルの各部の名称と役割を説明します。

前面

背面

PART 1 ワイヤレスTVデジタルを設置する

設置場所についての注意

ワイヤレスTVデジタル本体を設置するときは、次の点に注意してください。

設置に適した場所

・水平で落下のおそれがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所
・ワイヤレスTVデジタルの側面から5cm以上の空間がある場所

設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・収納棚や本棚など風通しの悪い狭い場所
・壁などの近く
・不安定な場所
・水のかかる場所
・通風孔（本体上面、両側面）をふさぐような場所
・横向きに設置するような場所
・油とびや湯気がかかる場所
・テーブルクロスなどがかかるような場所

チェック

●ワイヤレスTVデジタルを設置する時に、人体より20cm以内になるような生活空間には設置しないでください。

●動作不良の原因となりますので、ワイヤレスTVデジタル本体の上に物などを乗せないでください。

参照

使用時の注意について→『安全にお使いいただくために』-「本体」、「電源、電源コード、ACアダプタ」

安定した通信をおこなうために

安定した通信をするために、次のことに注意してください。

・ ワイヤレスTVデジタルと通信するパソコン（またはワイヤレスLAN機器）は、できるだけ周りに障害物がなく、見通しの良い場所で使用する
・ ワイヤレスTVデジタルと通信するパソコンは1.5m以上離して使用する（距離が近すぎると、通信速度が低下して、テレビの画像が停止したり、スムーズに動かない場合があります）

PART 1
ワイヤレスTV
デジタルを
設置する

アンテナについての注意

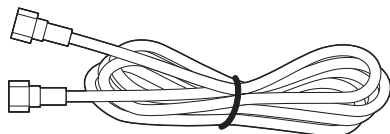
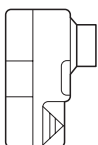
ワイヤレスTVデジタルの接続前に、必要なものやアンテナの環境を確認します。

ここでは、ワイヤレスTVデジタルでテレビを見るために必要なケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナへの接続方法など、テレビを見る前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
ここでの説明をお読みいただいてから、「ワイヤレスTVデジタルを接続する」(p.14)に進んでください。

テレビを見るために用意していただくもの

次のものは本機に添付されておりません。必要に応じて市販のものを用意してください。

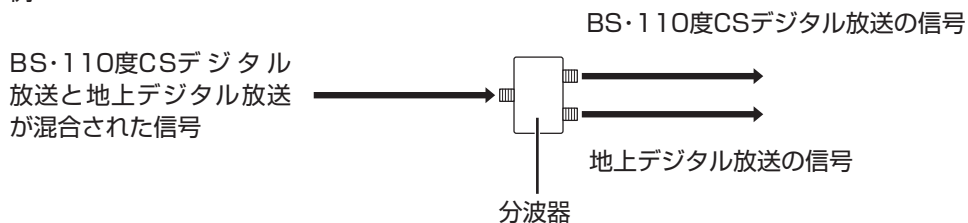
●必ず用意していただくもの

・F型コネクタ付きアンテナケーブル

F型コネクタには、ネジタイプのものと箱形のものがあります。ワイヤレスTVデジタルのアンテナ端子にはネジタイプのプラグを取り付けてください。

●必要に応じて用意していただくもの

ここでは代表的なものについてご紹介します。受信環境によって使用するものが異なります。たとえば、BS･110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給する場合に、電流通過型の機器が必要になる場合があります。ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

・分波器

複数の信号がまとめて送られている信号線(アンテナ線)から、それぞれの信号を分けて出力する機器です。地上デジタル放送とBS･110度CSデジタル放送の信号が、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されているとき、必要になります。まとめて供給されている場合、本機へ接続する時には分波器を使って地上デジタル放送(UHF)とBS･110度CSデジタル放送に分けてから接続してください。

例

・分配器

1つの受信電波を複数のテレビ(またはテレビを搭載したパソコンなど)に分配する機器です。

・混合器

複数の放送電波を1本のアンテナ線に混合してまとめる機器です。

・ブースター

受信した電波が弱いとき、増幅する機器です。

・アッテネーター

受信した電波が強すぎるとき、減衰する機器です。

テレビを受信するためには

■ 地上デジタル放送を受信するためには

地上デジタル放送はUHFで放送されています。視聴するためには、
次のことを確認してください。

TVをケーブルTVで見ていますか？

見ている ▶ ▶「ケーブルテレビをご利用の場合」(p.13)

見ていない ▼

すでにTVなどで地上デジタル放送を見ていますか？

見ている ▶ 地上デジタル放送を視聴できます。
アンテナケーブルの接続状態によっては電波を強めたり、分けたりすることが必要になります。

見ていない ▼

お住まいは集合住宅ですか？戸建て住宅ですか？

集合住宅 ▶ ▶「集合住宅にお住まいの場合」(p.13)

戸建て住宅 ▼

お住まいにUHFアンテナは立っていますか？

立っていない ▶ 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置する必要があります。

立っている ▼

地上デジタル放送を視聴できます。
必要に応じて、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置したり、すでに立っているUHFアンテナの方向を調節してください。

アンテナの設置や状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

■ BS・110度CSデジタル放送を受信するためには

●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナが正しく設置されていること

BS・110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。

また、アンテナが衛星に向けて設置されている必要があります。

※:従来のBS・110度CSアナログ放送用のアンテナでは、受信できないことがあります。

●有料放送については申し込みがすんでいること

有料放送は、視聴するための申し込みが必要です。

チェック

アンテナの状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

■ 視聴できない放送について

地上アナログ放送は視聴することはできません。
ケーブルテレビでは、BS・110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

アンテナケーブル接続前に確認すること

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の信号の供給方法によって、アンテナの接続方法が異なります。
接続する前に、ご自宅のアンテナの接続状態を確認してください。

チェック

●ここでは一般的な接続例について説明しています。テレビのご利用環境によって、ご用意いただくもの(ケーブル、分波器、分配器など)が異なります。

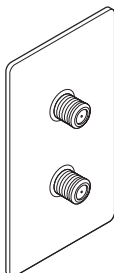
●集合住宅にお住まいのかたやケーブルテレビをご利用のかたは必要に応じて、その他のご注意(p.13)もあわせてご覧ください。

●使用するケーブルなど、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

ご家庭のアンテナ端子について

一般的なご家庭では、屋外のアンテナからの信号線やケーブルテレビの信号線が、屋内の壁に取り付けられたアンテナ端子に接続されています。
信号線の接続方法によって、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、個別のアンテナ端子に供給されている場合と、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されている場合があります。

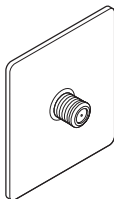
■ 壁側のアンテナ端子が2つの場合

BS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子および地上デジタル放送のアンテナ端子

※:建物によってはこれ以外の形のアンテナ端子が設置されていることもあります。

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

■ 壁側のアンテナ端子が1つの場合

BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送が混合されたアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

分波器

壁側の端子を確認したら、「ワイヤレスTVデジタルを接続する」(p.14)へ進んでください。

チェック

- アンテナ端子の状況など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。
- アンテナ端子が1つの場合、地上デジタル放送の信号だけ供給されていたり、BS・110度CSデジタル放送の信号だけ供給されている場合があります。ご家庭のアンテナ端子がどの放送波に対応しているかをご確認の上、接続をおこなってください。

その他のご注意

■ 集合住宅にお住まいの場合

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合は、次の点にご注意ください。

・ 地上デジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
・ BS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
・ 共聴受信の場合は、「ご家庭のアンテナ端子について」(p.12)の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」の説明に従って接続してください。なお、お住まいの集合住宅の受信形態によってはテレビが受信できない場合があります。詳しくは、集合住宅の管理者かお近くの電器店にご相談ください。

■ ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、次の点にご注意ください。

・ ケーブルテレビ事業者が次のいずれかで地上デジタル放送を再配信しているときは、地上デジタル放送を視聴することができます。
  ・ 同一周波数パススルー方式
  ・ 周波数変換パススルー方式
  これら以外の方式の場合は、地上デジタル放送が視聴できません。お近くの電器店などにご相談ください。
・ ケーブルテレビ事業者により、視聴制限(スクランブル)を設定されたチャンネルは受信できません。
・ ケーブルテレビで受信可能な放送については、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
・ アンテナ線や受信環境について詳しくは、ケーブルテレビ局、またはお近くの電器店にご相談ください。

PART 1

ワイヤレスTV デジタルを 設置する

ワイヤレスTVデジタルを接続する

アンテナ線や電源ケーブルなどを接続します。

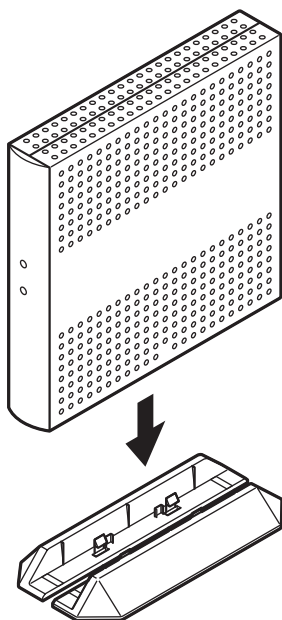
■ ESSID(SSID)を確認する

接続を始める前に、本体側面に記載されているESSIDを確認します。ESSIDは後で、ワイヤレスTVデジタルの初期設定をするときに必要となります。ワイヤレスTVデジタル本体左側面の型番などを記載している部分をご覧になり、ESSIDを控えてください。

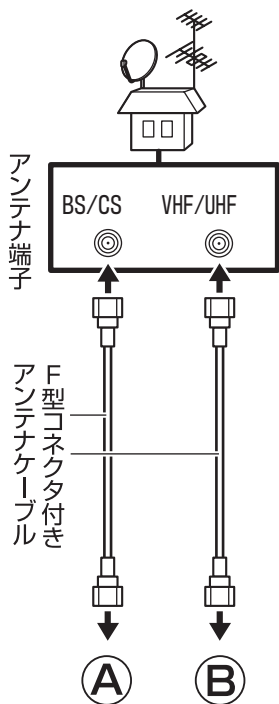
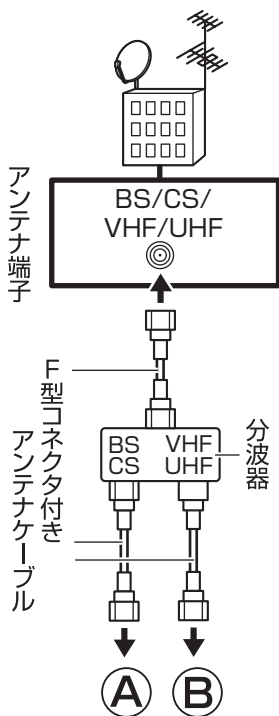
ESSID(無線ネットワーク名)　WT-______________

スタンドを取り付ける

添付のスタンドを取り付け、立てて使用します。

1 ワイヤレスTVデジタル本体底面の穴に、スタンドのツメを合わせてはめ込む

横置きで使用しないでください。必ずスタンドを取り付けて、縦置きでご使用ください。

アンテナ線を接続する

●壁側のアンテナ端子が2つの場合

●壁側のアンテナ端子が1つの場合

チェック

●アンテナ線を接続する前にワイヤレスTVデジタルの電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。また、周辺機器が、ワイヤレスTVデジタルに接続されている場合は、周辺機器の電源も切ってください。

●あらかじめ「アンテナについての注意」(p.8)をご覧になり、お住まいの受信環境に合わせて、壁側のアンテナ端子にアンテナケーブルと必要機器を接続しておいてください。

参照

壁側のアンテナ端子について→このPARTの「ご家庭のアンテナ端子について」(p.12)

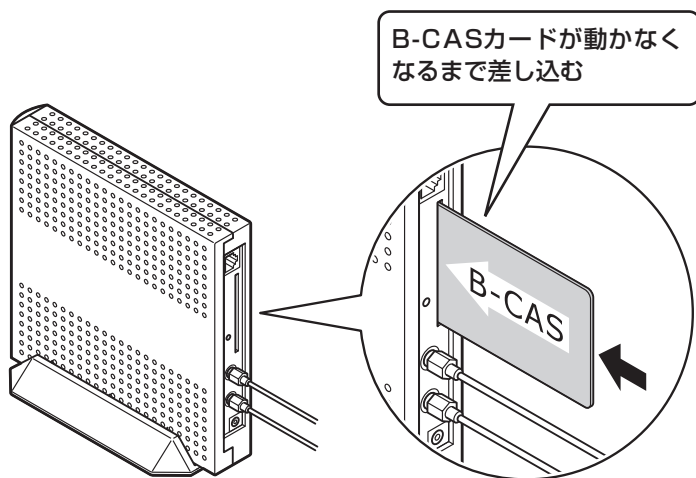
1 本体背面の地上デジタルアンテナ端子(Y)にアンテナケーブルのF型コネクタプラグを差し込み、まわらなくなるまでしっかりしめる

アンテナ線の端子がネジ式でないときは、しっかりと押し込んで固定してください。

2 本体背面のBS/110度CSデジタルアンテナ端子( )にアンテナケーブルのF型コネクタプラグを差し込み、まわらなくなるまでしっかりしめる

アンテナ線の端子がネジ式でないときは、しっかりと押し込んで固定してください。

B-CASカードをセットする

下の図のように、B-CASカードをセットします。「B-CAS」の印刷面に注意して、矢印の方向にしたがいB-CASカードをセットしてください。

チェック

デジタル放送を受信するためには、添付されている「B-CASカード(ビーキャスカード)」をセットする必要があります。B-CASカードをセットしないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードについて詳しくは付録の「B-CASカードについて」(p.217)をご覧ください。

ACアダプタと電源ケーブルを接続する

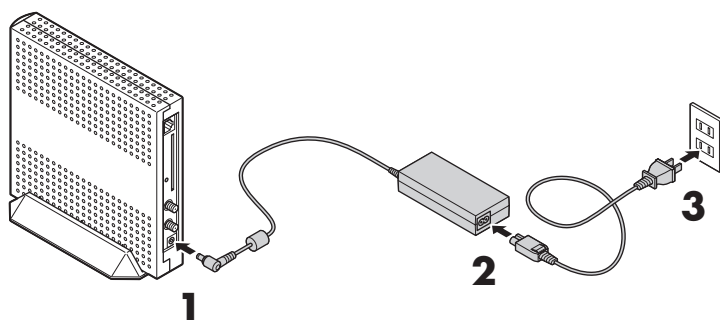
1 **ACアダプタをワイヤレスTVデジタル本体背面のDCコネクタに接続する**

2 **電源ケーブルをACアダプタに接続する**

3 **電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込む**

電源ランプ(⏻)とTVランプ(TV)が点灯し、ワイヤレスTVデジタルの電源が入ります。TVランプ(TV)が消灯すると使用できるようになります。

■ ワイヤレスTVデジタルの電源を切る

電源を切る場合は、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

チェック

- ワイヤレスTVデジタル本体の電源は、たこ足配線などを避け、ほかの機器と別系統で取るようにしてください。必ず添付のACアダプタを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。それ以外のACアダプタやコンセントを使用しないでください。
- ワイヤレスTVデジタル本体には電源スイッチがありません。電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んだ時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ワイヤレスTVデジタルのACアダプタ、電源ケーブルはAC100V用(日本仕様)です。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタ(電源ケーブルのプラグ)をコンセントから抜いてください。
- ワイヤレスTVデジタルには、ワイヤレスTVデジタルのパッケージに同梱されたACアダプタ、電源ケーブルを使用してください。
- ワイヤレスTVデジタルのパッケージに同梱されたACアダプタ、電源ケーブルは他の製品に使用しないでください。
- ワイヤレスTVデジタルの電源を入れてから起動するまで約1分かかります。TVランプ(TV)が消灯すると使用できるようになります。

PART 1

ワイヤレスTVデジタルを設置する

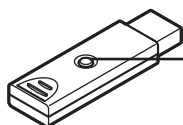
リモコンの接続をする

リモコンが添付されたモデルの場合、リモコンを使う準備が必要です。

リモコンを使えるようにするには、次の作業が必要です。
・パソコンにリモコン受信用ユニットを取り付ける
・リモコンに乾電池を入れる

参照

リモコン、リモコン受信用ユニットについて→このPARTの「添付品を確認する」(p.5)

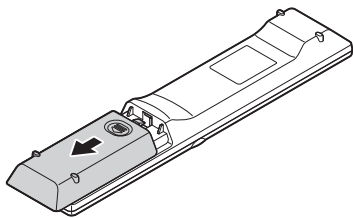
パソコンにリモコン受信用ユニットを取り付ける

リモコン受信用ユニット

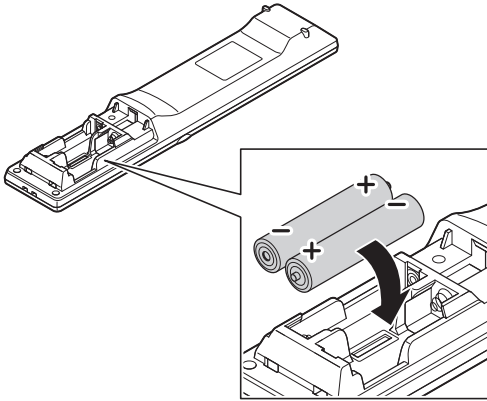
リモコンの信号を受信するためのユニットをUSBコネクタにとりつけます。
リモコン受信用ユニットのコネクトボタンが上になるように差し込んでください。

ポイント

どのUSBコネクタに差し込んでもかまいません。

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す

2 添付の単3形乾電池を入れる

電池の向きに注意して入れてください。

3 電池カバーを元のように取り付ける

■ リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、リモコン受信用ユニットから約3mの範囲で操作してください。

PART 1

ワイヤレスTV
デジタルを
設置する

ワイヤレスLAN(無線LAN)のセキュリティについて

セキュリティに関するご注意

■ 無線LAN(ワイヤレスLAN)製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意　お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！

ワイヤレスLAN(無線LAN)では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどとワイヤレス(無線)アクセスポイント間で情報のやりとりをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生することがあります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
　メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
　傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
　コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスLAN(無線LAN)カードやワイヤレス(無線)アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレスLAN(無線LAN)製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

チェック

これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。

ポイント

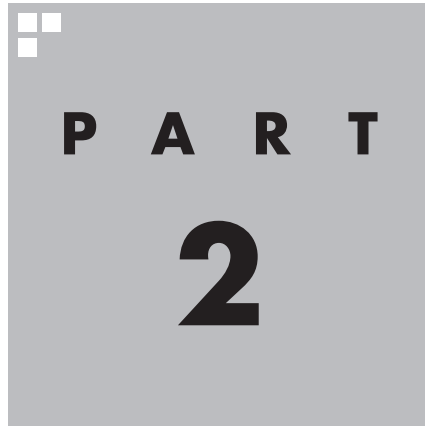
- 初期設定をおこなうと、WPAによるセキュリティが設定されます。
- ワイヤレスTVデジタルのアクセスポイントのセキュリティ設定は、「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」の「アクセスポイント設定」を使っておこないます。「アクセスポイント設定」について詳しくは、付録の「アクセスポイント設定」(p.238)をご覧ください。
- ワイヤレスLAN機器のセキュリティ設定は、ワイヤレスLAN機器に添付のマニュアルで確認してください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、NEC 121コンタクトセンターまでお問い合わせください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレスLAN(無線LAN)の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティを高めるための機能として、ワイヤレスTVデジタルでは、WEP機能、ESSID(ネットワーク名)の設定、WPA-PSK機能を利用できます。

このほかにも、無線LANを使わないときはパソコンのワイヤレススイッチをオフにすることで、セキュリティ効果が高まります。

ワイヤレススイッチをオフにすると予約による録画ができなくなります。予約をしているときは、ワイヤレススイッチはオンのままお使いください。

ワイヤレスTVデジタルの初期設定

ワイヤレスTVデジタルを使う前に、初期設定が必要です。

PART 2
ワイヤレスTV
デジタルの
初期設定

初期設定の前に

ワイヤレスTVデジタルを使いはじめる前に、パソコンやワイヤレスTVデジタルの設定をおこないます。

パソコンのセットアップは済んでいますか？

ワイヤレスTVデジタルを使うには、まずパソコンを使う準備（ケーブル類の接続、セットアップ作業）をする必要があります。まだ終わっていないかたは、『パソコンの準備と基本』をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にワイヤレスTVデジタルを使うための準備をおこないます。

チェック

- ●CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- ●CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- ●ワイヤレスTVデジタルにCATVホームターミナルを接続することはできません。視聴に別途ホームターミナルなどの装置が必要な場合は、CATVから地上デジタル放送を受信することはできません。
- ●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

ワイヤレスTVデジタルをセットアップする

「Windows Media Center」、「ワイヤレスTVデジタル初期設定」、「テレビ初期設定」の3つをおこなって、ワイヤレスTVデジタルを使えるようにします。

Windows Media Centerをセットアップする

ワイヤレスTVデジタルでテレビを見るには「SmartVision(スマートビジョン)」というソフトを使います。
SmartVisionは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

1 「スタート」-「Windows Media Center」をクリック

セットアップの画面が表示されます。

2 「Windows Media Centerへようこそ」と表示されていることを確認し、「続行」をクリック

3 「推奨設定」をクリック

次の画面(Windows Media Centerのメインメニュー)が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、ワイヤレスTVデジタルの初期設定をします。

ポイント

- 「推奨設定」では、パソコンの状態などが自動的に確認され、その結果に合わせてWindows Media Centerが自動設定されます。
  「カスタム設定」を選んだときは、パソコンの状態などを判断しながら手動で設定をおこないます。特に必要がない限り、「推奨設定」を選ぶことをおすすめします。
- Windows Media Centerのメインメニューで「タスク」の「設定」を選び、表示された「設定」画面で「全般」-「Windows Media Centerセットアップ」-「セットアップの再実行」を選んで、Windows Media Centerのセットアップをやりなおすことができます。

■ Windows Media Centerの設定変更

設定が完了したら、次の手順でWindows Media Centerの設定を変更してください。この設定をおこなわないと、予約録画の終了後にパソコンが省電力状態やシャットダウン状態にならない場合があります。

1.「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「タスクスケジューラ」をクリック
2.画面左側の「タスクスケジューラ ライブラリ」-「Microsoft」-「Windows」-「Media Center」をクリック
3.「名前」欄にある「mcupdate_scheduled」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック
4.「トリガー」タブをクリックし、「編集」をクリック
5.「タスクの開始」が「ログオン時」になっていない場合は「ログオン時」に設定して「OK」をクリック
6.「mcupdate_scheduledのプロパティ」の「OK」をクリック
7.「タスクスケジューラ」のをクリック

これで設定は完了です。

ワイヤレスTVデジタルの初期設定をする

ワイヤレスTVデジタルとパソコンが通信できるように、ワイヤレスTVデジタルの初期設定をします。

■ パソコンのワイヤレスLAN機能を有効にする

ワイヤレスTVデジタルとパソコンが通信できるように、あらかじめパソコンのワイヤレスLAN機能を有効にします。

1 ワイヤレススイッチがオンになっているか確認する

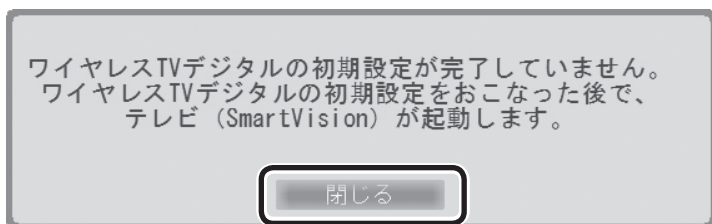
ワイヤレススイッチがオフになっている場合は、オンにしてください。ワイヤレススイッチについて詳しくは『パソコンの準備と基本』をご覧ください。

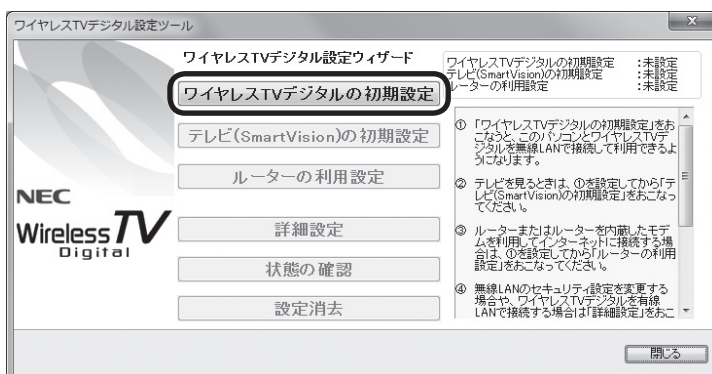
チェック

- パソコンおよびワイヤレスTVデジタルには、まだLANケーブルをつながないでください。パソコンやワイヤレスTVデジタルがネットワークに接続していると、正しく初期設定ができない場合があります。
- ワイヤレスTVデジタル以外のワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことのある場合は、初期設定を実行する前に、「ほかのワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことのある場合の設定を知りたい」(p.210)をご覧になり、ワイヤレスLANの設定をおこなってください。

■「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」で設定する

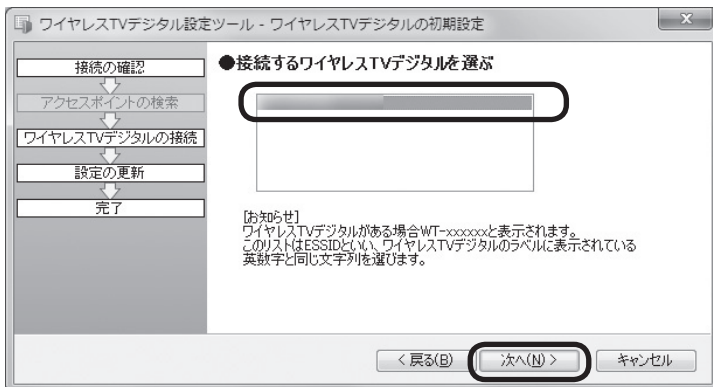
1 Windows Media Centerの「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」をクリック

2 「閉じる」をクリック

自動的に、「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が表示されます。

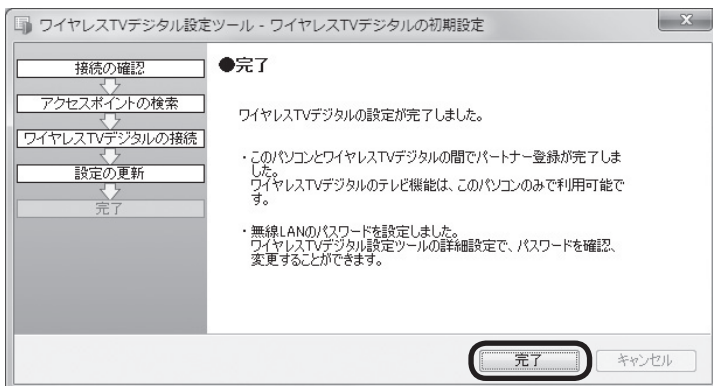
3 「ワイヤレスTVデジタルの初期設定」をクリック

4 内容を確認して、「次へ」をクリック

設定可能なワイヤレスTVデジタルを検索する画面が表示されます。検索が終わると、見つかったワイヤレスTVデジタルが表示されます。

> **チェック**
> ワイヤレスTVデジタルの初期設定を中止するときは「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。

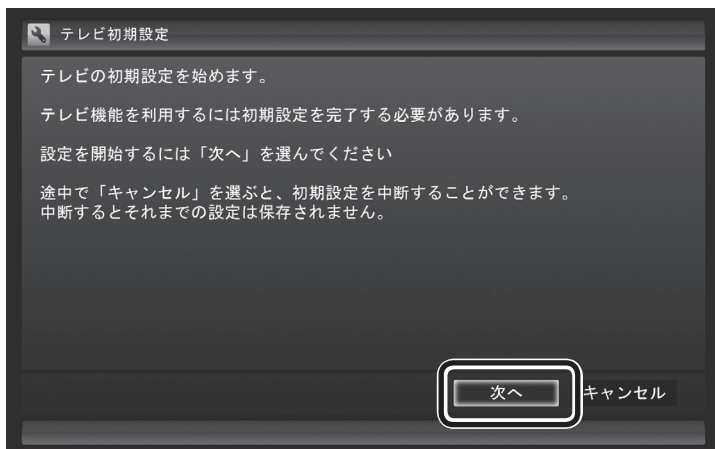
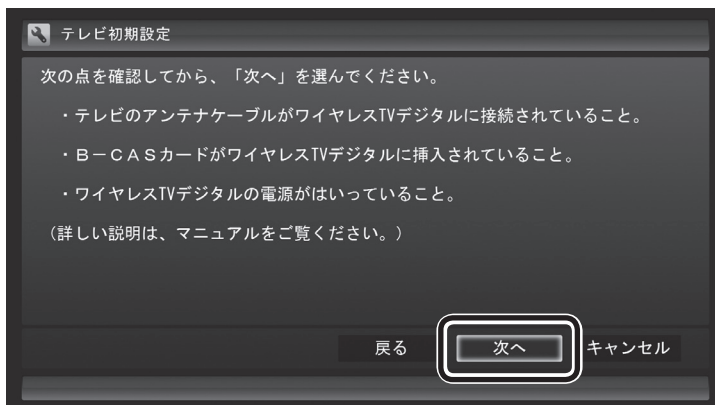
5 表示されたワイヤレスTVデジタルをクリックして、「次へ」をクリック

「設定動作中」画面が表示されます。次の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。

> **チェック**
> ここで、複数のワイヤレスTVデジタルが表示された場合、「ESSID(SSID)を確認する」(p.14)で番号を控えたワイヤレスTVデジタルを選択してください。

6 「完了」をクリック

これで、ワイヤレスTVデジタルとパソコンが接続されました。
続いて、自動的に「テレビ初期設定」の画面が表示されます。

テレビ初期設定をする

■ チャンネルなどの設定

1 「次へ」をクリック

2 「次へ」をクリック

「ワイヤレスTVデジタルを確認中」と表示されます。次の画面が表示されるまで何も操作せずにお待ちください。

チェック

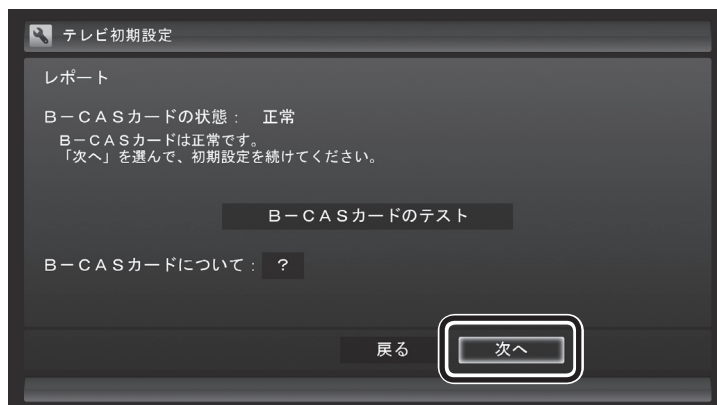
- テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- パソコンのCD/ハードディスクアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

参照

接続について→PART1の「ワイヤレスTVデジタルを接続する」(p.14)

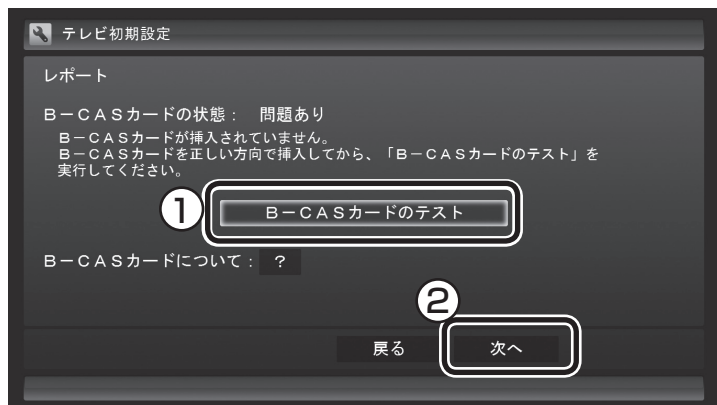
3 B-CASカードの状態を確認する

「正常」と表示されたときは

「次へ」をクリックして手順4に進んでください。

「問題あり」と表示されたときは

B-CASカードに問題があります。PART1の「B-CASカードをセットする」(p.17)をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

① B-CASカードをセットしなおしたら、「B-CASカードのテスト」をクリックしてください。

② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」をクリックして手順4に進んでください。

画面内に「？」が表示されているときは、「？」をクリックすると、その項目についての説明が表示されます。

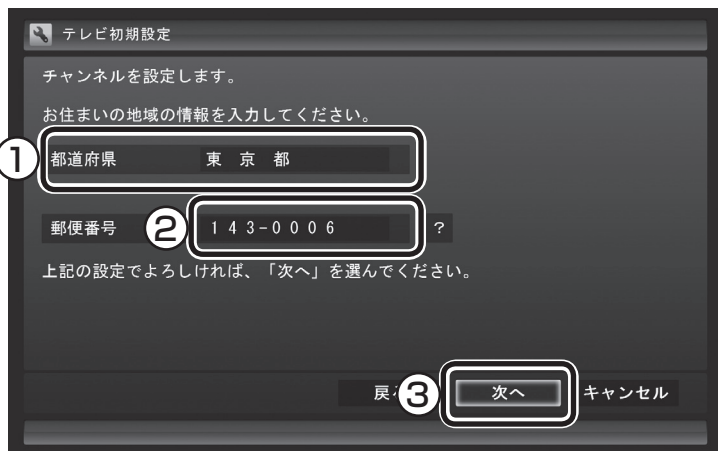
チェック

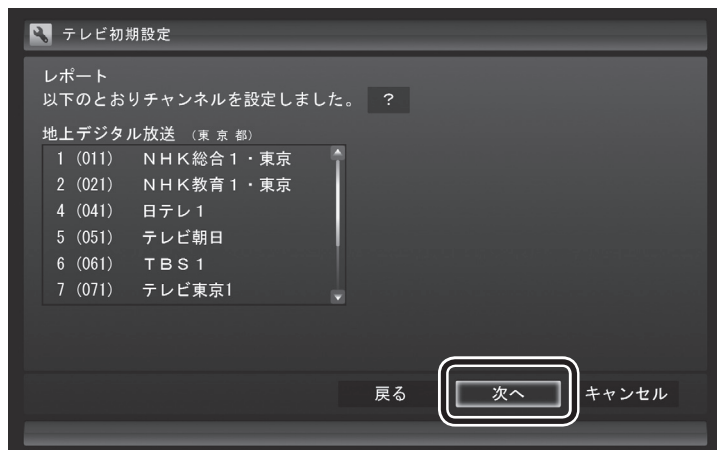
「B-CASカードを読み取れません。」と表示されたときは、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。PART1の「B-CASカードをセットする」(p.17)をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

4 チャンネル設定をする

① ここをクリックし、お住まいの都道府県をクリック

② ここをクリックし、キーボードで数字を入力し、【Enter】を押す

③ 都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」をクリック

自動的に、地上デジタル放送のチャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、自動的にレポート画面が表示されます。

5 チャンネル設定を確認し、「次へ」をクリック

Windowsのログオンパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、手順7に進んで、設定結果について確認してください。

ポイント

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」をクリックして設定を進め、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)をご覧ください。

6 パスワードを入力する

① ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認する（ユーザー名は一例です）

② ここをクリックし、キーボードでパスワードを入力し、【Enter】を押す

③「次へ」をクリック

7 BSデジタル放送の受信状態を確認

BSデジタル放送の受信状態が表示されます。

①「次へ」をクリック

●この画面は、Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は表示されません。

●この画面の設定を行うと、Windowsが省電力状態（スリープ、休止状態）から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。

ポイント

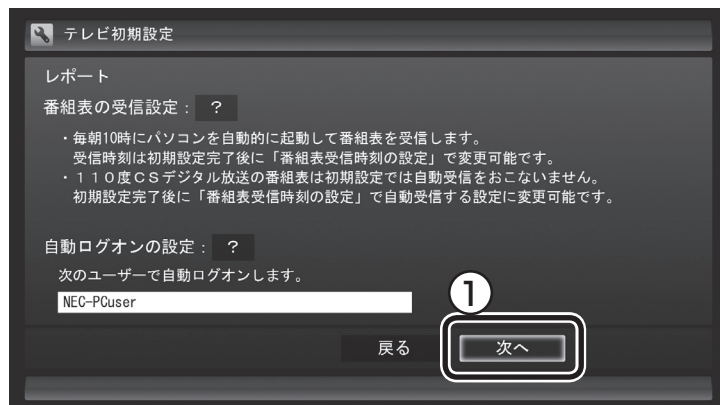
●「受信レベルの確認」を選んで表示される画面で、受信レベルを確認することができます。

●受信レベルに問題があるときは、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)をご覧ください。

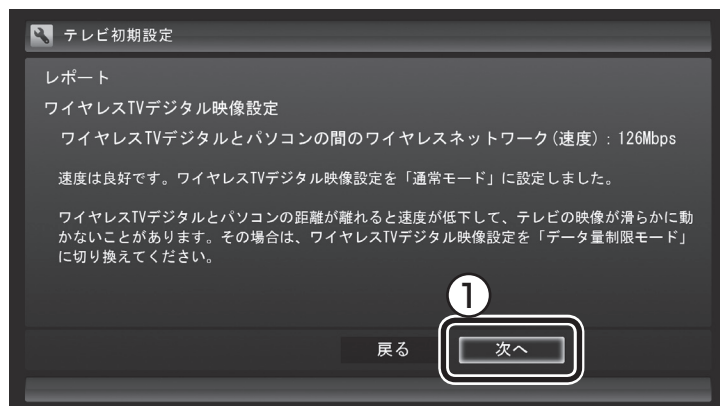
●アンテナの電源は、「受信レベルの確認」を選んで表示される画面で設定してください。

8 番組表と自動ログオンの確認

番組表の受信についてと自動ログオンするユーザー名が表示されます。

① 「次へ」をクリック

9 ワイヤレスネットワークと動作モードの確認

ワイヤレスネットワークの速度と、設定される動作モードが表示されます。

① 「次へ」をクリック

チェック

- 番組表を毎日受信する設定にすると、番組表を受信するためにパソコンの電源が切れていても自動的に電源ON/OFFします。
- ご購入時の状態では、毎日10:00 ～ 16:00の正時毎に番組表の自動受信がおこなわれる設定になっています。なお、番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信がおこなわれません。
- ワイヤレスTVデジタル本体の電源が入っていないときは、正時ごとに起動します。一日に何度も起動する場合は、ワイヤレスTVデジタルの電源が入っているか確認してください。

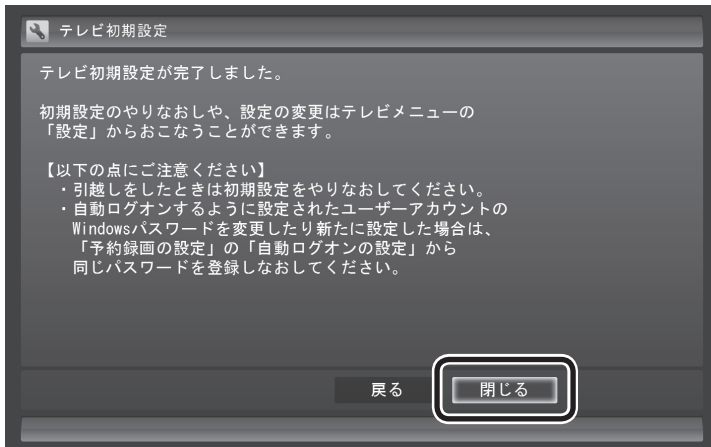
チェック

- 測定されたワイヤレスLANの速度によって、動作モードが設定されます。
  - 100Mbps以上：通常モード
  - 40Mbps ～ 100Mbps未満：データ量制限モード
  - 40Mbps未満：データ量制限モード

    ワイヤレスTVデジタルとパソコンの位置を近づけるなど、環境を変更するか、有線LANでパソコンとワイヤレスTVデジタルを接続してください。
- 「データ量制限モード」では、視聴時のカクツキなどの画面の乱れを軽減することができます。しかし、利用できる機能や画質が制限されています。できる限り、「通常モード」で利用できる環境（ワイヤレスLANの速度が100Mpbs以上）で使うことをおすすめします。

参照

- データ量制限モード→付録の「データ量制限モードについて」（p.214）
- 有線LANでの接続→付録の「詳細設定」（p.234）

10 「閉じる」をクリック

テレビ画面が表示されます。
これで、テレビの初期設定は完了です。
設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)をご覧ください。

■ Windows復帰時のパスワード入力画面について

ご購入時には、パソコンが省電力状態などから復帰するとき、ログオン画面(復帰時のパスワードを入力する画面)が表示される設定になっていますが、テレビ初期設定をすると、この画面が表示されないよう設定が変更されます。
テレビの予約視聴や予約録画をおこなうために、省電力状態などからパソコンを自動復帰させる際、この画面でWindowsの動作が停止(パスワードの入力待ち状態)してしまうことを防ぐためです。
この設定は、「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」で電源プランを選んで変更できますが、ログオン画面が表示される設定(「復帰時のパスワードを必要とする」を「はい」に設定)にすると、省電力状態などからの録画予約ができなくなります。ご注意ください。

■ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる

テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示するよう設定をしておくと、テレビを視聴していないときでも、録画や光ディスク書き込みの状態などが分かるので、便利です。

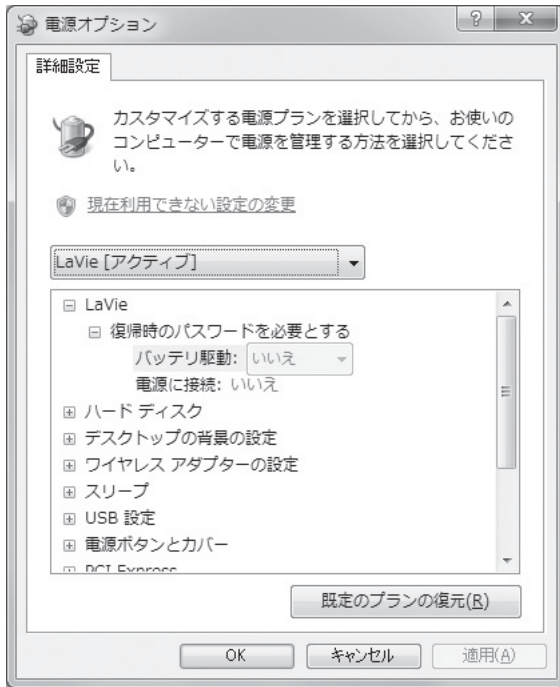
1 画面右下の をクリック

2 「カスタマイズ」をクリック

「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

3 SmartVision Schedulerの右の をクリックして、表示されたメニューから「アイコンと通知を表示」をクリック

4 「OK」をクリック

これで、テレビ(SmartVision)のアイコンが通知領域に表示されるようになりました。

電源プランについて→「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」-「省電力機能の設定を変更する」

テレビ初期設定で困ったら

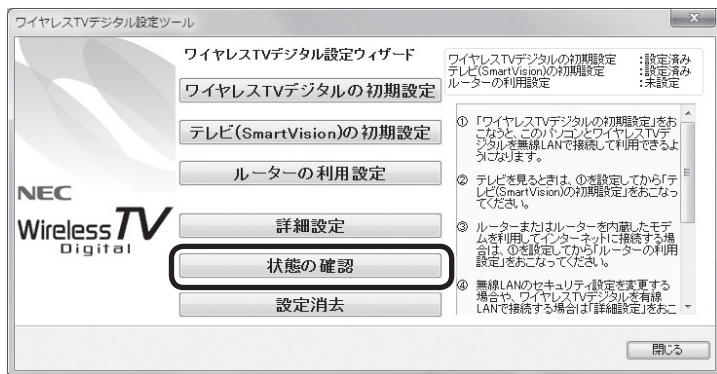
テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了した後に次の説明をご覧ください。

■ ワイヤレスTVデジタルの問題点を確認する

次の手順で、ワイヤレスTVデジタルの問題点を確認してください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

2 「状態の確認」をクリック

3 「次へ」をクリック

次の画面が表示されるまで、何も操作せずに待ってください。

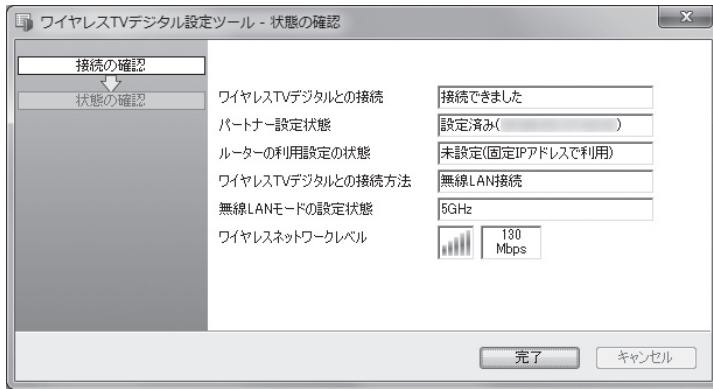
チェック

- ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。
- 起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

ワイヤレスTVデジタル設定ツール - 状態の確認

接続の確認
状態の確認

ワイヤレスTVデジタルとの接続	接続できました
パートナー設定状態	設定済み( )
ルーターの利用設定の状態	未設定(固定IPアドレスで利用)
ワイヤレスTVデジタルとの接続方法	無線LAN接続
無線LANモードの設定状態	5GHz
ワイヤレスネットワークレベル	130 Mbps

完了　キャンセル

この画面で、問題点を確認します。

●ワイヤレスTVデジタルとの接続
初期設定で設定したワイヤレスTVデジタルと通信できる状態かどうかを示します。
・接続できました:ワイヤレスTVデジタルと通信できる状態です。
・接続できませんでした:ワイヤレスTVデジタルの電源が入っていないなどの理由で、ワイヤレスTVデジタルと通信できない状態です。詳しくは「ワイヤレスTVデジタルに接続できない」(p.198)をご覧ください。

●パートナー設定状態
パートナー設定(ワイヤレスTVデジタルとの接続の設定)の状態と、どのワイヤレスTVデジタルと通信するように設定しているかを確認できます。
・設定済み(xx:xx:xx:xx:xx:xx):設定が終了しています。また、設定したワイヤレスTVデジタルのMACアドレスが表示されます。セットでご購入になったワイヤレスTVデジタルが設定されているかどうかは、ワイヤレスTVデジタル本体に記載されているMACアドレスと、ここで表示しているMACアドレスが一致しているかどうかで確認できます。ワイヤレスTVデジタルのMACアドレスは、ワイヤレスTVデジタル本体左側面に記載されており、有線LAN接続した場合と、ワイヤレスLAN接続した場合とで異なるため、接続方法を確認の上、MACアドレスを確認してください。
・未設定:ワイヤレスTVデジタルの初期設定が完了していません。初期設定をおこなってください。

●ルーターの利用設定の状態
・設定済み:ルータを使用する設定(ルータのDHCPサーバ機能を使ってIPアドレスを自動取得する設定)になっています。「ルーターの利用設定」を実行した後や、「TV詳細設定」で「IPアドレスを自動的に取得する」設定とした場合に「設定済み」と表示されます。「設定済み」の場合、ワイヤレスTVデジタルとルータがLANケーブルで接続されていない、ルータの電源が入っていないときには、ワイヤレスTVデジタルと接続できません。
・未設定(固定IPアドレスで利用):「ルーターの利用設定」をおこなう前や、「TV詳細設定」で固定のIPアドレスを設定した場合に、「未設定」と表示されます。

ポイント

ワイヤレスネットワークレベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「ワイヤレスネットワークレベルの確認」でも確認できます。

チェック

テレビが表示されていても、速度が100Mbps未満の場合は、ワイヤレスLANの速度が不十分です。ワイヤレスTVデジタルとパソコンの位置を近づける、「データ量制限モード」へ変更する、ワイヤレスTVデジタルとパソコンを有線LANで接続するなどを試してください。

参照

●データ量制限モード→付録の「データ量制限モードについて」(p.214)
●有線LANでの接続→付録の「詳細設定」(p.234)

ポイント

本体左側面の記載
アクセスポイントMACアドレス
AIR:無線LAN接続をした場合に表示されるMACアドレスが記載されています
LAN:有線LAN接続した場合に表示されるMACアドレスが記載されています

参照

TV詳細設定について→付録の「詳細設定」(p.234)

●ワイヤレスTVデジタルとの接続方法

・無線LAN接続：無線LAN（ワイヤレスLAN）で接続する設定となっています。ワイヤレスTVデジタル初期設定完了後は、ワイヤレスLAN接続となります。ワイヤレスLAN接続の通信の状態は、ワイヤレスネットワークレベルで確認できます。

・有線LAN接続：有線LANで接続する設定となっています。この設定となっているときは、ワイヤレスTVデジタルとパソコンをLANケーブルで接続する必要があります。有線LANでの接続方法は、「TV詳細設定」で変更することができます。

●無線LANモードの設定状態

どの周波数帯域で接続しているかを表示します。

●ワイヤレスネットワークレベル

ワイヤレスTVデジタルとの接続の電波の強さ、通信速度を示します。有線LAN接続している場合には、この項目は表示されません。ワイヤレスネットワークレベルが40Mbps未満のときは、ワイヤレスLANの速度が不十分です。ワイヤレスTVデジタルとパソコンの位置を近づけてください。改善されない場合は、ワイヤレスTVデジタルとパソコンを有線LANで接続してください。

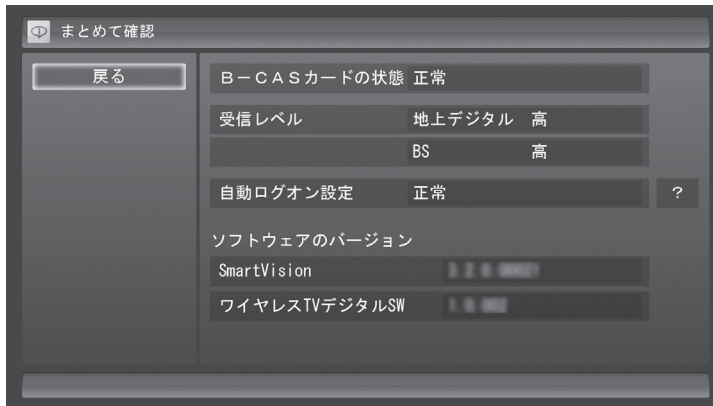
■ SmartVisionの問題点を確認する

次の手順で、確認してください。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」-「まとめて確認」をクリック

現在の状態の確認結果が表示されます。

この画面で、問題点を確認します。

●地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「地上デジタル」をクリック

アンテナの受信レベルが表示されます。

受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

- ・パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
- ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

●BSデジタル放送の受信レベルに問題があったときは

1 「受信レベル」の「BS」をクリック

アンテナの受信レベルが表示されます。

受信レベルがすべて0の場合

アンテナを設置した事業者などに、アンテナに給電が必要かどうかを確認してください。
給電が必要な場合は、「衛星アンテナの電源供給」の設定を変更してアンテナに給電してください。

ポイント

受信レベルは、「テレビメニュー」の「情報」-「受信レベルの確認」でも確認できます。

チェック

●チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、PART8の「テレビが映らない」(p.182)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.184)をご覧ください。

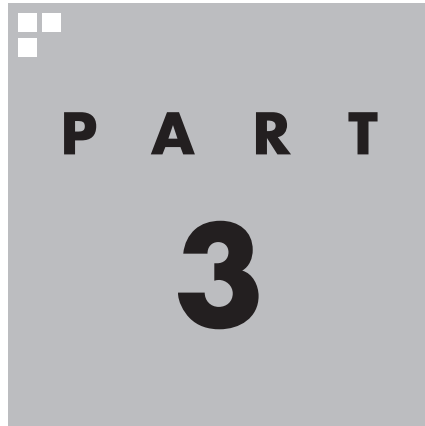
チェック

●受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●受信レベルが0でなくても、BSデジタル放送の視聴に問題が出る場合があります。PART8の「テレビが映らない」(p.182)をご覧ください。

●次の作業をおこなってみてください
今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

● 「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、テレビ初期設定をやりなおします。
テレビメニューを表示して、「設定」-「初期設定のやりなおし」を選んで、テレビ初期設定をやりなおしてください。

● 設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、PART4の「SmartVisionを起動する」(p.48)の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境で受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

インターネットに接続する

ここでは、ワイヤレスTVデジタルを利用してインターネットに接続する
方法を説明します。

PART 3
インターネットに接続する

インターネットに接続する

ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネットに接続するための設定について説明します。

■ インターネット接続環境について

インターネット接続やご家庭内のネットワーク環境によって、必要な接続や設定が異なります。

お使いの環境にあわせて設定をおこなってください。

●ルータ、またはルータ機能のある機器を使用している場合
　この後の「ルータを使ってインターネットに接続する」をご覧ください
●ルータ機能のない回線終端装置を使用している場合
　「ルータを使わずにインターネットに接続する」(p.231)をご覧ください。

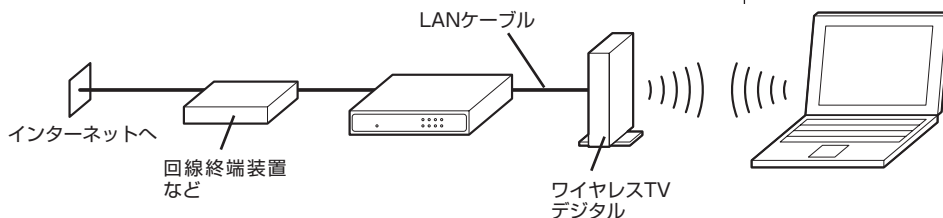
チェック

ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネット接続をしている間は、ワイヤレスLANの帯域を使用するため、テレビの視聴や録画にコマ落ちなどの影響がでる可能性があります。

チェック

CATVのインターネットをご利用の場合、接続方法などはご利用のCATVにお問い合わせください。

ルータを使ってインターネットに接続する

ルータを使ってインターネットに接続するには、LANケーブルを使って接続します。
インターネットとテレビをワイヤレスLANで楽しむには、この接続方法をおすすめします。

●LANケーブルは、別途ご用意ください。
●まだワイヤレスTVデジタルをルータやモデムに接続しないでください。

・ルータを使った接続例

■ 設定前の準備

ワイヤレスTVデジタルでインターネットに接続するために、次の項目を確認してください。

・インターネット回線の開通や、プロバイダとの契約が済んでいる
・ルータの接続と設定(インターネット接続の設定)が済んでいる
・ルータのDHCPサーバ機能が有効になっている
・ワイヤレスTVデジタルの初期設定が済んでいる
・パソコンとワイヤレスTVデジタルにLANケーブルが接続されていない(接続するよう指示があるまで、LANケーブルは接続しないでください)。
・ワイヤレスTVデジタルの電源が入っている(電源ケーブルが接続されている)
・ご購入時の状態から、ファイアウォールに関する設定を変更していない

参照

●インターネット回線、プロバイダについて→『パソコンの準備と基本』
●ワイヤレスTVデジタルの初期設定→「PART2 ワイヤレスTVデジタルの初期設定」(p.23)
●ファイアーウォール機能→付録の「ファイアウォールの設定」(p.242)

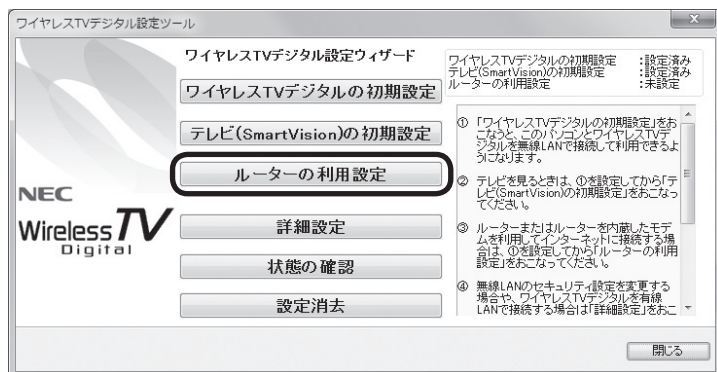
チェック

●ご購入時の状態では、ファイアウォールの設定は、有効かつ、SmartVisionが除外される設定になっています。この設定を変更した場合は、ファイアウォールの設定を無効にする必要があります。
●ルータの接続や設定については、ルータに添付のマニュアルをご覧ください。

インターネットに接続する

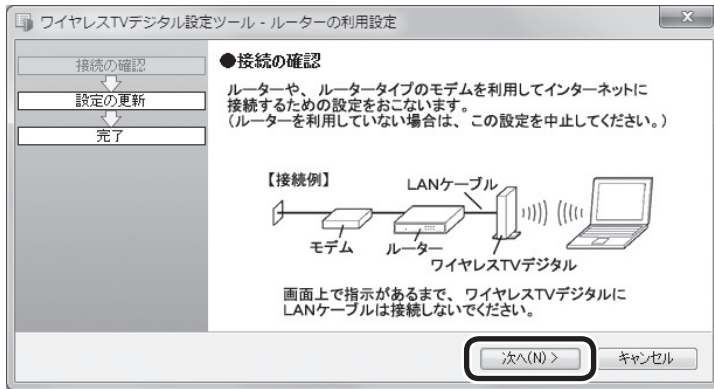
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

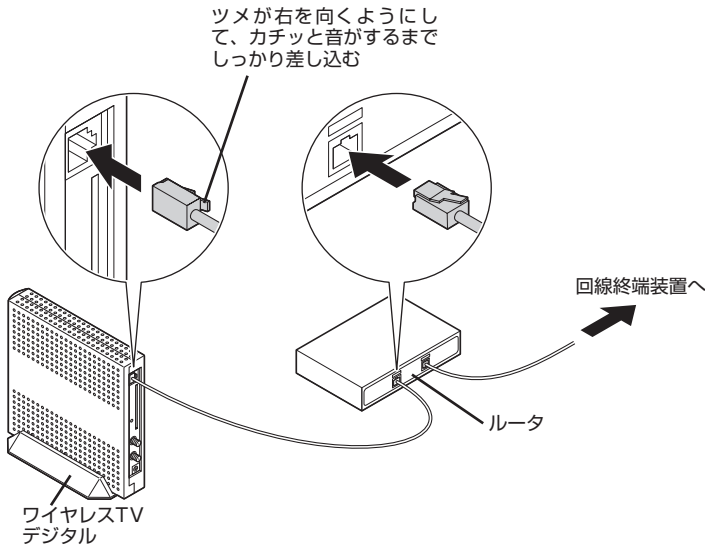
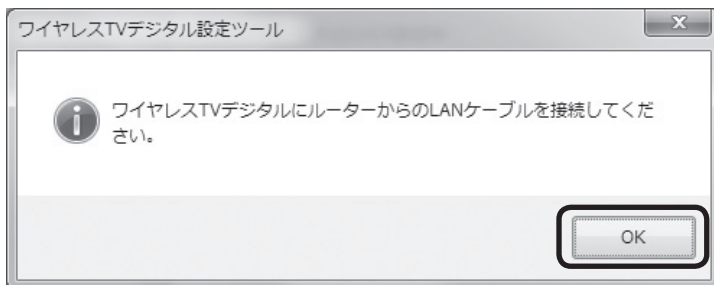
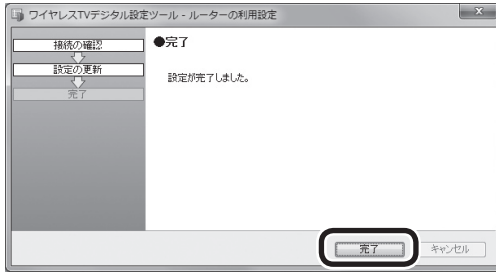
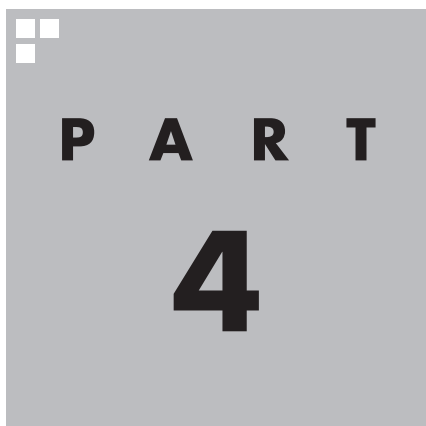
2 「ルーターの利用設定」をクリック

「ルーターの利用設定」画面が表示されます。

チェック

●ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。
●起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

3 「次へ」をクリック

自動的に設定が始まります。

「ワイヤレスTVデジタルにルータからのLANケーブルを接続してください。」と表示されたらLANケーブルを接続します。

4 次の図を参考にLANケーブルを接続する

5 「OK」をクリック

6 「完了」をクリック

パソコンのワイヤレスLANアダプタに、IPアドレスが自動的に割り当てられるようになります。

■ インターネットに接続できるが確認する

設定が終了したら、「スタート」-「インターネット」をクリックして、インターネットに接続できるか確認してください。

テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ(SmartVision)を起動したり、リモコンの【テレビ】でパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠ 注意

- **映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

PART 4 テレビを見る

基本的な使い方

ここでは、テレビを見るための基本操作を説明します。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

SmartVisionを起動する

1 「スタート」-「Windows Media Center」をクリック

Windows Media Centerが起動します。

2 「テレビ(SmartVision)」の「テレビ視聴」をクリック

テレビを見るために使うソフト「SmartVision」が起動して、テレビ映像が表示されます。

チェック

- テレビを見ているときに、テレビ映像の手前にほかのソフトのウィンドウなどが表示されることがあります。
  テレビを快適に視聴するために、必要ないソフトはすべて終了することをおすすめします。
- ほかのソフトが動作している場合などは、パソコンの負荷状況によって、映像がコマ落ちしたり、操作に対する反応が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。
- リモコンが付属しているモデルでは、リモコンを使って操作することもできます。(p.52)

チェック

次の方法でも、テレビ(SmartVision)を起動することができます。

・タスクバーのSmartVisionアイコンをクリック

・「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリック

この手順で起動したときは、マウス専用画面が表示されます。詳しくは、PART7の「マウス専用画面」(p.148)をご覧ください。

なお、最初に起動したときのみ、初期設定の画面が表示されます。

■ 操作パネル

テレビ機能を使っているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。
操作パネルのボタンをクリックして、テレビを操作することができます。

テレビの映像や録画した番組の映像が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

「録画番組一覧」や「番組表」など、テレビや録画番組の映像以外の画面が表示されているとき、次の操作パネルが表示されます。

ポイント

- 操作パネルのボタン表示は、状態によって異なります。
  「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。
- 操作パネルが表示されず、次のような画面が表示されているときは、画面下の「フルスクリーン」をクリックしてください。操作パネルが表示されるフルスクリーンモードになります。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、操作パネルの「CH」の▲または▼をクリックします。

ポイント

- 番組表やテレビメニューから、見たい番組を選ぶ方法もあります。
- チャンネル切り換えには数秒かかります。

参照

- 番組表について→このPARTの「番組表を使う」(p.65)
- テレビメニューについて→このPARTの「テレビメニューを使う」(p.58)

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換える

BS/110度CS/地上デジタル放送を切り換えるには、操作パネルの「放送」をクリックします。

クリックするごとに次のように切り換わります。
地上デジタル→BSデジタル→110度CS→地上デジタル→…（以降繰り返し）

テレビメニューから、放送波を切り換える方法もあります。

参照

テレビメニューについて→このPARTの「テレビメニューを使う」(p.58)

画質を切り換える

画質を変更するときは、操作パネルの「彩り」をクリックします。

「彩りプラス」機能を搭載しているモデル
「彩り」をクリックすると、現在の画質モードを表示した後、彩りプラスの画質モードが次のように切り換わります。
ダイナミック→スタンダード→シネマ→フォト→無効→ダイナミック→…（以降繰り返し）

「彩り」機能を搭載しているモデル
「彩り」をクリックすると、現在の画質モードを表示した後、彩りの画質モードが次のように切り換わります。
有効→無効→有効→…（以降繰り返し）

参照

- 「彩りプラス」について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「彩りプラスの設定」
- 「彩り」について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「彩りの設定」

音量を調節する

音量を調節するには、操作パネルのの、または をクリックします。また、 をクリックすると、音量が最小になります。

ポイント

をもう一度クリックすると、消音する前の音量に戻ります。

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

外国映画などの音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、操作パネルの「主/副」をクリックします。クリックするごとに音声が切り換わります。切り換わり方は放送によって異なります。

チェック

- L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
- ワイヤレスTVデジタルでは、5.1chサラウンドの音声を、ステレオ2chに変更して出力しています。

SmartVisionを終了する

1 マウスを動かし、画面の右上に表示されたをクリック

テレビ映像の表示が終了します。

チェック

録画、録画モード変換、光ディスク書き込みをおこなっているとき、パソコンを終了する操作をしても、画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、録画、録画モード変換、光ディスク書き込みが完了してから、パソコンが終了します。

PART 4 テレビを見る

リモコンで操作する

添付されているモデルでは、リモコンを使ってテレビを操作することができます。

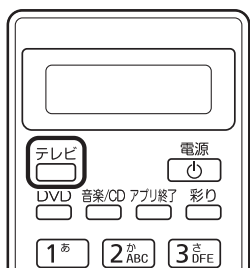
リモコンでテレビを操作するには、事前にリモコンの準備をしておく必要があります。

参照

リモコンの準備→PART1の「リモコンの接続をする」(p.18)

リモコンでテレビの起動/終了をする

■ テレビ映像を表示する

1 リモコンの【テレビ】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビが表示されます。パソコンがスリープ状態でも、【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す

テレビ画面が終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

参照

リモコンのボタン→このPARTの「リモコンのボタンについて」(p.56)

チェック

- Windowsがシャットダウンおよび休止状態の場合は、リモコンで電源を入れることはできません。
- テレビを見ているときに、テレビ映像の手前にほかのソフトのウィンドウなどが表示されることがあります。
  テレビを快適に視聴するために、必要ないソフトはすべて終了することをおすすめします。
- ほかのソフトが動作している場合などは、パソコンの負荷状況によって、映像がコマ落ちしたり、操作に対する反応が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

1 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、スリープ状態になります)。

チェック

- 【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒〜 1分程度かかる場合があります。
- 録画、録画モード変換、光ディスク書き込みをおこなっているとき、【電源】を押すと画面が暗くなりますが、パソコンはすぐには終了しません。テレビ以外に動作しているソフトがなければ、録画、録画モード変換、光ディスク書き込みが完了してから、パソコンが終了します。
- 次回、リモコンの【電源】やパソコン本体、キーボードの電源スイッチを押すと、Windows Media Centerのメニュー画面が表示されます。

リモコンの基本的な操作

リモコンの【矢印】でカーソルを合わせ、【決定】を押す操作は、マウスのクリックに相当します。
【テレビメニュー】および【矢印】と【決定】で、テレビ(SmartVision)の基本的な機能を使うことができます。

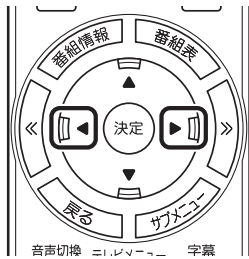
ここでは、テレビメニューから地上デジタル放送を見る操作を例に、リモコンの使い方を説明します。

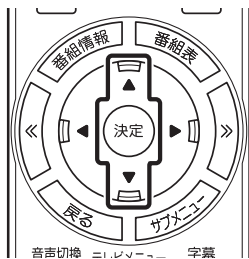
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

参照

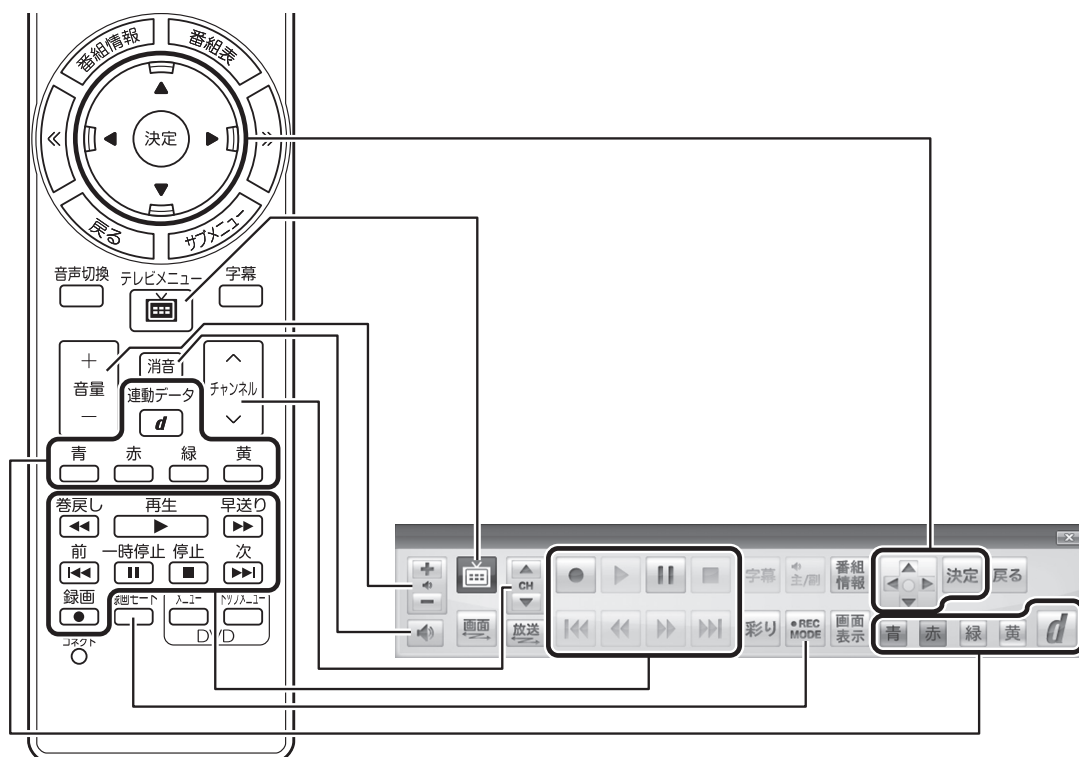
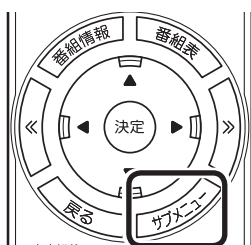
リモコンのボタン→このPARTの「リモコンのボタンについて」(p.56)

2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「地上デジタル」のアイコンを選ぶ

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組が表示されます。

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

操作パネルとリモコンのボタンについて

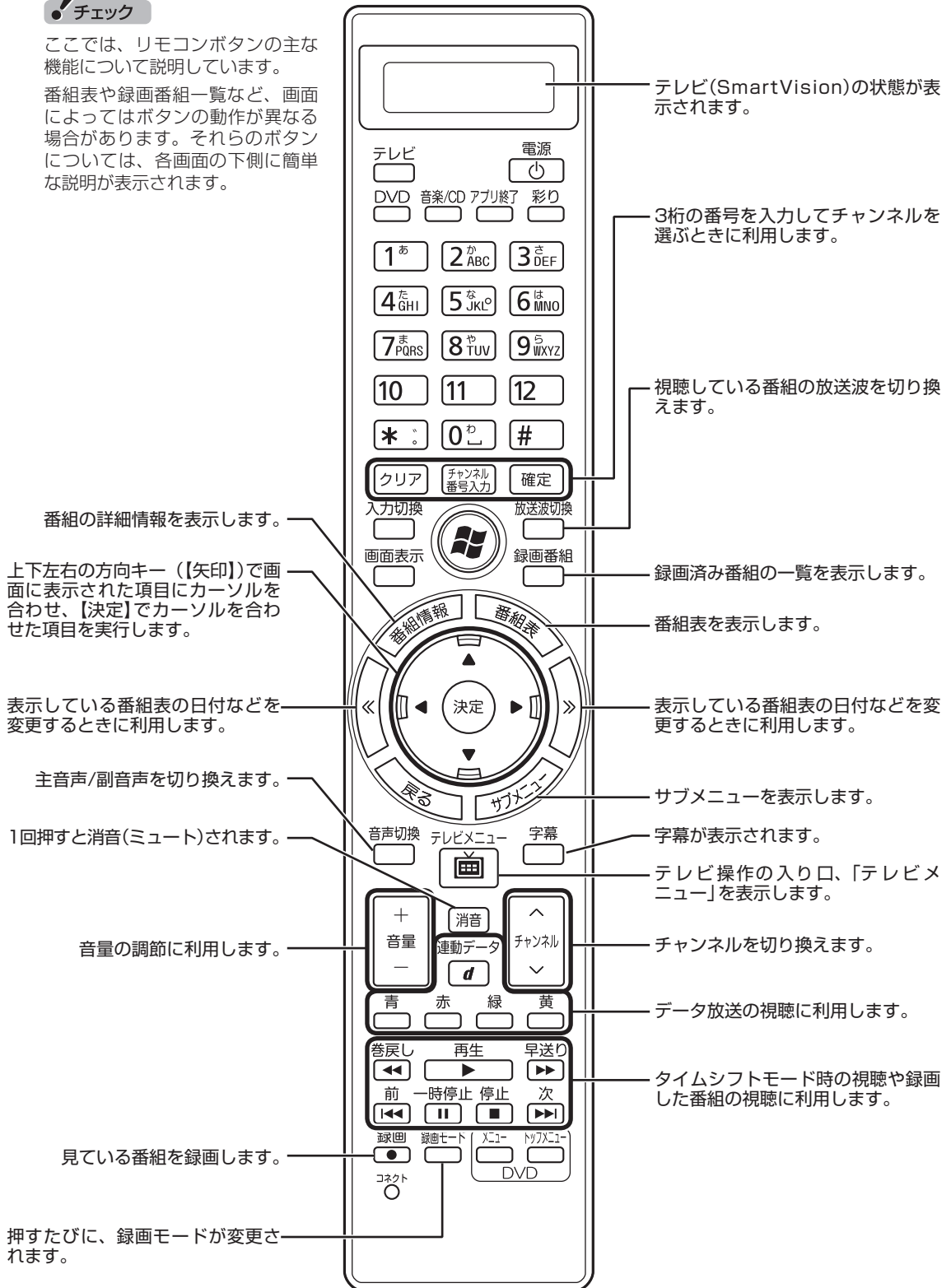
操作パネルをクリックしてテレビを操作するのと同様に、リモコンのボタンを押してテレビを操作をすることができます。
操作パネルとリモコンの、主なボタンの対応は以下のとおりです。

リモコンでサブメニューを表示する

マウスを右クリックすると、サブメニューが表示されます。リモコンでサブメニューを表示するには、【サブメニュー】を押してください。

テレビを見る

リモコンのボタンについて

チェック

ここでは、リモコンボタンの主な機能について説明しています。

番組表や録画番組一覧など、画面によってはボタンの動作が異なる場合があります。それらのボタンについては、各画面の下側に簡単な説明が表示されます。

■ リモコンボタン一覧

ここでは、テレビ(SmartVision)を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、『パソコンの準備と基本』をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	テレビをつける。(p.52)
【電源】	パソコンを起動する。
【アプリ終了】	テレビを消す(ソフトを終了する)。(p.52)
【彩り】	彩りまたは彩りプラス機能を切り換える。(p.50)
【1】〜【9】、【0】	チャンネルの切り換え。および数字や文字の入力。
【クリア】、 【チャンネル番号入力】、【確定】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【入力切換】	−
【放送波切換】	放送波を切り換える。(p.50)
【Media Center】	Windows Media Centerを起動する。
【矢印】※3	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。
【決定】※3	選択した項目を決定する。
【<<】、【>>】	「番組表」の日付(p.67)や、「録画番組一覧」のジャンル(p.103)などを切り換える。
【戻る】	テレビや再生中の録画番組の映像に戻る。ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。(p.55)
【音声切換】	音声(主音声/副音声)を切り換える。(p.50)
【テレビメニュー】	テレビメニューを表示する。(p.53)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.177)
【音量】	音量を調節する。(p.50)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.50)
【連動データ】(【d】)	データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.62)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.49)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	画面下のガイダンス領域やデータ放送に表示される各色のボタンと対応した機能を使う。
【巻戻し】	巻戻しする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.103)
【再生】	再生する。(p.103)
【早送り】	早送りする(押すごとにスピードが4段階で速くなる)。(p.103)
【前】	30秒前から再生する(スキップ)。(p.103)
【一時停止】	一時停止する。(p.103)
【停止】	再生を停止する。(p.103)
【次】	30秒後から再生する(スキップ)。(p.103)
【録画】	見ている番組を録画する。(p.80)
【録画モード】	録画モード(画質)を変更する。(p.81)

※1:テレビ(SmartVision)以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2:【チャンネル番号入力】を押し、数字ボタン(【1】〜【9】、【0】)を押して3桁のチャンネル番号を入力して、【確定】を押します。(入力した番号を消去するときは【クリア】を押す)
※3:フルスクリーンモードでタイムシフト視聴または再生をおこなっているとき、リモコンが「自動切換モード」であれば、【矢印】の左右ボタンで巻き戻しと早送りを、【決定】で一時停止/再生の切り換え操作ができます。

PART 4 テレビを見る

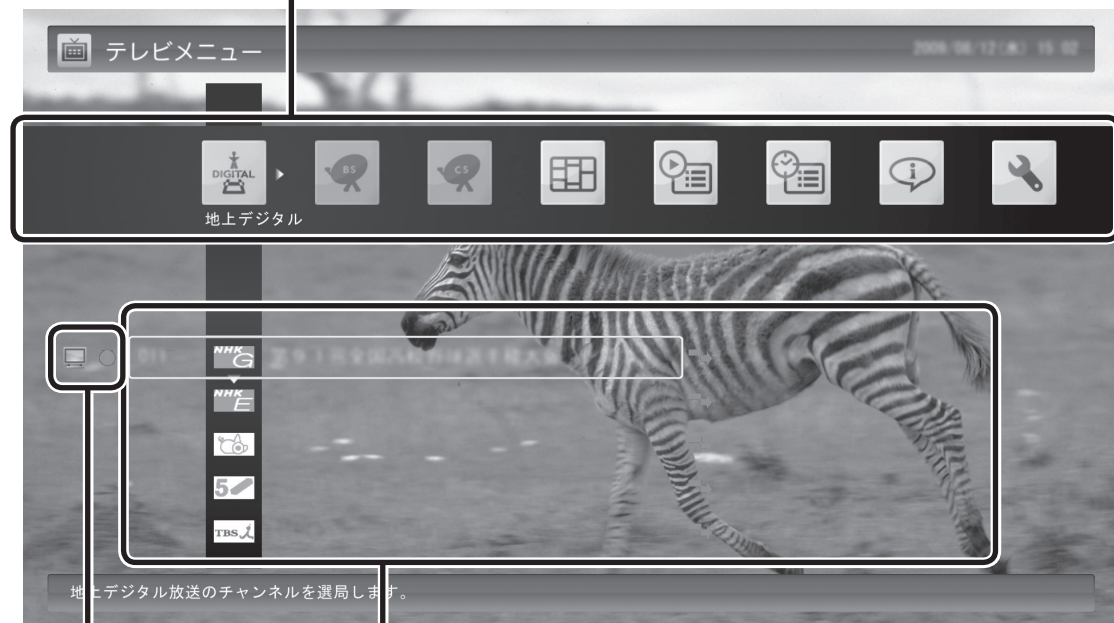
テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

テレビメニューって何？

テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。
見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。
操作パネルの をクリックすると表示されます。もう一度クリックすると、テレビメニューの背景に見えている画像に戻ります。

テレビ機能がまとめられています。各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約一覧、設定などがあります。アイコンをクリックして選びます。

見ている番組にはテレビのマークが表示されます。また、録画している番組には赤い丸、タイムシフトモードで受信している番組には緑の三角が表示されます。

各機能の下のメニューが表示されます。メニュー項目をクリックして選びます。

テレビメニューの使い方

ここでは、地上デジタル放送の番組を見る手順を例に、テレビメニューの操作を説明します。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「地上デジタル 」をクリック

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

3 見たい番組をクリック

番組が表示されます。

チェック

をダブルクリックすると、テレビメニュー表示後、すぐに元の画面に戻ってしまいます。 はシングルクリックしてください。

チェック

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 4 テレビを見る

タイムシフトモードで見る

ツーアウト満塁のシーンで電話のベル！そんなときはタイムシフトモードの出番です。今見ている番組を一時停止して、用事を済ませてから続きを楽しみましょう。

リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」は、見ている番組を自動的に録画する機能です。リアルタイムで見ていた番組を、いったん録画してから再生するため、一時停止したり、巻き戻しや早送りができるのです。

チェック

同じ機能を使った「さかのぼり録画」の説明もあわせてご覧ください。

参照

さかのぼり録画について→PART5の「さかのぼり録画をする」(p.82)

タイムシフトモードに切り換える

ライブモードでテレビを見ているときは、次の操作でタイムシフトモードに切り換えることができます。

1 操作パネルの ⏸ をクリック

タイムシフトモードに切り換わり、番組が一時停止します。続きを見るときは、▶ をクリックしてください。

ポイント

タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

チェック

タイムシフトモードでは、画質(録画モード)が変更できません。ワイヤレスTVデジタルの無線LAN帯域の設定によって、それぞれ次の画質(録画モード)になります。

・通常モード:ダイレクト

・データ量制限モード:ファイン

タイムシフトモードで見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止

⏸をクリックします。もとに戻すときは、▶をクリックします。一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し

⏪をクリックします。再生を始めたいところで▶をクリックするか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

⏪をクリックするたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

●早送り

⏩をクリックします。再生を始めたいところで▶をクリックするか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。

⏩をクリックするたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。
リアルタイムの放送に追いつくと、⏩はクリックできなくなります

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スキップ

⏮または⏭をクリックします。30秒前または後の映像から再生します。

●スロー再生

一時停止した状態で⏪または⏩を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.150)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。

●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

●タイムシフトモードのとき、■をクリックするとライブモードに切り換わります。

タイムシフトモードを終了する

1 操作パネルの■をクリック

タイムシフトモードが終了し、ライブモードに戻ります。

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

ポイント

表示されるフォントは日本電気(株)のフォント「FontAvenue」を使用しています。

データ放送を表示する

1 操作パネルの「d」をクリック

データ放送の画面が表示されます。

チェック

- タイムシフトモード、録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。
- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の一部の番組で提供されている電話回線を使った双方向サービスがご利用になれません(モデム機能を搭載していないため)。
- ダイレクトモード以外で録画を行っている間は、データ放送はご利用になれません。

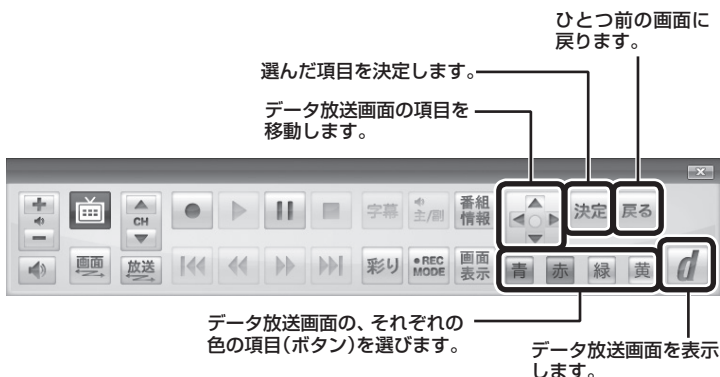
参照

ライブモードに切り換える→PART5の「タイムシフトモードにする」(p.83)

ポイント

番組によっては、「d」をクリックしなくてもデータ放送が表示されることがあります。このデータ放送を「独立データ放送」といいます。

データ放送の操作

データ放送は、操作パネルやキーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

●データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
●番組によっては、「d」をクリックしなくてもデータ放送が表示されることがあります。
●数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

キーボード	操作の内容
【D】※	データ放送画面を表示します。
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。
【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
【B】※	データ放送画面の、それぞれの色の項目（ボタン）を選びます。 【B】：青 【R】：赤 【G】：緑 【Y】：黄
【R】※	
【G】※	
【Y】※	
【0】～【9】※	数字を入力します。

※マウス専用画面（p.148）でのみ使用可。

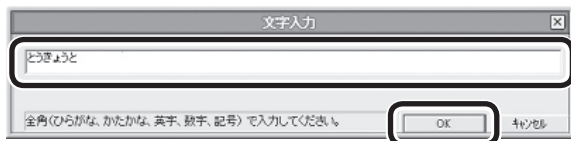
■ 文字を入力する

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。文字を入力するときは、マウス専用画面に切り換えてください。

参照

マウス専用画面を表示する→PART7の「マウス専用画面」（p.148）

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

テレビを見る

データ放送を見るときの注意

●録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。

●データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。

●お使いのセキュリティソフトによっては、データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができない場合があります。セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C: ¥Program Files ¥NEC ¥SmartVision ¥DtnCtl.exe」にアクセス権を設定してください。

●データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。

映像を優先するときは、右クリックして表示されたサブメニューで「データ放送」の「無効」をクリックしてください。

●ダイレクト以外の録画モード(ファイン、ファインロング、ロング)で録画した番組は、再生するときデータ放送を視聴することができません。

●録画番組の再生で、一時停止、早送り、巻き戻しなどをおこなっているときは、データ放送を見ることができません。

タイムシフトモード、ライブモードについて→
PART5の「タイムシフトモードにする」(p.83)

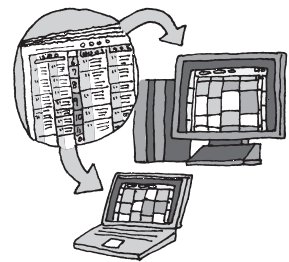
PART 4
テレビを見る

番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。自分の好みにあわせた「マイ番組表」を作ることもできます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？
新聞やテレビ情報誌？
新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。
番組表は、テレビの電波で更新できます。
番組表は最大8日分が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

■ マイ番組表

地上デジタル、BS･110度CSデジタルの放送波に関係なく、お好みのチャンネルだけを表示できる便利な機能です。「お父さん用」、「お母さん用」など家族それぞれの番組表や、「アニメ」「週末のみ」などジャンル別、用途別の番組表を作ることができます。作成した番組表は、テレビメニューの番組表から表示させることができます。

マイ番組表を使うためには、最初にチャンネルの登録が必要です。登録については「マイ番組表を作る」(p.71)をご覧ください。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。
テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

■ 番組表の受信に関する注意

番組表の受信には、レコーダー(チューナー)を使用します。このため、一部動作に制限があります。

- ●テレビを見ているときや録画しているときは、番組表が自動的に受信されません。
- ●番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
- ●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。
- ●ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、設定を変更してください。

ポイント

- ●ご購入時の状態では、番組表は1日1回、10時から16時の正時に受信する設定になっています。録画予約などと重ならないよう、自動的に受信の時刻が設定されます。
- ●番組表をすぐ受信することもできます。このPARTの「手動で番組表を受信するには」(p.70)をご覧ください。

参照

番組表の自動受信の設定について
→このPARTの「番組表の受信時刻を変更する」(p.69)

番組表を見る

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」をクリックし、番組表を見たい放送波をクリック

番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手動で番組表を受信するには」(p.70)をご覧いただき、番組表を手動で受信してください。
なお、テレビ初期設定をおこなったときに番組表を受信する時刻が設定されているため、手動で受信操作をしなくても、設定された時刻になると番組表は自動的に受信されます。
「マイ番組1」を選択すると、マイ番組表を表示します。ご購入時にはチャンネルが登録されていません。チャンネルの登録方法については、「マイ番組表を作る」(p.71)をご覧ください。

チェック

手順2で放送波をダブルクリックをすると、予約の画面が表示されることがあります。この場合は、画面左下の「いいえ」をクリックして、番組表を表示してください。

■ 番組表の使い方

Ⓐ日付
日付をクリックすると、その日の番組表が表示されます。

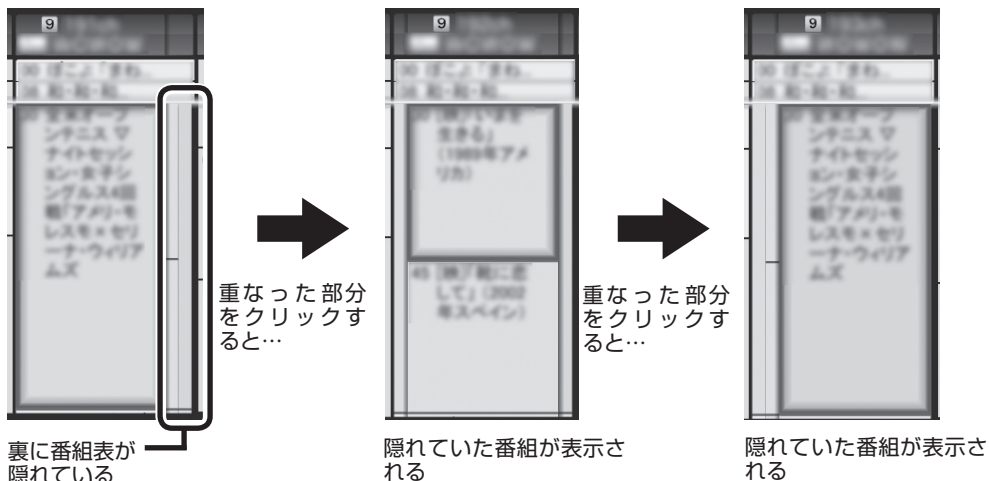
Ⓑ番組表チャンネル
チャンネルと放送局が表示されます。

Ⓒ番組表
現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組をポイントすると、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組をクリックすると、選んだ番組を予約(または視聴)する画面に移ります。

Ⓓプレビュー領域
選局中の番組が表示されます。
画面下のガイダンス領域の「映像画像に戻る」をクリックすると、ここに表示されている番組が全画面表示されます。

Ⓔ番組情報
番組表で選んだ番組の情報が表示されます。また、番組を右クリックして「番組詳細情報」をクリックすると、詳しい情報が表示されます。

Ⓕガイダンス領域
「日付切換」や「番組表切換」など、番組表で使う機能がボタン表示されます。それぞれのボタンをクリックして、その機能を使用することができます。
ガイダンス領域は番組表以外の画面にも表示されます。表示されるボタンは画面によって異なります。

デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。重なった部分をクリックすると、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。

■ 番組表から見たい番組を選ぶ

番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。
見たい番組をクリックすると、番組を予約する画面が表示されます。その画面で「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。

現在の時刻

録画予約について詳しくは、PART5の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.86)をご覧ください。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表からテレビを見る画面に戻るには、画面下の「映像画面に戻る」をクリックします。

ポイント

別の放送波の番組表に切り換えるときは、画面下の「番組表切換」をクリックして選んでください。

チェック

番組表の画面をダブルクリックすると、「番組の予約(詳細設定)」の画面が表示されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックすると、「番組の予約」画面が表示されます。

番組表の受信時刻を変更する

テレビ初期設定をおこなったときに自動で設定されている番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」をクリックし、「番組表の設定」をクリック

3 「番組表受信時刻の設定」をクリック

「番組表受信時刻の設定」画面が表示され、設定できます。

●受信時刻と動作
「-」にするとその時刻は番組表を受信しません。
「受信」にするとその時刻は番組表を受信します。
「自動」にすると、その日に一度も番組表を受信していない場合に番組表を受信します。

●受信する番組表
どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

チェック

「番組表の設定」をダブルクリックすると、手順3とは異なる画面が表示されることがあります。この場合は「キャンセル」をクリックしてください。手順3の画面が表示されます。

ご購入時の状態では、110度CSデジタル放送の番組表を自動で受信しない設定となっています。自動受信が必要な場合には、「受信する番組表」の「CS」を「受信」に変更してください。

4 設定を変更したら「保存して戻る」をクリック

■ 番組表の受信時刻を設定するときの注意

番組表の受信には、レコーダー(チューナー)を使用します。このため、一部動作に制限があります。

- ●テレビを見ているときや録画しているときは、番組表が自動的に受信されません。
- ●番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
- ●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態であっても、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

1 「番組表を見る」(p.66)の手順1 ～ 2の操作をおこない、受信したい放送波の番組表を表示させる

ご購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

番組表をインターネットから取得することもできます。詳しくはPART7の「G-GUIDE for Windowsで予約する」(p.172)をご覧ください。

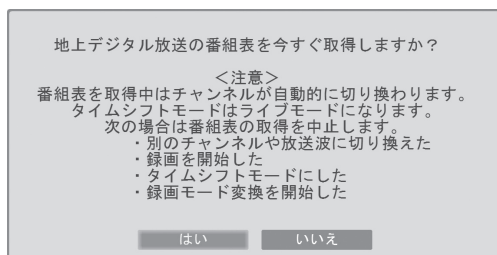
2 画面下の「その他機能の表示」をクリックして表示されたサブメニューで、「番組表の取得」をクリック

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

地上デジタル放送の場合の例

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか?

<注意>
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
タイムシフトモードはライブモードになります。
次の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした
・録画モード変換を開始した

はい　いいえ

3 「はい」をクリック

番組表の受信が始まります。
受信が完了すると、「番組表を取得しました」というメッセージが表示されます。

4 「閉じる」をクリック

受信された番組表が表示されます。

■ 番組表の受信について

番組表を受信するには、パソコンのレコーダー（チューナー）を使用します。そのため、番組表の受信中は次のことに注意してください。

次の場合は、番組表の受信ができません。
・録画をしているとき

番組表を受信中は、次の動作をします。
・タイムシフトモードで番組を見ていた場合は、ライブモードに切り換わります
・チャンネルが自動的に切り換わります
・番組表受信の経過が表示されます

番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。
・チャンネルを切り換えたとき
・録画を開始したとき
・タイムシフトモードに変更したとき

マイ番組表を作る

お好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。

ポイント

マイ番組表は4つまで作ることができます。

1 操作パネルのをクリック

テレビメニューが表示されます。

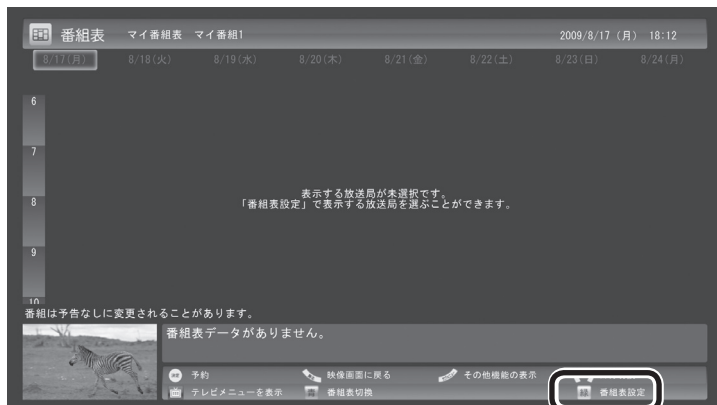
2 「番組表」をクリックし、マイ番組表をクリック

ここでは、ご購入時の状態であらかじめ登録されている「マイ番組1」を選びます。

ポイント

ご購入後、はじめて「マイ番組1」を選んだときは、「表示する放送局が未選択です」というメッセージが表示されます。

マイ番組表（ここでは「マイ番組1」）が表示されます。

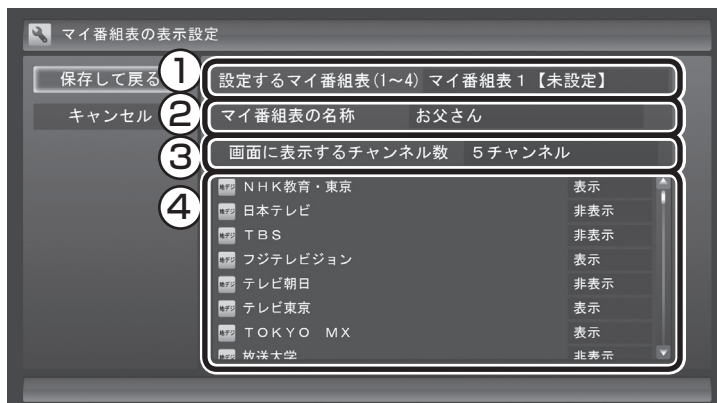
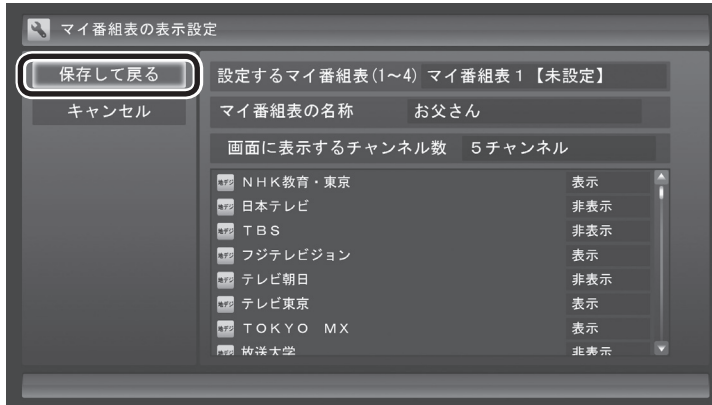
3 画面下の「番組表設定」をクリック

「マイ番組表の表示設定」が表示されます。

4 マイ番組表を設定する

①設定するマイ番組表を選ぶ
「設定するマイ番組表」をクリックし、表示されたメニューで設定したいマイ番組表の番号(1 ～ 4)をクリックしてください。

②マイ番組表の名前を設定する
「マイ番組表の名称」をクリックし、キーボードで名前を入力して【Enter】を押してください。

③画面に表示するチャンネル数を選ぶ
「画面に表示するチャンネル数」をクリックし、表示されたメニューで1画面に表示するチャンネルの数をクリックしてください。
「5チャンネル」・「7チャンネル」・「9チャンネル」のいずれかを選択できます。

④マイ番組表に登録するチャンネルを選ぶ
マイ番組表に登録するチャンネルの「非表示」をクリックし、表示されたメニューで「表示」をクリックしてください。
登録を解除するときは、「表示」をクリックして、表示されたメニューで「非表示」をクリックしてください。

5 「保存して戻る」をクリック

設定が保存され、マイ番組表が表示されます。

録画・予約・再生する

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、途中まで録画された放映中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5
録画・予約・
再生する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

●ワイヤレスTVデジタルと通信できないときは録画することができません。
●録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。録画中にテレビの画面で操作パネルの「画面表示」をクリックすると、録画可能時間が表示されます。
●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
●ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週一度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で実行します。
●録画中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
●録画予約をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。
●「録画可能時間」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定した後にパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(ほかのソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間」で表示された時間と一致しなくなることがあります。
●録画した番組はこまめにDVDなどに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。
●テレビ番組を録画中は、ブルーレイディスクを再生しないでください。再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
●一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
●このパソコンで録画した番組は、市販の動画編集ソフトで編集することはできません。
●このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。
ただし、DVDなどに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。DVDなどに保存する場合は、必要に応じて自動で録画モード変換されます。

チェック

●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。
●ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

参照

映像が乱れるときの対処について
→PART8の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.185)

参照

番組のDVDなどへの保存について
→「PART6 録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する」(p.125)

●短時間(1 ～ 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
●このパソコンで録画した番組は、このパソコンでのみ再生できます。別のパソコンでは再生できません。

録画モードについて

このパソコンでは、次のような録画モードで番組を録画することができます。

録画モード	録画時間と画質	解像度	データ放送の記録	用途と特徴
ダイレクト	高画質	ハイビジョン(HD)※	○	放送されたままの画質で番組を録画するモードです。4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん短くなりますが、画質にこだわりたい番組を録画するのに適しています。
ファイン	↕	ハイビジョン(HD)※	×	録画できる時間と画質のバランスが取れたモードです。「ダイレクトモード」に近い画質で、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約2倍、BS・110度CSデジタル放送は約3倍、録画できます。「ファインロングモード」、「ロングモード」と比較すると、映像の動きが速い番組の録画に適しています。
ファインロング	↕	ハイビジョン(HD)※	×	ハイビジョン解像度でありながら、長い時間録画できるモードです。「ファインモード」より若干画質が低下しますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約4倍、BS・110度CSデジタル放送は約6倍、録画できます。録画には、映像の動きがゆっくりした番組が適しています。
ロング	長時間	標準(SD)	×	4つの録画モード中、録画できる時間がいちばん長いモードです。標準解像度になってしまいますが、「ダイレクトモード」と比較して、地上デジタル放送は約8倍、BS・110度CSデジタル放送は約12倍、録画できます。とにかくたくさんの番組を録画したいという場合におすすめです。

※標準(SD)で放送された番組を録画した場合、標準(SD)となります。

●「ダイレクト」に関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。
●「ダイレクト」以外の録画モードに関するご注意
「ファインロング」、「ロング」および、「ダイレクト+携帯」では放送されている音声のうち1つだけ録画できます。
●録画中の番組を視聴するときのご注意
録画中の番組を視聴するときは、録画している画質(録画モード)の映像が表示されます。たとえば、「ファイン」で録画中の番組を視聴するときは、画質が「ファイン」の映像が表示されます。
●データ量制限モードについてのご注意
データ量制限モードでは、「ダイレクト」で録画することはできません。「ダイレクト」以外の録画モードで録画してください。

参照

録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.224)

通常モードで「ダイレクト」で録画予約し、その後データ量制限モードに切り換えた場合、予約済みの番組は「ファイン」で録画されます。

録画に必要なハードディスク容量について

録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画モード	放送の種類	1時間の録画に必要なハードディスク容量
ダイレクト	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約7.2Gバイト
	地上デジタル 標準テレビ(SD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約10.1Gバイト
	BS・110度CSデジタル 標準テレビ(SD)	約4.6Gバイト
ファイン	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約3.4Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ファインロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約1.7Gバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	
ロング	地上デジタル ハイビジョンテレビ(HD)	約860Mバイト
	BS・110度CSデジタル ハイビジョンテレビ(HD)	

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「録画可能時間」は、この表を基準に算出したものです。録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「録画可能時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

チェック

「ダイレクト+携帯」で録画したときは、「ダイレクト」の録画に必要なハードディスク容量に加えて、1時間あたり258MBの容量が必要になります。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- ●録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ●ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- ●放送休止状態になったとき
- ●番組の受信ができなくなったとき
- ●番組が、録画不可属性になったとき
- ●受信状態が不安定なとき

次の状態になると携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)の録画を停止します。

- ●録画中の携帯電話用のデータの容量が、2GB(約8時間)を超えたとき

参照

ハードディスクの残り容量について→オンラインヘルプ(p.150)の「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 5

録画・予約・再生する

いろいろな録画予約機能

このパソコンには、いろいろな録画予約機能が搭載されています。
ここでは、それらの機能について簡単にご紹介します。

録画予約機能一覧

こんなときは、どの録画機能を使えばいいのかな？
次の一覧をご覧いただき、さまざまな録画機能を使いこなしてください。

機能名	機能の説明	詳しくはこちらをご覧ください
録画時間の設定	見ている番組を、操作パネルの●をクリックして録画を始めたとき、番組の終了時や、指定した時間が経過した時点で、自動的に録画を停止させることができます。	録画時間を設定する(p.81)
おてがる予約(番組表からの予約)	画面に表示された番組表から番組を選ぶだけで録画予約できます。また、ジャンルやキーワードを指定して、好みの番組を検索して録画予約できます。	おてがる予約をする(p.87) 番組を検索して予約する(p.96)
シリーズ録画	連続ドラマなどのシリーズ番組を、一度の操作で次回以降の放送も自動的に録画予約できます。	シリーズ録画をする(p.94)
時間指定予約	まだ番組表には表示されていないずっと先の番組でも、チャンネルや日時を指定して録画予約できます。	番組表を使わないで予約する(p.99)
おまかせ録画	好きなジャンルやお気に入りタレントなど、あらかじめジャンルやキーワードを登録しておくと、それを元に番組を検索して、自動的に録画予約します。	おまかせ録画をする(p.111)
新番組おまかせ録画	アニメやドラマの新番組を自動的に検索して録画予約します。	新番組おまかせ録画をする(p.118)

●「おてがる予約」や「時間指定予約」では、録画だけでなく視聴を予約することもできます。

予約の優先度について→このPARTの「予約の優先度について」(p.123)

PART 5

録画・予約・再生する

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

1 操作パネルの●をクリック

録画が始まり、画面に「録画を開始しました。」と表示されます。
録画した番組は、ご購入時の状態では、Cドライブに保存されます。

2 録画をやめたいところで■をクリック

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

参照

テレビを見る→PART4の「基本的な使い方」(p.48)

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- ●クリックしての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

- ●クリックしてから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画をする」(p.82)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- 録画中の番組を巻き戻して再生することもできます(p.109)。

■ 録画する番組の録画モードを変更する

操作パネルの「●REC MODE」をクリックすると、録画の録画モードを変更することができます。録画モードを変更したいときは、録画する前に変更してください。

> チェック
>
> ●この方法で録画するときは、録画中に「画面表示」をクリックしても「録画モード」に地上デジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
> 録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
>
> ●タイムシフトモードで視聴している番組を録画するときは、録画モードが変更できません。
>
> ●録画中の番組を視聴するときは、録画している画質(録画モード)の映像が表示されます。たとえば、「ファイン」で録画中の番組を視聴するときは、画質が「ファイン」の映像が表示されます。

> ポイント
>
> 「●REC MODE」を連続してクリックすると、録画モードを次のように設定できます。
> ダイレクト→ファイン→ファインロング→ロング→ダイレクト+携帯→ダイレクト・・・(以降繰り返し)

> 参照
>
> 録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.224)

■ 録画時間を設定する

●を連続してクリックすると、録画時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし・・・(以降繰り返し)。
また、録画時間を設定した状態でSmartVisionを終了させ、パソコンを終了する操作をすると、画面が消えて録画を継続します。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。

> ポイント
>
> 録画時間の「番組終了まで」を設定するためには、番組表が受信されている必要があります。

PART 5 録画・予約・再生する

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

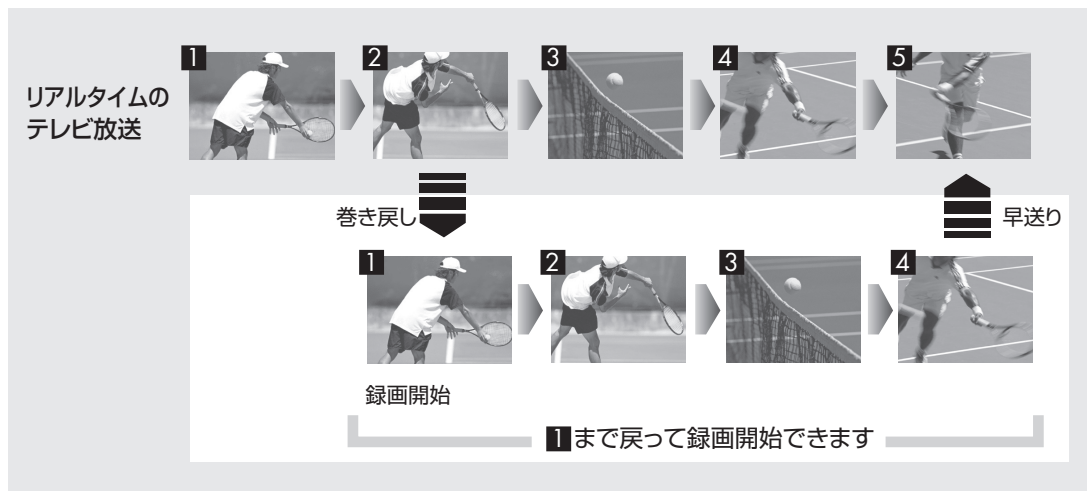
さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめ「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- 「タイムシフトモード」で見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分〜 90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。

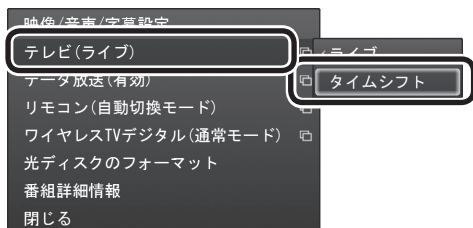
■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 テレビの画面上で右クリック

サブメニューが表示されます。

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」をクリック

画面が暗くなって、「タイムシフトモード」に切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。
- タイムシフトモードでは、画質(録画モード)が変更できません。ワイヤレスTVデジタルの動作モードによって、それぞれ次の画質(録画モード)になります。
  - ・通常モード:ダイレクト
  - ・データ量制限モード:ファイン

ポイント

- 操作パネルの⏸をクリックしてタイムシフトモードにすることもできます。このときは、テレビの映像が一時停止します。視聴を続けるときは▶をクリックしてください。
- タイムシフトモードのとき、操作パネルの■をクリックしてライブモードにすることができます
- タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特徴があります。
  - ・タイムシフトモード:
    視聴中の番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
  - ・ライブモード:
    さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。
- タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

見ている番組を操作する

「タイムシフトモード」で見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止

II をクリックします。もとに戻すときは、▶ をクリックします。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

●巻き戻し

◀◀ をクリックします。再生を始めたいところで ▶ をクリックするか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

◀◀ をクリックするたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

●早送り

▶▶ をクリックします。再生を始めたいところで ▶ をクリックするか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。

▶▶ をクリックするたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。

リアルタイムの放送に追いつくと、▶▶ はクリックできなくなります

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

●スキップ

|◀◀ または ▶▶| をクリックします。30秒前または後の映像から再生します。

●スロー再生

一時停止した状態で ◀◀ または ▶▶ を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.150)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。

●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

●タイムシフトモードのとき、■ をクリックするとライブモードに切り換わります。

さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 操作パネルの ◀◀ をクリック

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

さかのぼり録画では、画質(録画モード)が変更できません。
ワイヤレスTVデジタルの動作モードによって、それぞれ次の画質(録画モード)になります。

・通常モード:ダイレクト

・データ量制限モード:ファイン

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、をクリック

3 録画を開始したい場面で、をクリック

4 リアルタイムに追いつきたいときは、をクリック

5 録画を終了するときは、をクリック

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

をクリックしてから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

を連続してクリックすると、録画時間を次のように設定できます。
時間指定なし→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分→30分→60分→90分→120分→時間指定なし…（以降繰り返し）

PART 5
録画・予約・再生する

おてがる予約をする（番組表で予約する）

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

おてがる予約って何？

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダと同じ。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることはありません。
「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。お気に入りのシリーズものの番組を毎週録画するように設定することもできます。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

おてがる予約をする

番組表から録画の予約をしてみましょう。

1 操作パネルの📺をクリック

テレビメニューが表示されます。

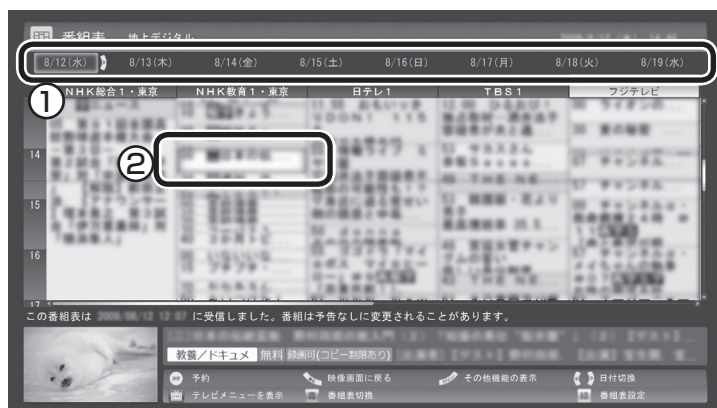
2 「番組表」をクリックし、予約する放送の種類をクリック

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

①日付をクリック

②予約したい番組をクリック

番組を予約する画面が表示されます。

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

参照

番組表について→PART4の「番組表を使う」(p.65)

チェック

手順2で放送の種類をダブルクリックをすると、予約の画面が表示されることがあります。この場合は、画面左下の「いいえ」をクリックして、番組表を表示してください。

チェック

- 番組表の画面をダブルクリックすると、「番組の予約(詳細設定)」の画面が表示されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックすると、「番組の予約」画面が表示されます。
- 放送中の番組をクリックしたときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。

  「視聴する」をクリックすると、その番組を見ることができます。録画はされません。
- 番組の残り時間が5分未満の場合は、予約する画面は表示されずに、その番組が表示されます。

4 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② 予約する動作(予約視聴または予約録画)を選ぶ

「予約録画/予約視聴」をクリックし、表示された一覧から予約する動作を選んでクリックしてください。

● 「予約視聴」
放送開始に合わせ、自動的に番組の映像を表示します。録画はおこないません。

● 「予約録画(通常録画フォルダーに保存)」
予約した番組を録画し、通常録画フォルダーに保存します。

● 「予約録画(録画フォルダー 2に保存)」
予約した番組を録画し、録画フォルダー 2に保存します。

③「録画モード(画質)」を選ぶ

「録画モード(画質)」をクリックし、表示された一覧から録画モードを選んでクリックしてください。

「外でもVIDEO(携帯用録画)」をチェックすると、番組の録画と同時に携帯電話用のデータを作ることができます。録画モードがダイレクトモード以外の場合は、この機能は利用できません。

④「繰り返し予約」を設定する

「繰り返し予約」をクリックし、表示された一覧から繰り返し予約の種類を選んでクリックしてください。

●「しない(1回のみ予約)」
番組表で選んだ番組のみを録画します。通常はこちらを選んでください。

●「する(シリーズ録画)」
シリーズものの番組を続けて録画します(次回以降の放送も自動的に録画)。

●「する(時間指定で予約)」
予約した放送局の、同じ曜日・同じ時間帯の番組を繰り返し録画します。

⑤「詳細設定」をおこなう

「詳細設定」をクリックし、表示された画面でさらに詳細な設定をおこなうことができます。

● 録画する曜日の設定
繰り返し予約を「する(時間指定で予約)」に設定したとき、録画する曜日を追加設定できます。

● 録画する音声の設定(複数の音声が含まれる番組の場合)
「外でもVIDEO(携帯用録画)」をチェックしたときや、録画モードで「ファインロング」または「ロング」を選んだとき、録画する音声を選択できます。

・録画する音声の設定は、複数音声を含む番組を予約したときだけ、表示されます。

・1つの音声に主音声と副音声を含むデュアルモノラル音声放送の場合、音声選択のメニューは表示されませんが、主音声と副音声の両方が録画できます。

設定が完了したら、「保存して戻る」をクリックし、「番組の予約」画面に戻ってください。

⑥「はい」をクリック

●録画モードの用途と特徴について
→このPARTの「録画について」(p.76)

●外でもVIDEOについて→PART7の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.162)

チェック

●外付けハードディスクを登録するなど、あらかじめ録画フォルダが追加登録されているときは、「予約録画/予約視聴」でそれらの録画フォルダーを選択することもできます。ここではご購入時の状態(追加登録した録画フォルダーがない状態)を例に説明しています。

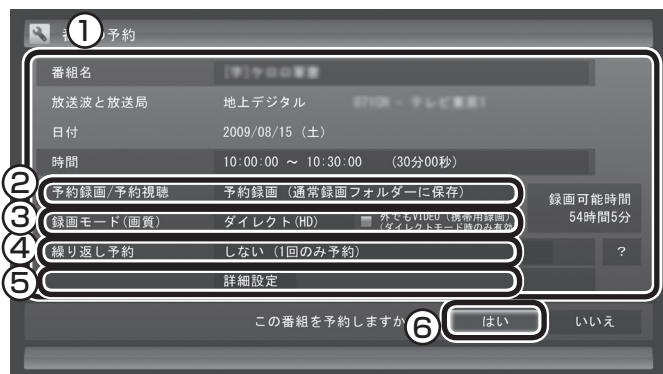
●「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定したとき、番組を予約する画面で設定を変更できるのは、「予約録画/予約視聴」と「録画モード(画質)」のみとなります。他の項目は変更できません。

●「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定しても、番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。

●「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定したとき、自動的に予約される番組は、同じチャンネルの同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。

●番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

●録画の開始時刻や終了時刻を手動で変更したとき、変更した時刻については延長などによる番組の放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

●「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

5 「閉じる」をクリック

番組表に戻ります。

テレビ画面に戻るときは、画面下の「映像画面に戻る」をクリックしてください。

これで、番組の予約ができました。

- 予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。予約が実行されません。
- 予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態(スリープ状態/休止状態)にしておくか、電源を切っておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します(しっかり予約録画)。
- 予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

チェック

「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

ポイント

- 「繰り返し予約」を「する(シリーズ予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されると、それに追従して録画します。
- 「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に設定すると、スポーツ中継の延長などで録画する番組の放送時間が変更されたときでも、あらかじめ設定された時間帯の番組(最初に予約した放送局の同じ曜日･同じ時間帯の番組)を録画します。
- 予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、シリーズごとにおこないます。

参照

- 視聴予約について→このPARTの「視聴予約について」(p.90)
- 予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)

■ 視聴予約について

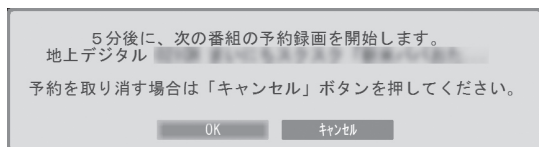
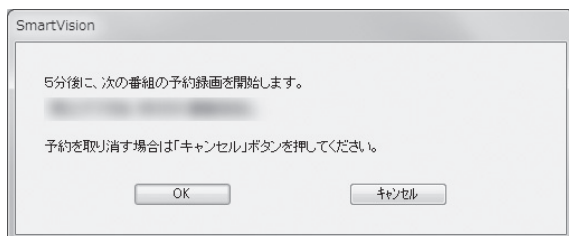
録画の予約と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「予約録画/予約視聴」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約(視聴予約)できます。
視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。
予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定および確認をおこなってください。一度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

- 「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」をクリックし、表示されたメニューから「自動ログオンの設定」をクリックして、「自動ログオンの設定」で自動ログオンのテストと設定をおこなってください。
- 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」がになっていることを確認する。
- 「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」で「再開時にログオン画面に戻る」がになっていることを確認する。

録画の予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.86)

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

このときログオンユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。予約視聴の場合を除いてSmartVisionは起動せずに予約を実行します。
予約の実行が終了すると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「キャンセル」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態になります。

ポイント

- SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態にするメッセージは表示されません。自動的にスリープ状態にしたい場合は、SmartVisionを終了させておいてください。
- 予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます(p.100)。

予約の確認や変更、取り消しをする

いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 操作パネルの をクリック

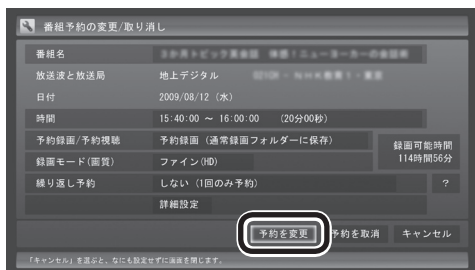
テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」をクリックし、「予約一覧」をクリック

予約一覧が表示されます。

3 予約内容を確認または変更したい番組をクリックし、画面下の「予約変更」をクリック

予約の内容が表示されます。

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」をクリック

予約一覧に戻ります。

ポイント

- 予約の種類をクリックして、切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。

:ハードディスクの容量不足
:繰り返し予約
:おまかせ録画
:ハードディスクに録画
:予約視聴
:新番組おまかせ録画

参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除する」(p.106)

ポイント

ここで「予約を取消」をクリックすると、予約を取り消せます。

録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

5 画面下の「映像画面に戻る」をクリック

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組一覧に録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」をクリックし、「結果一覧」をクリック

予約結果一覧が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。

ポイント

- 予約の種類をクリックして、切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次のとおりです。
  - :ハードディスクの容量不足
  - :繰り返し予約
  - :おまかせ録画
  - :ハードディスクに録画
  - :予約視聴
  - :新番組おまかせ録画

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

●ワイヤレスTVデジタルの電源は、入れたままにしておいてください。

●パソコンは、ワイヤレスTVデジタルと通信できる場所に設置しておいてください。

●同じ時間帯の番組を2つ以上予約することはできません。

●200件まで予約できます(番組表受信予約、新番組おまかせ録画、シリーズ録画、おまかせ録画を含む)。

●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。

●スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。

●予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。

●録画は、開始時刻より若干(2 ～ 6秒)遅れて開始される場合があります。

●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

●予約後は、ACアダプタを接続したままにしておいてください。バッテリの残量が不足すると、録画に失敗することがあります。

●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。
録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。
録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

●「繰り返し予約」を「する(時間指定で予約)」に変更すると、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。放送時間の開始/終了に追従する予約にするには、番組表から予約しなおしてください。

●「時刻指定予約」で予約した場合、番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 5

録画・予約・再生する

シリーズ録画をする(同じ番組を毎回録画する)

番組表を使ってシリーズものの番組を予約するとき、次回以降の放送も自動的に録画するように設定できます。それが「シリーズ録画」機能です。

リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

シリーズ録画って何？

シリーズ録画は、連続ドラマなどのシリーズものの番組を自動的に録画し続ける機能です。
番組表を使って録画予約する「おてがる予約」の操作中に、次回以降の放送も自動的に録画するよう設定できます。

チェック

シリーズ録画した番組は、「録画番組一覧」画面でまとめて表示することができます。また、光ディスクにまとめて保存したり、携帯電話(SDカード)にまとめて転送することもできます。

参照

- シリーズ録画した番組の表示について→このPARTの「再生の方法」(p.102)
- 光ディスクに保存する→PART6の「番組を光ディスクに保存する」(p.132)
- 携帯電話(SDカード)に転送する→PART7の「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.162)

シリーズ録画する

1 「おてがる予約をする」(p.87)の手順1 〜手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 「繰り返し予約」をクリックし、表示されたメニューから「する(シリーズ録画)」をクリック

3 「おてがる予約をする」の手順4 〜手順5をおこなう

チェック

- 「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定したとき、番組を予約する画面で設定を変更できるのは、「予約録画/予約視聴」と「録画モード(画質)」のみとなります。他の項目は変更できません。
- 「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定しても、番組表で取得された番組名が予約時と異なる場合や、番組の開始時間が2時間以上異なる場合は、それがシリーズものの番組であっても録画されないことがあります。
- 「繰り返し予約」を「する(シリーズ録画)」に設定したとき、自動的に予約される番組は、同じチャンネルの同じ番組名の番組となります。なお、予約時の番組名に[再](再放送)が含まれる場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれる番組を録画します。予約時の番組名に[再]が含まれない場合は、2回目以降も番組名に[再]が含まれない番組を録画します。

PART 5
録画・予約・再生する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

チェック

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 操作パネルの をクリック

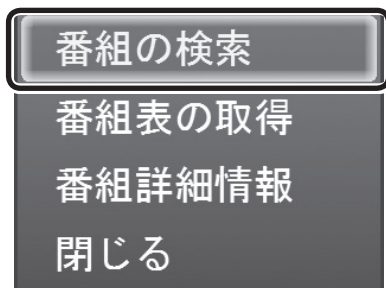
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表 」をクリックし、予約する放送の種類をクリック

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 画面下の「機能表示」をクリックして、表示されたサブメニューから「番組の検索」をクリック

番組の検索
番組表の取得
番組詳細情報
閉じる

「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

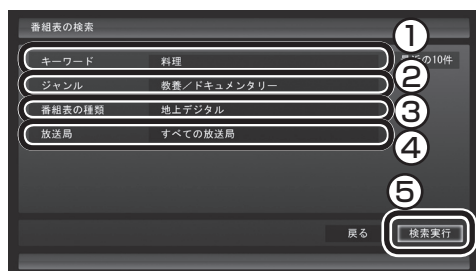
次の①〜④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

① キーワードを入力する
「キーワード」をクリックし、キーボードで検索用のキーワードを入力します。

② ジャンルを選ぶ
「ジャンル」をクリックし、検索するジャンルをクリックします。

③ 番組表の種類を選ぶ
「番組表の種類」をクリックし、検索する放送局をクリックします。

④ 放送局を選ぶ
「放送局」をクリックし、検索する放送局をクリックします。

⑤「検索実行」をクリック

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

5 予約したい番組をクリックし、画面下の「予約」をクリック

「番組の予約」画面が表示されます。
この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.88)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、画面下の「機能表示」をクリックして、表示されたサブメニューから「検索の終了」をクリックしてください。

ポイント

番組名を右クリックして、表示されたメニューから「番組詳細情報」をクリックすると、番組の詳しい情報が表示されます。

PART 5
録画・予約・再生する

番組表を使わないで予約する（時間指定予約）

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

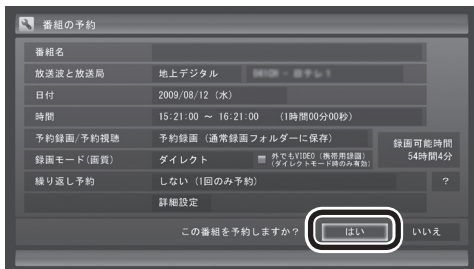
放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」をクリックし、「時間指定予約」をクリック

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」をクリック

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

「時間指定予約」をダブルクリックすると、「番組の予約（詳細設定）」の画面が表示されることがあります。この場合は、「キャンセル」をクリックすると、「番組の予約」画面が表示されます。

チェック

- この方法で録画するときは、録画中に操作パネルの「画面表示」をクリックしても、「録画モード」にデジタル放送の種別を表す（HD）や（SD）が表示されません。
  録画終了後の録画番組一覧で確認してください。
- 番組の延長などによる放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

PART 5
録画・予約・再生する

予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

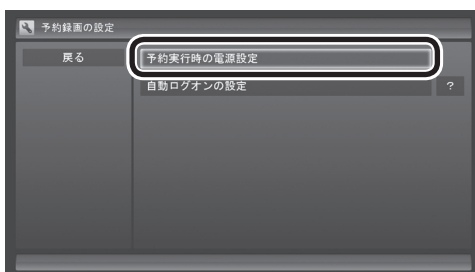
リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「設定 」をクリックし、「予約録画の設定」をクリック

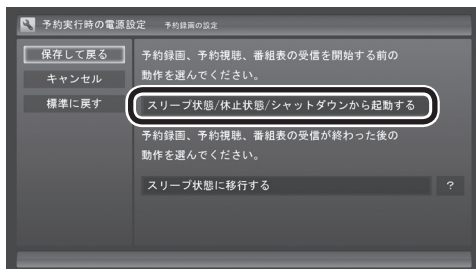
「予約録画の設定」画面が表示されます。

3 「予約実行時の電源設定」をクリック

「予約実行時の電源設定」画面が表示されます。

参照

省電力状態について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「省電力機能」

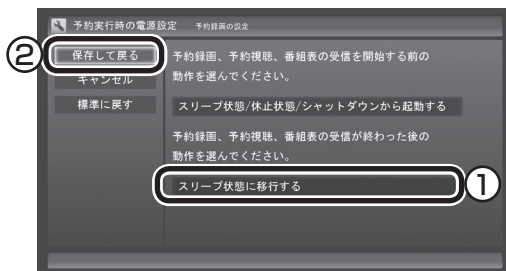
4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

この部分をクリックし、表示された一覧から設定したい項目を選んでクリックします。

「スリープ状態/休止状態/シャットダウンから起動する」を選ぶと、省電力状態や電源を切った状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。
「スリープ状態/休止状態から起動する」を選ぶと、省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

① この部分をクリックし、表示された一覧から設定したい項目を選んでクリック

- 「何もしない」
  予約や番組表受信終了後、パソコンの電源をオンしたままとなります。
- 「スリープ状態に移行する」
  予約や番組表受信終了後、自動的にスリープ状態になります。
- 「休止状態に移行する」
  予約や番組表受信終了後、自動的に休止状態になります。
- 「電源を切る(シャットダウン)」
  予約や番組表受信終了後、自動的にシャットダウンします。

② 「保存して戻る」をクリックする

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

- 「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動ログオン」の設定をしてください。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」で設定されたユーザーのみです。
- ご購入時は「スリープ状態に移行する」に設定されています。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定すると、ほかのアプリケーションで作成中のデータがあった場合、保存していなかったデータは失われてしまいますので、注意してください。

参照

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.221)

ポイント

予約録画終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

PART 5
録画・予約・再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組一覧には、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。
なお、ご購入時の状態では、シリーズものの番組が1つにまとめて表示されます。まとめられた番組には番組名の右側に「まとめ表示」と表示されます。

「まとめ表示」されていない番組と、「まとめ表示」されている番組(シリーズものの番組)では、再生の手順が異なります。

■「まとめ表示」されていない番組を再生する

1 操作パネルのをクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」をクリックし、「 通常 録画フォルダー 1」をクリック

「録画番組一覧」画面が表示されます。

ポイント

- ●録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- ●番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
  - ・「未」：まだ一度も再生していない番組
  - ・「新」：「新番組おまかせ録画」した番組
  - ・「お」：「おまかせ録画」した番組
- ●「おまかせ録画」の番組を再生するときや、追加した録画フォルダの番組を再生するときは、それぞれの録画フォルダを選んでください。
- ●短時間(1 〜 3秒程度)だけ録画した番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。

3 「まとめ表示」されていない再生したい番組をクリックし、画面下の「再生」をクリック

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダを選ぶことができます。

Ⓑジャンルを絞り込むことができます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

Ⓓ画面下の「再生」をクリックします。

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

4 再生を終了するときは、■をクリック

「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

●テレビを見る画面に戻る
「録画番組」画面からテレビを見る画面に戻るには、画面下の「映像画面に戻る」をクリックしてください。

■「まとめ表示」されている番組を再生する

まとめて表示されているシリーズものの番組は、次の手順で再生してください。

1 「「まとめ表示」されていない番組を再生する」(p.102)の手順1 ～手順2をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

参照

●「新番組おまかせ録画」について→このPARTの「新番組おまかせ録画をする」(p.118)
●「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.111)

ポイント

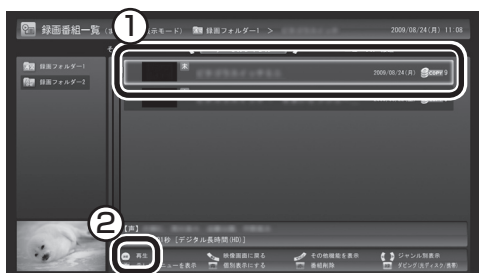
早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

ポイント

右クリックして、サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

2 **「まとめ表示」されている番組をクリックし、右側に表示された「詳細」をクリック**

まとめて表示されていたシリーズ番組の一覧が表示されます。

3 **再生したい番組をクリックし、画面下の「再生」をクリック**

再生が始まります。

再生中の操作については、「「まとめ表示」されていない番組を再生する」の手順3 〜手順4をご覧ください。

ポイント

●シリーズものの番組を連続して再生したいときは、「まとめ表示」された番組をクリックして、そのまま画面下の「再生」をクリックしてください。

●シリーズ番組の一覧を閉じて録画番組一覧に戻るときは、番組をクリックし、左側に表示された「戻る」をクリックしてください。

ポイント

まとめ表示された番組を選んで、シリーズものの番組をまとめて削除することができます。また、まとめて光ディスクに保存したり、携帯電話(SDカード)に転送することもできます。

「まとめ表示」と「個別表示」を切り換える

ご購入時の状態では、シリーズものの番組はまとめて表示されるように設定されています(まとめ表示)。
シリーズものの番組を「まとめ表示」せず、すべての番組を一覧で表示(個別表示)することもできます。

●「まとめ表示」のとき
画面下の「個別表示にする」をクリックすると、すべての番組が一覧で表示されます。

●「個別表示」のとき
画面下の「まとめ表示にする」をクリックすると、シリーズものの番組がまとめて表示されます。

録画した番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

■ 番組をひとつずつ削除する

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧 」をクリックし、削除したい録画番組が保存されている録画フォルダーをクリック

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 削除したい番組をクリックして、画面下の「番組削除」をクリック

メニューが表示されます。

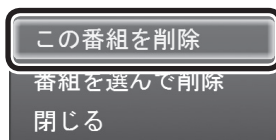
録画フォルダを作って、録画番組を整理をすることができます。

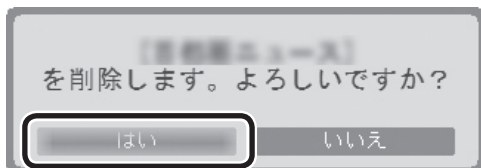
参照

録画番組の整理について→PART7の「録画した番組を整理する」(p.155)

ポイント

複数の番組をまとめて削除することもできます。次の「複数の番組をまとめて削除する」をご覧ください。

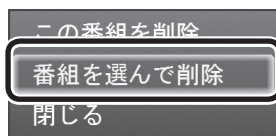
4 「この番組を削除」をクリック

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」をクリック

これで、録画番組が削除されました。

■ 複数の番組をまとめて削除する

1 「番組をひとつずつ削除する」(p.106)の手順1 ～手順3をおこなう

メニューが表示されます。

2 「番組を選んで削除」をクリック

複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んでクリック

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークをつけてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

ポイント

シリーズものの番組をまとめて削除することもできます。シリーズものの番組を選び、手順3で「シリーズをすべて削除」をクリックしてください。

ポイント

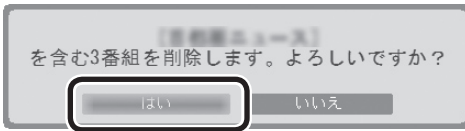
まとめ表示されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて削除の対象になります。

参 照

シリーズ番組のまとめ表示について →このPARTの「再生の方法」(p.102)

4 画面下の「まとめて削除」をクリック

削除を確認する画面が表示されます。

5 「はい」をクリック

これで、録画番組が削除されました。

PART 5
録画・予約・再生する

追っかけ再生する

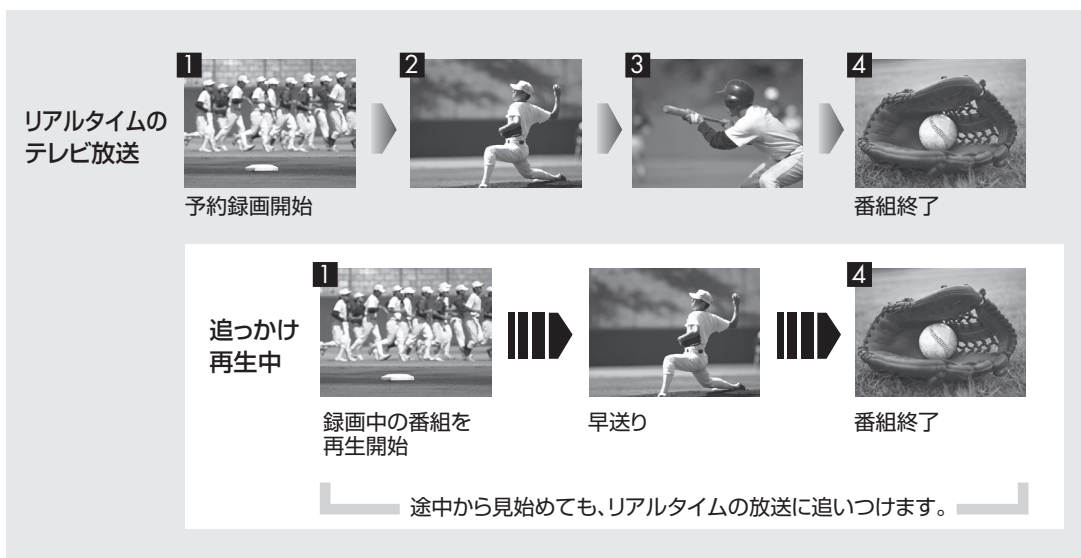
録画予約したドラマが途中まで放送されたところに帰宅。でも録画が終わるまで待っている必要はありません。「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

追っかけ再生って何？

追っかけ再生は、番組を録画しながら、同時に再生できる機能です。録画予約した番組なら、その番組が途中まで放送されていても、はじめから再生することができます。
早送りで「追っかけ」れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

追っかけ再生していた番組の録画が終了しても、そのままテレビを見ることができます。

録画中の番組を再生する（追っかけ再生）

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」をクリック

「録画番組一覧」画面が表示されます。

3 録画中の番組を選んでクリックし、画面下の「再生」をクリック

Ⓐここで録画番組の保存された録画フォルダーを選ぶことができます。

Ⓑジャンルを絞り込むことができます。

Ⓒ赤い●の表示された録画中の番組を選びます。

Ⓓ画面下の「再生」をクリックします。

追っかけ再生が始まります。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。操作パネルの■をクリックすると再生が終了し、次に再生するときは停止した場所から始まります。

ポイント

- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときは、「おまかせ」録画フォルダを選んでください。

参照

「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ録画をする」(p.111)

チェック

- 録画中の番組を視聴するときは、録画している画質(録画モード)の映像が表示されます。たとえば、「ファイン」で録画中の番組を視聴するときは、画質が「ファイン」の映像が表示されます。
- タイムシフトモードでの操作とは異なり、操作パネルの■をクリックしても録画は継続します。

参照

- 録画モードについて→付録の「録画モードについて」(p.224)
- タイムシフトモードについて→このPARTの「タイムシフトモードにする」(p.83)

PART 5 録画・予約・再生する

おまかせ録画をする

ジャンルやキーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

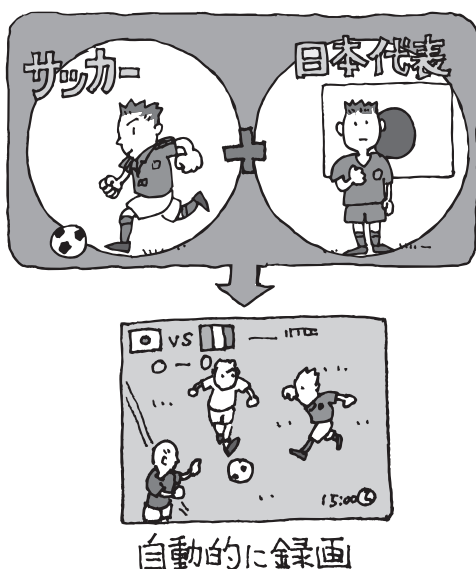
リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、条件に合った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。

ポイント

●番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

●おまかせ録画で番組が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参 照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.150) の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を有効にする

おまかせ録画では、お好みの条件やキーワードを登録することができますが、ご購入時の状態でもあらかじめいくつかの条件が登録されています。ここでは、登録済みの条件からおまかせ録画をする方法を説明します。

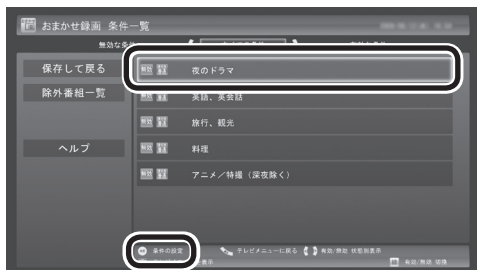
おまかせ録画の条件の登録方法→このPARTの「おまかせ録画を登録する」(p.113)

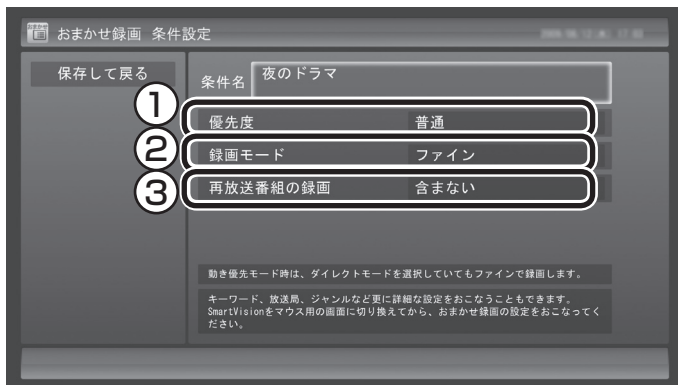
1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」をクリックし、「おまかせ録画」をクリック

おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

3 予約したい条件名をクリックして、画面下の「条件の設定」をクリック

条件設定の画面が表示されます。

4 おまかせ録画の条件を決める

① 優先度
　おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度を設定します。

② 録画モード
　デジタル放送の番組を録画するときの録画モードを選びます。

③ 再放送番組の録画
　再放送の番組を録画するかどうかを選びます。

5 「保存して戻る」をクリック

6 画面下の「有効/無効 切換」をクリック

条件が有効になります。

7 「保存して戻る」をクリック

これで、おまかせ録画が有効になります。

ポイント

マウス専用画面で、さらに細かい条件(キーワードや放送局、曜日など)を設定できます。詳しくは次の「おまかせ録画を登録する」をご覧ください。

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。キーワードなどの入力は、マウス専用画面でおこないます。

参照

マウス専用画面を表示する→PART7の「マウス専用画面」(p.148)

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わります。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

2 （予約&結果一覧）をクリック

3 「予約一覧」タブの おまかせ （おまかせ）をクリック

「おまかせ録画条件一覧」画面が表示されます。

4 「新規追加」をクリック

「条件入力」画面が表示されます。

ポイント

フルスクリーンモードに戻す（切り換える）には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

5 おまかせ録画の条件を登録する

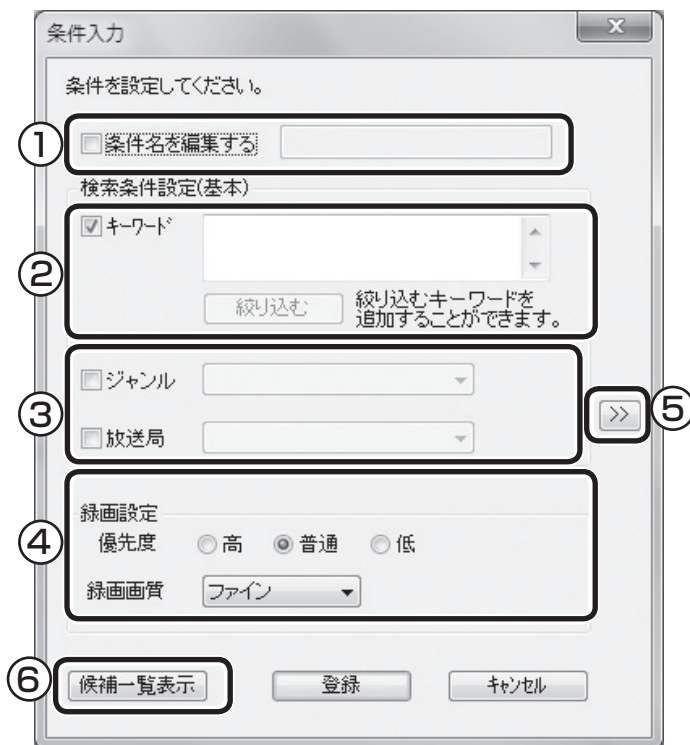
① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

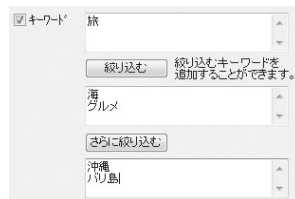
② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
[>>]をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。
なお、おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通・低):放送の2日前

ポイント

- □のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)
- 「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

- ドラマなどの連続番組を毎回録画するときは、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組をクリックしてキーワードのエリアにドラッグ&ドロップすると、番組名を簡単に入力することができます。

チェック

- 深夜0:00 〜 6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。
- 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。
- この方法で録画するときは、録画中に操作パネルの「画面表示」をクリックしても、「録画モード」にデジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)が表示されません。
録画終了後の録画番組一覧で確認してください。

6 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

7 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

8 「閉じる」をクリック

参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.150)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード･アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは、別の「おまかせ」録画フォルダに保存されます。

1 操作パネルのをクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」をクリックし、「 録画フォルダー 2」をクリック

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.102)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときの注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約されるのは、次のタイミングです。
・おまかせ録画(優先度高):放送の7日前
・おまかせ録画(優先度普通･低):放送の2日前
これより前に同じ時間帯の別の番組が予約されたときは、おまかせ録画は実行されません。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画で録画した番組は、一定の容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、次の手順でおまかせ属性を解除してください。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧 」をクリックし、「 録画フォルダー 2」をクリック

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組をクリックし、画面下の「その他機能を表示」をクリック

サブメニューが表示されます。

4 「おまかせ属性の解除」をクリック

5 「この番組」をクリック

6 解除を確認する画面で「はい」をクリック

お の表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

- 手順5で「全ての番組」を選んで、「おまかせ」録画フォルダ内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。
- マウス専用画面で、「おまかせ」録画フォルダから別の録画フォルダに移動しても、おまかせ属性を解除できます。複数の番組のおまかせ属性をまとめて解除することもできます。詳しくは、PART7の「録画した番組を整理する」(p.155)をご覧ください。

PART 5

録画・予約・再生する

新番組おまかせ録画をする

新しく始まったドラマやアニメを自動的に探して録画してくれる「新番組おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

新番組おまかせ録画って何？

新番組おまかせ録画は、番組表の情報から新しく始まったドラマやアニメを探し出し、自動的に予約して録画する機能です。もちろん第1話だけでなく、2話目以降も自動的に録画されます。
新番組おまかせ録画を使えば、新しいお気に入り番組を見つけられるかもしれません。

チェック

- ご購入時は、新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。
- 対応している番組のジャンルは「ドラマ」と「アニメ」のみです。
- 新番組おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組と同様に、「通常」録画フォルダに保存されます。

ポイント

- 同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、録画予約する番組が無作為に選ばれます。録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約をしてください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。
- 新番組おまかせ録画で新番組の第1話が録画されたときは、録画したことをお知らせするメッセージが表示されます。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.86)

新番組おまかせ録画を有効にする

ご購入時は新番組おまかせ録画の機能が無効になっています。ここでは、番組を探す時間帯や番組のジャンルを設定し、機能を有効にする方法について説明します。

1 操作パネルの をクリック

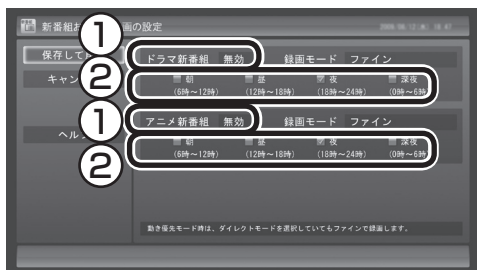
テレビメニューが表示されます。

2 「予約 」をクリックし、「新番組おまかせ録画」をクリック

新番組おまかせ録画の設定画面が表示されます。

3 新番組おまかせ録画の条件を設定する

① 録画したいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「無効」をクリックし、表示されたメニューで「有効」をクリック

② 新番組を探す時間帯をクリックし、チェックマークをつける

4 「保存して戻る」をクリック

これで、新番組おまかせ録画の機能が有効になりました。

ポイント

- ●予約内容は「予約一覧」画面で確認できます。録画予約の変更や削除は、番組のシリーズごとにおこないます。
- ●予約内容を確認する画面で設定を変更できるのは、「録画モード(画質)」と「録画保存先」のみとなります。他の項目は変更できません。

参照

予約の確認や変更、取り消しについて→このPARTの「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)

ポイント

- ●ご購入時は、あらかじめ「夜(18時～24時)」にチェックマークがついています。
- ●チェックマークを外すときは、チェックマークのついた時間帯をクリックしてください。
- ●必要に応じて「録画モード(画質)」を変更することができます。
- ●新番組を探す時間帯についてそれぞれ次の番組を探します。
  - ・「朝 6時～12時」
    6:00から11:59の間に始まる番組
  - ・「昼 12時～18時」
    12:00から17:59の間に始まる番組
  - ・「夜 18時～24時」
    18:00から23:59の間に始まる番組
  - ・「深夜 0時～6時」
    0:00から5:59の間に始まる番組

新番組おまかせ録画を無効にする

新番組おまかせ録画の機能を無効にするときは、次のように操作してください。

1 「新番組おまかせ録画を有効にする」(p.119)の手順1 ～手順2をおこなう

(p.119)

2 無効にしたいジャンル(「ドラマ新番組」/「アニメ新番組」)の「有効」クリックし、表示されたメニューで「無効」をクリック

3 「保存して戻る」をクリック

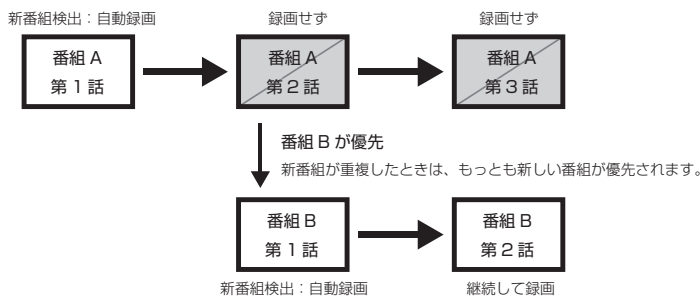
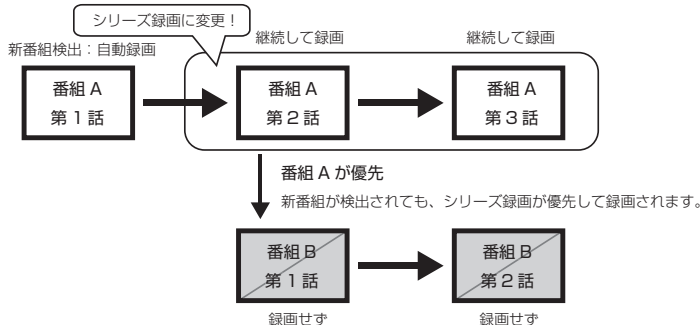
これで、選んだジャンルの新番組おまかせ録画の機能が無効になりました。

新番組おまかせ録画した番組をシリーズ録画に変更する

新番組おまかせ録画機能で録画された番組は、第2話目以降も継続して録画されます。ただし、同じ曜日の同じ時刻に別のテレビ局で新たな連続ドラマがスタートすると、そちらを新番組として録画するため、以前から録画していた番組が録画できなくなってしまいます。
気に入った新番組は「シリーズ録画」に変更してください。
シリーズ録画は新番組おまかせ録画より優先度が高いため、新たに放送が重複する新番組が見つかっても、お気に入りの番組が優先して録画されます。

ポイント

すでに放送が終了した番組を選んだときや、番組表のデータから対象となる番組が見つからないときは、シリーズ録画に変更することができません。

新番組 A の翌週に新番組 B がスタート・・・

新番組 A をシリーズ録画に変更しておけば・・・

■ 予約一覧でシリーズ録画に変更する

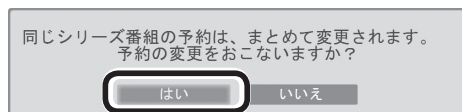
予約一覧でシリーズ録画に変更する

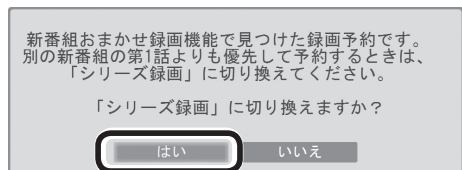
1 「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)の手順1 〜手順2をおこなう

予約一覧が表示されます。

2 シリーズ録画に変更したい番組をクリックし、画面下の「予約変更」をクリック

同じシリーズの番組をまとめて変更するかどうか確認するメッセージが表示されます。

3 「はい」をクリック

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」をクリック

「繰り返し予約」が「する(シリーズ録画)」に設定された状態で、予約の内容が表示されます。

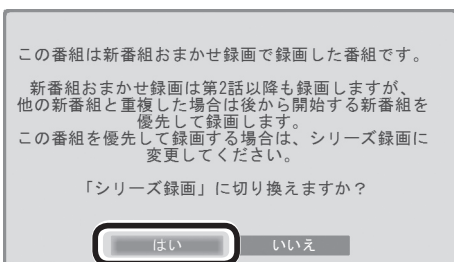
5 「予約の変更」をクリック

これでシリーズ録画への変更は完了です。

■ 番組を再生した後でシリーズ録画に変更する

1 シリーズ録画に変更したい番組を再生し、停止します。

シリーズ化するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」をクリック

「繰り返し予約」が「する（シリーズ録画）」に設定された状態で、次回の予約の内容が表示されます。

3 「予約の変更」をクリック

これでシリーズ録画への変更は完了です。

ポイント

番組の最後まで再生して自動的に停止したときも、同様のメッセージが表示されます。

予約の優先度について

このパソコンのテレビには、さまざまな予約機能があります。ここでは、自動的に登録される予約の優先度について説明します。

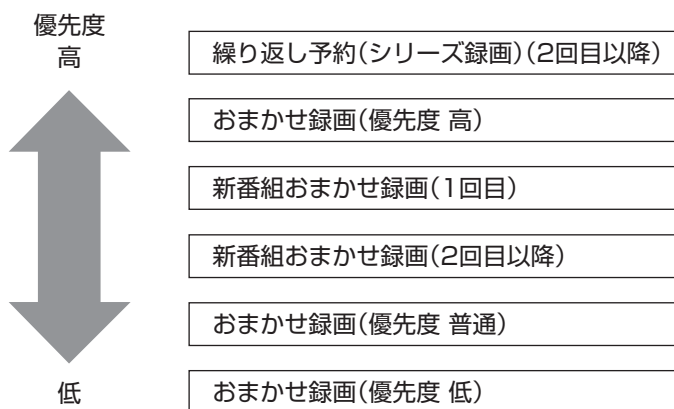
自動的に登録される予約の優先度

「おまかせ録画」や「新番組おまかせ録画」および「繰り返し予約(シリーズ録画)」といった、自動的に登録される予約には、それぞれに優先度があります。複数の予約が重複したときは、優先度の高い順に登録されます。

自動的に登録される予約の優先度は以下のとおりです。

優先度
高

- 繰り返し予約(シリーズ録画)(2回目以降)
- おまかせ録画(優先度 高)
- 新番組おまかせ録画(1回目)
- 新番組おまかせ録画(2回目以降)
- おまかせ録画(優先度 普通)
- おまかせ録画(優先度 低)

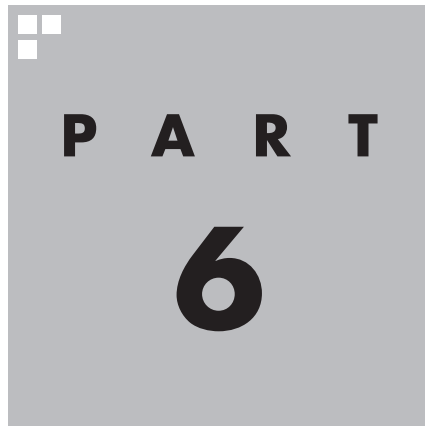
低

- 「繰り返し予約(シリーズ録画)」、「新番組おまかせ録画」、および「おまかせ録画(優先度 高)」は、放送の7日前に予約が登録されます。
- 「おまかせ録画(優先度 普通)」と「おまかせ録画(優先度 低)」は、放送の2日前に予約が登録されます。

「繰り返し予約(シリーズ録画)」の1回目は、番組表を使って予約(おてがる予約)するため、自動的に登録される予約には含まれません。

チェック

- これらの予約は番組表の番組情報を使って登録されます。番組表が取得された時点で、番組の検索や登録の処理が始まります。
- 同じ優先度の複数の番組が同じ時刻に放送される場合、録画予約する番組は無作為に選ばれます。録画したい番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

参照

おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.86)

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 6
録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を保存できる光ディスク(DVDなど)について

録画した番組は、画質やコピー制御方式によって、保存できる光ディスクが異なります。

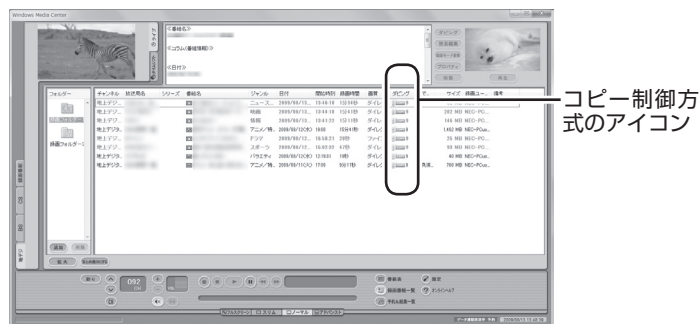
保存できる光ディスク

番組を光ディスクに保存するときの光ディスクの種類、録画モードなどについては、付録の「録画モードについて」(p.224)で詳しく説明しています。このページとあわせてご覧ください。

■ 画質とコピー制御方式の確認

録画番組一覧で、光ディスクに保存する番組の画質と、コピー制御方式のアイコンを確認してください。

●リモコンでも使える画面の場合

●マウス専用画面の場合

コピー制御方式のアイコン	保存できる光ディスク	保存形式
COPY 9 ～ COPY 1 MOVE	BD-RE(1層/2層)※1 BD-R(1層/2層)※1	BDAV
	CPRM対応のDVD-RAM (片面/両面)	AVCREC※2 DVD-VR※3
	CPRM対応のDVD-R (1層/2層)	AVCREC※2 DVD-VR※3
FREE	BD-RE(1層/2層)※1 BD-R(1層/2層)※1	BDAV
	DVD-RAM	AVCREC※2 DVD-VR※3
	DVD-R(1層/2層)	AVCREC※2 DVD-VR※3

※1：BD-RE、BD-Rに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。
※2：録画画質がデジタルダイレクトの場合は、自動的に録画モード変換されます。
※3：自動的に録画モード変換されます。

光ディスクに書き込む形式について

書き込み形式	特徴
BDAV	デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式。
AVCREC	デジタル放送をハイビジョン画質のままDVDのディスクに保存できる形式。
DVD-VR	アナログ放送用のDVDプレーヤーなどで使われている形式。このパソコンでは、デジタル放送の番組をアナログ放送相当の画質に変換して保存します。

このパソコンで記録した光ディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できる光ディスクについて
→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「DVD/CDドライブ」(または「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」)

AVCRECとDVD-VRについて

このパソコンでCPRM対応のDVDに録画番組を保存するには、AVCRECとDVD-VRの2つの方法があります。

●AVCREC
デジタル放送をハイビジョン画質のまま保存する方法です。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
DVD-VRよりも高画質で保存できます。

●DVD-VR
デジタル放送をアナログ放送相当の画質に変換して保存する方法です。
このパソコン以外のパソコンやプレーヤで再生するには、パソコンやプレーヤが再生に対応している必要があります。
AVCRECよりも画質が落ちます。また対応するパソコンやプレーヤの種類がAVCRECよりも多くあります。

PART 6

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存するための準備

デジタル放送番組を、光ディスクに保存するために必要なCPRMのアップデートと光ディスクのフォーマットについて説明します。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

CPRMのアップデートをする

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。
デジタル放送画質の番組は、録画モード変換して、CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存できます。保存した番組は、対応したパソコンやプレーヤで再生できます。

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する前に、ソフトのアップデートが必要です。アップデートは、「SmartVision CPRM アップデータ」でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「CPRMアップデータ」-「SmartVision CPRMアップデータ」をクリック

アップデート方法を説明する画面が表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

チェック

デジタル放送画質の番組を、そのままDVD-RAMやDVD-Rに保存することはできません。保存時に、自動的に録画モード変換されます。あらかじめ手動で録画モード変換しておくこともできます。

参照

録画モード変換について→このPARTの「録画モード変換について」(p.142)

ポイント

- CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDに保存するためには、SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示されます。
- CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

光ディスクをフォーマットする

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、UDF形式でフォーマットをする必要があります。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

光ディスクのフォーマット方法は次の2つです。

・ SmartVisionで光ディスクをフォーマットする(p.129)
・ Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする(p.130)

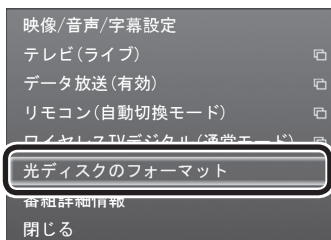
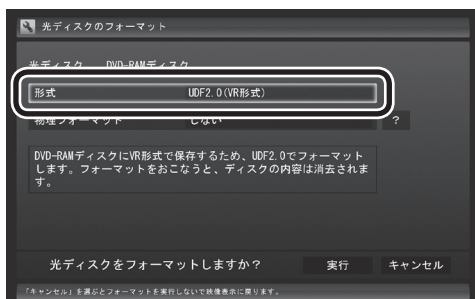
いずれかの機能を使って、光ディスクをフォーマットしてください。

チェック

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ SmartVisionで光ディスクをフォーマットする

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 テレビを表示した状態で右クリックし、表示されたサブメニューで「光ディスクのフォーマット」をクリック

3 「形式」をクリックし、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.5
BD-R	BDAV	UDF2.6
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0(VR形式)
	AVCREC	UDF2.5(AVCREC形式)

チェック

光ディスクのフォーマットをWindows 7の機能でおこなうモデルの場合、「光ディスクのフォーマット」は表示されません。この場合は、「Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする」(p.130)をご覧ください。

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」をクリックしてください。

チェック

「物理フォーマット」で「する」を選ぶと、フォーマットに1時間～1時間30分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

参照

書き込み形式について→このPARTの「光ディスクに書き込む形式について」(p.127)

4 「実行」をクリック

フォーマットが始まります。

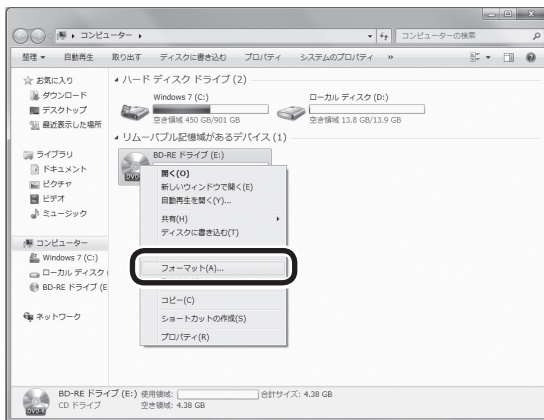
「フォーマットが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。

■ Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする

この操作はマウスでおこないます。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 「スタート」-「コンピューター」をクリック

3 「DVD/CDドライブのアイコン」を右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

「フォーマット」画面が表示されます。

4 「ファイル システム」の右の ▼ をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」をクリックしてください。

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	書き込み形式	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.5
BD-R	BDAV	UDF2.6
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.0またはUDF2.01
	AVCREC	UDF2.5

書き込み形式について→このPARTの「光ディスクに書き込む形式について」(p.127)

5 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

PART 6

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存する

デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

※ブルーレイディスク(BR-RE、BR-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

番組を光ディスクに保存します。DVD-RAMまたはBD-RE、BD-Rに保存する場合は、必要に応じて光ディスクをフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは「光ディスクをフォーマットする」(p.128)をご覧ください。

※ フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 操作パネルのをクリック

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」をクリックし、「通常 録画フォルダー 1」をクリック

録画番組が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECが起動した場合は、表示されたウィンドウ右上のをクリックしてウィンドウを閉じてください。

ポイント

- moveが表示された番組を光ディスクに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」をクリックしてください。

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

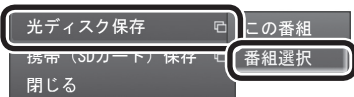
〜

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、光ディスクにコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに光ディスクに9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は光ディスクにムーブ（移動）することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも光ディスクにコピーできます。

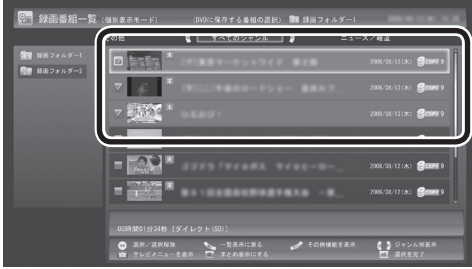
4 保存する番組をクリックして画面下の「ダビング（光ディスク/携帯）」をクリックし、表示されたメニューで「光ディスク保存」をクリック

5 表示されたメニューから、「光ディスク保存」-「番組選択」をクリック

チェック

- ムーブ（移動）すると、元の番組は削除されます。
- 番組を携帯電話（SDカード）に転送したときも、コピーできる残り回数が減ります。

ポイント

まとめて表示されたシリーズ番組を選択した場合、含まれているシリーズ番組すべてが選択されます。

6 光ディスクに保存したい番組を選んでクリック

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順6を繰り返して、光ディスクに保存したい番組にチェックマークをつけてください。

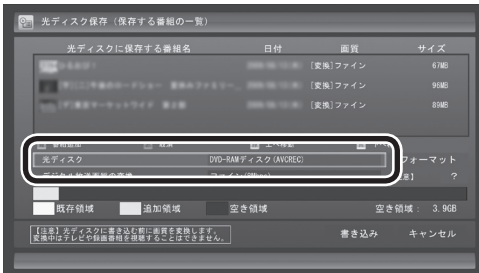
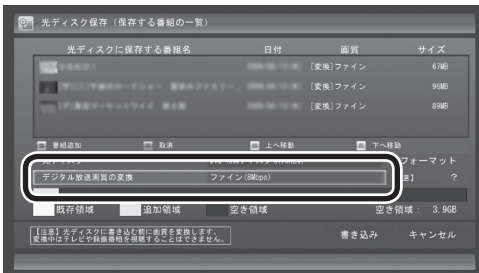
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

7 画面下の「選択を完了」をクリック

保存する番組の一覧が表示されます。

8 「光ディスク」にセットした光ディスクが表示されていることを確認する

DVD-RやDVD-RAMをセットしたときは、書き込み形式(AVCRECまたはVRモード)を選択できます。

「光ディスク」をクリックして書き込み形式を選んでください。

9 「デジタル放送画質の変換」をクリックし、表示されたメニューから、光ディスクに保存する画質を選んでクリック

光ディスクに保存する画質を変換するとき

デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をするときは、次のことができなくなります。

・番組の視聴

・番組の録画

・番組表の受信

ポイント

まとめ表示されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて保存の対象になります。

参照

シリーズ番組のまとめ表示について →PART5の「再生の 方法」(p.102)

チェック

選択したフォーマットで使用できない光ディスクがセットされている場合は、メッセージが表示されます。その場合は、光ディスクを交換するか、「フォーマット」を選んで、光ディスクをフォーマットしてください。

ポイント

DVD-RAMディスクまたはDVD-RディスクにVRモードで保存するときは、画質(録画モード)が自動的に変換されます。変換する画質を選ぶこともできます。

チェック

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、VRモードで保存することができません。

次の画質が選べます。

「光ディスク」欄の表示	選べる画質	保存できる時間(1層/2層※)
BD-RE(ブルーレイ)ディスク BD-R(ブルーレイ)ディスク	変換しない	地上デジタルハイビジョンテレビ(HD) 約3時間10分/約6時間30分
		地上デジタル標準テレビ(SD) 約6時間50分/約13時間50分
		BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ(HD) 約2時間10分/約4時間30分
		BS・110度CSデジタル標準テレビ(SD) 約5時間/約10時間
	ファイン (8Mbps)	約6時間50分/約13時間50分
	ファインロング (4Mbps)	約13時間50分/約27時間40分
	ロング (2Mbps)	約27時間40分/約55時間30分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します。
DVD-RAMディスク (AVCREC)	ファイン (8Mbps)	約1時間10分
	ファインロング (4Mbps)	約2時間30分
	ロング (2Mbps)	約5時間10分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します。
DVD-Rディスク (AVCREC)	ファイン (8Mbps)	約1時間10分/約2時間20分
	ファインロング (4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	ロング (2Mbps)	約5時間10分/約9時間20分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します。
DVD-RAMディスク (VRモード)	高画質 (7.5Mbps)	約1時間10分
	標準画質 (4Mbps)	約2時間30分
	長時間 (2Mbps)	約5時間10分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します
DVD-Rディスク (VRモード)	高画質 (7.5Mbps)	約1時間10分/約2時間20分
	標準画質 (4Mbps)	約2時間30分/約4時間40分
	長時間 (2Mbps)	約5時間10分/約9時間20分
	1ディスクダビング (*Mbps)	光ディスクの空き容量に合わせて自動的に画質を変換します

※:DVD-RAMディスクは1層のみ

10 光ディスクに書き込む順序を指定する

「保存する番組の一覧」の上から順に光ディスクに書き込まれます。必要に応じて書き込む順序を指定してください。

①順序を変更したい番組をクリック

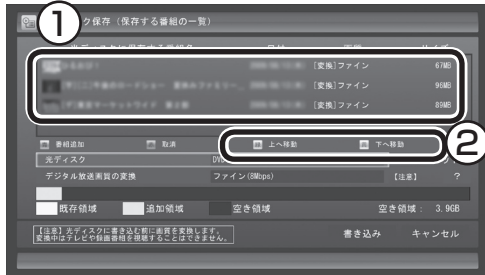
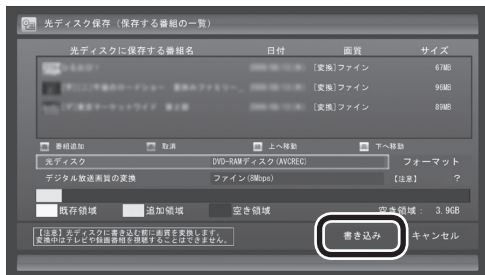
②画面下の「上へ移動」または「下へ移動」をクリック

特に指定しない場合は、手順6の画面でチェックマークを付けた順番に光ディスクに書き込まれます。

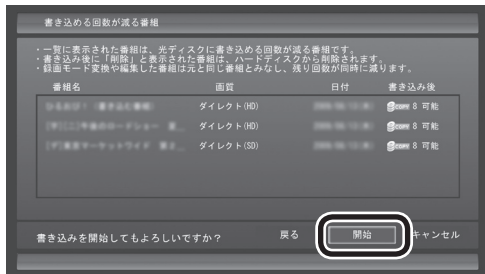
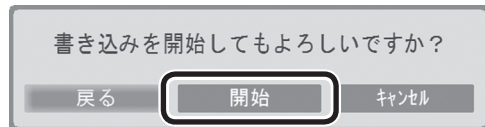
チェック

- 保存する番組を削除するときは、番組をクリックして画面下の「削除」をクリックしてください。
- 保存する番組を追加するときは、「番組追加」をクリックして、手順6の画面に戻ってください。

11 「書き込み」をクリック

下段に光ディスクの空き領域(容量)が表示されます。空き領域が不足しているときは、「書き込み」が表示されません。

確認画面が表示されます。

12 「開始」をクリック

ダビング10やコピーワンスの番組を選んだとき

コピーフリーの番組を選んだとき

書き込み優先モードで書き込みが始まります。

ポイント

- ダビング10やコピーワンスの番組を選んだときは、書き込む番組と、その番組と同じグループの番組(書き込める回数が減る番組)の一覧が表示されます。また、書き込んだ後のコピーできる残り回数が表示されます。
- コピーできる残り回数(ムーブ含む)を超えて番組を選んだときは､「書き込むことができません」というメッセージが表示されます。必要に応じて番組を選びなおしてください。同じ番組から録画モード変換した番組や編集した番組を複数選んだときは特にご注意ください。
  詳しくは、「光ディスクに保存するときのご注意」(p.138)をご覧ください。
- フルスクリーンモード画面でテレビの映像が表示されているときは、画面の左下に書き込みの進行状況が「%」で表示されます。操作パネルの「画面表示」をクリックして、進行状況を非表示にすることもできます。

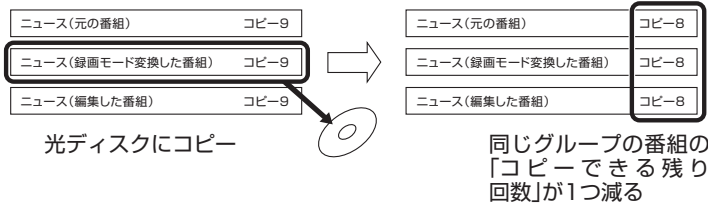
書き込み優先モードとは
映像の表示を中止して、番組の保存にかかる時間を短縮するモードです。
書き込み優先モードのとき、「映像表示を再開」をクリックすると、保存を続けながらテレビを見ることができます(番組の保存にかかる時間は長くなります)。
書き込み優先モードに戻すときは、右クリックし、表示されたサブメニューで「書き込み優先モード」をクリックしてください。
なお、デジタル放送画質の変換(録画モード変換)をしている間は、書き込み優先モードとなり、映像を表示することはできません。

13 書き込みが完了すると「光ディスク作成が完了しました。」と表示されるので、「OK」をクリック

これで、保存が完了しました。

- 視聴予約でSmartVisionが起動したときは、予約の終了に伴ってSmartVisionが自動的に終了することがあります。ご注意ください。
- 書き込み中にサブメニューから「光ディスク作成の中止」をおこなったDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込みに失敗したDVD-Rディスクは、以後、使用できなくなります。
- 書き込み中にスリープ状態にした場合は、書き込みが終了するまでスリープ状態になりません。
- 書き込み中に映像表示をした場合、見ている番組によっては映像がコマ落ちしたり、微動して見えることがあります。

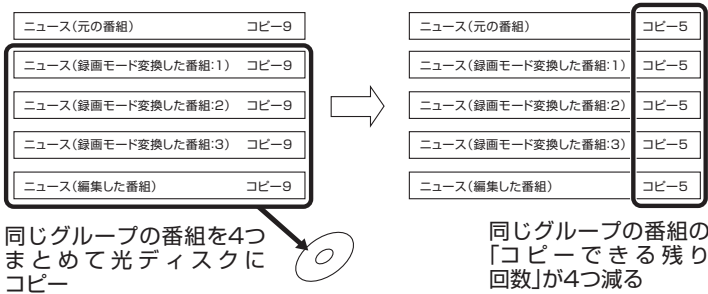
光ディスクに保存するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を録画モード変換した番組や編集した番組は、元の番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、録画モード変換した番組や編集した番組を光ディスクにコピーすると、元の番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

光ディスクにコピー

同じグループの番組の「コピーできる残り回数」が1つ減る

同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

同じグループの番組を4つまとめて光ディスクにコピー

同じグループの番組の「コピーできる残り回数」が4つ減る

ポイント

このパソコンでは、録画モード変換された番組を光ディスクにコピーしたときも、コピーできる残り回数が減ります。

参照

録画モード変換したデジタル放送番組の扱いについて→このPARTの「録画モード変換したダビング10の番組について」(p.143)

VRモードで保存した番組を再生する

VRモードで保存した番組は、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、またはWinDVD BD for NECで再生します。再生には、CPRMのアップデートをする必要があります。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリック

Windows Media Centerが起動します。

2 「おすすめ」-「WinDVD」をクリック

CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめて再生するときは手順3に、2回目以降は手順4に進んでください。

3 表示されたウィンドウ上で右クリックし、「CPRM Packをダウンロード...」をクリック

表示される画面の指示にしたがってCPRMのアップデートをしてください。

CPRMのアップデートをする詳しい方法については、『パソコンの準備と基本』の「ディスク(DVD/CDなど)」-「CPRMのサポートに関する画面が表示されたら」で説明しています。このマニュアルとあわせてご覧ください。

4 DVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像の再生が始まります。

CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめてセットしたときは、WinDVD for NECまたは、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECが再起動してから、映像の再生が始まります。

チェック

- ●SmartVisionが起動しているときは、WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、またはWinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。
- ●CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存した番組は、DVD-MovieAlbumSEでも再生できます。
- ●CPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。
- ●作ったDVD-RAM/DVD-Rは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

AVCREC形式で保存した番組を再生する

AVCREC形式で保存した番組は、WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECで再生します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリック

Windows Media Centerが起動します。

2 「おすすめ」-「WinDVD」をクリック

3 AVCREC形式で保存したDVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

■ AVCREC形式で保存した番組を再生するときの注意

- ●画面の配色がWindows 7ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。

SmartVisionが起動しているときは、WinDVD AVC for NECまたはWinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

BD-R/BD-REに保存した番組を再生する

BD-R/BD-REに保存した番組は、WinDVD BD for NECで再生します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリック

Windows Media Centerが起動します。

2 「おすすめ」-「WinDVD」をクリック

3 BD-R/BD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

映像が再生されます。

■ ブルーレイディスクを再生するときの注意

- ブルーレイディスクの再生には、WinDVD BD for NECを使用してください。
- ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows 7 ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。WinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。
- その他の注意事項など、「WinDVD BD for NEC」について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「WinDVD BD for NEC」をご覧ください。

チェック

SmartVisionが起動しているときは、WinDVD BD for NECが起動しないことがあります。SmartVisionを終了してから起動してください。

光ディスクに保存した番組の字幕を表示する

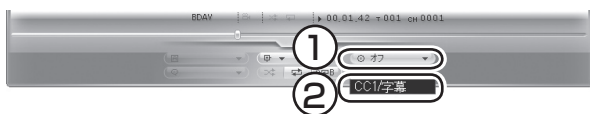
字幕の含まれる放送をBD-RE、BD-Rに保存、またはDVD-RやDVD-RAMにAVCREC形式で保存した場合は、再生するときに字幕の表示/非表示を選ぶことができます。

1 光ディスクに保存した番組を再生する

2 マウスを使って、画面下の をクリック

3 字幕を有効にする

① 「オフ」をクリック

② 表示されたメニューから「CC1/字幕」をクリック

字幕が表示されます。

チェック

- 字幕が表示できるのは、放送時に字幕が含まれていた番組だけです。
- DVD-RやDVD-RAMにVRモードで保存された番組では、字幕を表示できません。

光ディスクに保存した番組の再生
→このPARTの「VRモードで保存した番組を再生する」(p.139)、「AVCREC形式で保存した番組を再生する」(p.139)、または「BD-R/BD-REに保存した番組を再生する」(p.140)

- 字幕が含まれていない番組の場合、項目を選ぶことはできません。
- 字幕表示をやめる場合は、手順3で「オフ」を選んでください。

AACSキー(再生用)を更新する

- このパソコンのブルーレイディスクおよびAVCREC再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクおよびAVCREC形式で保存されたDVD-RやDVD-RAMを再生するには、AACS キーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
- AACS のキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル株式会社の判断で予告なく終了することがあります。

光ディスクを再生したときに、「AACSキーの有効期間が終了しました。」と表示されたときは、AACSキーの更新が必要です。AACSキーの更新手順は次のとおりです。

1 AACSキーの含まれたコンテンツを再生したときに、「AACSキーの有効期間が終了しました。…」という画面が表示されたら、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、Corelオンライン登録ページが表示されます。

2 Corelオンライン登録ページにユーザー登録している場合は、登録したメールアドレスとパスワードを入力して「Sign in」をクリック

登録していない場合は、「Sign up」をクリックしてください。登録画面へ移動します。
「Sign in」をクリックすると、AACSキーのダウンロードが始まります。終了すると自動的に画面が閉じます。

3 「AACSキーのアップデートが終了しました。」の画面で「OK」をクリック

これで、AACSキーが更新されます。

PART 6
録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

録画モードがダイレクトの番組を録画モード変換する

録画モード変換して、番組データの容量を減らすことができます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

録画モード変換について

録画した番組はとてもデータ量が多いため、ハードディスクに大きな空き容量が必要です。
録画モード変換することで、録画番組のデータの容量を減らし、ハードディスクの容量を節約することができます。

■ 録画モード変換をするときの注意

●ワイヤレスTVデジタルと通信できないときは、録画モード変換をすることができません。
●録画モードが「ダイレクト」で録画された番組のみ録画モード変換ができます。録画モードが「ファイン」、「ファインロング」、「ロング」の番組は録画モード変換できません。
●録画済み番組を録画モード変換するときは、録画した時間と同じ程度の時間がかかります。
●録画モード変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
●録画モード変換により、データ放送などの情報はなくなります。
●録画モード変換中は、番組を視聴および録画することができません。また、番組を視聴および録画中は、録画モードを変換をすることができません。
●録画モード変換中は、番組表を受信することができません。
●録画モード変換中は、タイムシフトモードにすることができません。

ポイント

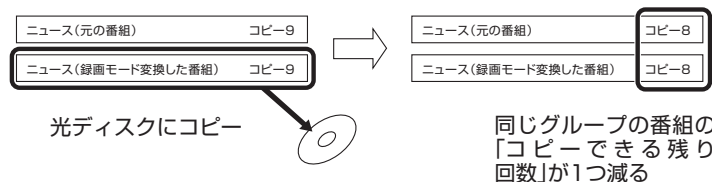
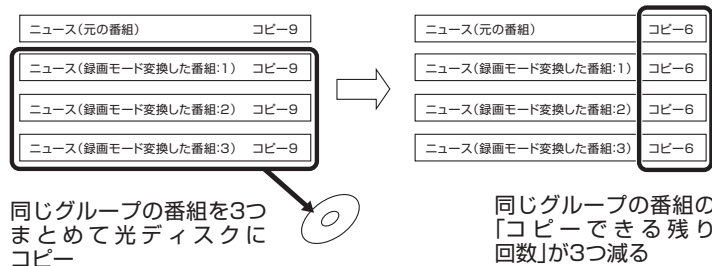
録画モード変換した番組の元のデータはそのまま残ります。ハードディスクの容量を節約したいときは、必要に応じて元の番組のデータを削除してください。

ポイント

録画モード変換の作業中にSmartVisionを終了しても、画面右下のSmartVisionアイコンがとに交互に変わり、変換作業が継続していることがわかります。このアイコンにマウスカーソルをあわせると、録画モード変換の進捗状況が確認できます。

録画モード変換したダビング10の番組について

番組を録画モード変換すると、録画番組一覧には元の番組と録画モード変換した番組が並んで表示されます。

元の番組と録画モード変換した番組は1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
たとえば、録画モード変換したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

1つの番組を何度でも録画モード変換することができます(異なる録画モードで変換しなおす場合など)。
なお、同じ番組から録画モード変換した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

チェック

- 「録画モード変換」したダビング10の番組にも、光ディスクにコピーできる残り回数が表示されます。
- 番組を光ディスクに保存するとき、自動的に録画モード変換された番組のデータは、録画番組一覧には表示されません(コピーまたはムーブが終了した後、自動的に削除されます)。

「録画モード変換」したコピーワンスの番組を光ディスクにムーブすると、元の番組も同時に削除されます。

チェック

- 録画モード変換しても元の番組は削除されません。
- ハードディスクの空き容量が不足していると録画モード変換ができません。

録画モード変換をする

■ 録画済み番組を録画モード変換する

録画した番組を、録画モード変換する手順を説明します。

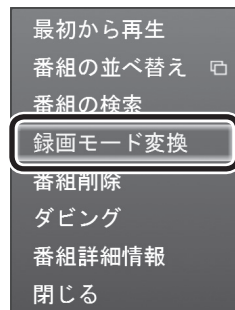
1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧 」をクリックし、「 録画フォルダー 1」をクリック

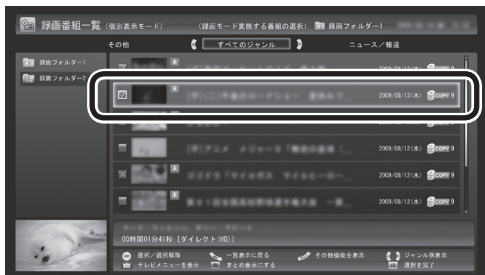
録画番組が表示されます。

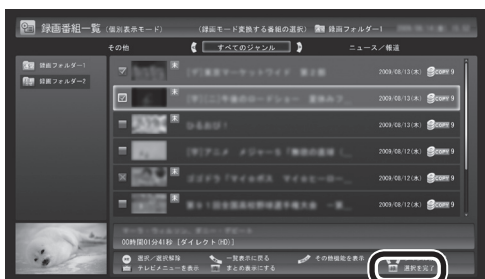
3 録画モード変換したい番組をクリックし、画面下の「その他機能を表示」をクリック

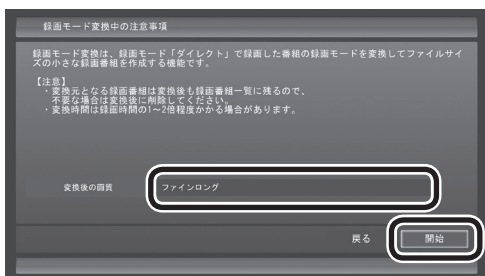
サブメニューが表示されます。

4 「録画モード変換」をクリック

録画モード変換を実行中は、録画ができません。

録画モード変換の予測時間の間に、予約がされている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。

5 ほかにも録画モード変換したい番組がある場合は、番組をクリック

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順5を繰り返して、録画モード変換したい番組にチェックマークをつけてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

6 画面下の「選択を完了」をクリック

「録画モード変換中の注意事項」画面が表示されます。

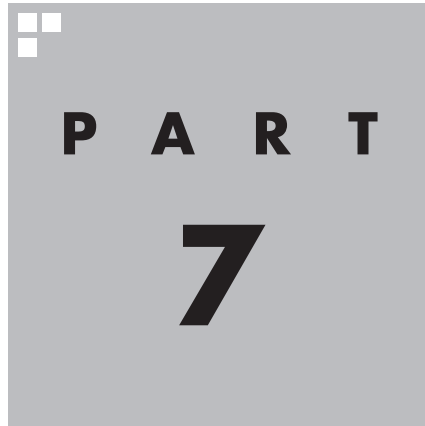
7 「録画モード変換中の注意事項」で変換後の画質を選び、「開始」をクリック

録画モード変換が始まります。
録画モード変換中は、映像を表示できません。

8 変換が完了すると「録画モード変換が完了しました。」と表示されるので、「OK」をクリック

これで、録画モード変換が完了しました。

変換中に「中止」をクリックすると、変換を途中で中止できます。

チェック

録画モード変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、録画モード変換は中断せず、動作を継続します。
SmartVision以外に動作中のソフトがなければ、録画モード変換が終了した後、パソコンはスリープ状態になります。

一歩すすんだテレビ操作

マウス専用画面に切り換えると、パソコンならではの機能を使ったり詳細な設定ができるようになります。一歩すすんだ使い方を紹介します。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

マウス専用画面

マウス専用画面(スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモード)では、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

フルスクリーンモードからマウス専用画面に切り換える

マウス専用画面に切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。
パソコンならではの使い方をしてみませんか？

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

フルスクリーンモードに戻す(切り換える)には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ(フルスクリーン)をクリックします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

「画面」をクリック

「フルスクリーン」タブをクリック

マウス専用画面で起動する

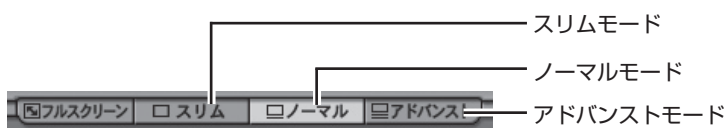
マウス専用画面を直接起動することができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision テレビを見る」をクリック

マウス専用画面が起動します。

フルスクリーンモードに切り換えるには、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

マウス専用画面のモードを切り換える

マウス専用画面には、スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

それぞれのモードの画面説明は、付録の「各モードの画面説明」(p.227)をご覧ください。

ポイント

●ノーマルモード、アドバンストモードのときに画面のサイズを小さくすると、スリムモードに切り換わります。

●画面右上の をクリックすると、マウス専用画面のまま最大化できます。

■ オンラインヘルプを表示する

マウス専用画面に切り換えたときの操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

2 （オンラインヘルプ）をクリック

オンラインヘルプが起動します。

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVisionに増設したハードディスクドライブを登録してください。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

外付けハードディスクをSmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。
また、Cドライブに録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブの空き容量を増やしたいときに便利です。

Cドライブを再セットアップすると、Cドライブに保存されたデータは録画番組も含めてすべて消去されます。再セットアップをおこなうときは、あらかじめCドライブの録画番組を外付けハードディスクに移動しておいてください。

登録できるハードディスクについて

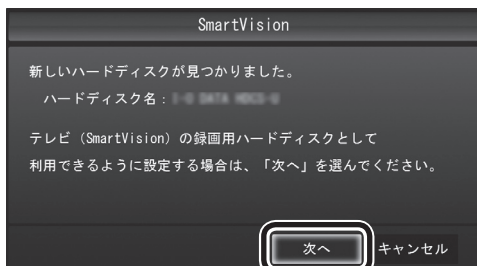
USB2.0接続の外付けハードディスクドライブ(NTFSフォーマット)が利用できます。サポート対象機種について詳しくは、「121ware.com」のホームページ(http://121ware.com/)をご覧ください。

パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

ハードディスクを登録する

1 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

2 「次へ」をクリック

録画フォルダー作成画面が表示されます。

3 録画フォルダーを作成する

① ハードディスクのドライブ名を確認する

② 録画番組を保存する録画フォルダーのフォルダー名を確認する

③ 「次へ」をクリック

登録完了画面が表示されます。

4 「閉じる」をクリック

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

参照

USB機器の接続について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「パソコンにつなげる」-「USBコネクタ」

ポイント

ここで「キャンセル」をクリックすると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。

この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダーを作成する画面で、増設したハードディスクを登録することができます。

参照

録画番組を保存する録画フォルダーを作成する→このPARTの「録画フォルダーを作成する」(p.155)

チェック

- ここで作成した録画フォルダーは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。
- フォルダー名は、キーボードで変更することができます。
- ここで作成したフォルダー名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要になります。フォルダー名を控えておいてください。

  フォルダー名：
- ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用に選択することができます。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスクに、番組を直接録画するよう設定します。なお、ここで説明している操作が完了すると、録画した番組は、Cドライブではなく登録したハードディスクに保存されるようになります。
必要な場合のみ、この操作をおこなってください。

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

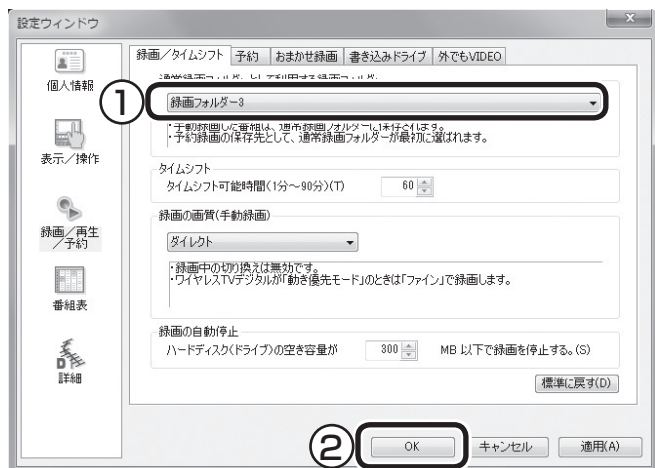
2 「ノーマル」タブをクリック

3 (設定)をクリック

設定ウインドウが表示されます。

4 録画番組の保存先を選ぶ

① 「録画番組保存先」の ▼ をクリックし、番組を保存する録画フォルダーをクリックする

② 「OK」をクリックする

これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。
「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

参照

ハードディスクの登録の方法について→このPARTの「ハードディスクを登録する」(p.152)

チェック

- 一度録画番組保存先に設定したハードディスクを取り外した場合、それ以降に予約録画された番組は、ご購入時に録画番組の保存先に設定されていたハードディスクに保存されます。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、操作パネルの ● をクリックして番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録の画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の１回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。

PART 7 一歩すすんだテレビ操作

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとに録画フォルダーを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

録画フォルダーを作成する

Cドライブや Dドライブ、登録済みのハードディスク内に、録画フォルダーを作成します。録画フォルダーは最大200個まで作成できます。

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

参照

マウス専用画面を表示する→このPARTの「マウス専用画面」(p.148)

2 「ノーマル」タブをクリック

3 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 追加(追加)をクリックして表示されるメニューから、「新規録画フォルダー作成」を選ぶ

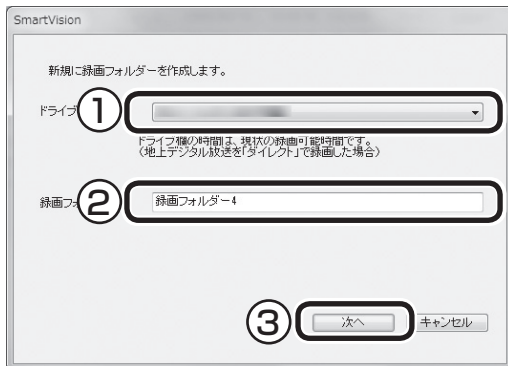
新規録画フォルダー作成画面が表示されます。

ポイント

エクスプローラで作成した既存のフォルダーを追加することもできます。

追加(追加)をクリックして「既存フォルダー参照」を選び、フォルダーを追加してください。

5 録画フォルダーを作成する

①録画フォルダーを作成したいハードディスクを選びます
外付けハードディスクを登録するときは、ここで登録したいハードディスクを選んでください。
②必要に応じて録画フォルダー名を変更します
変更するときは、ここをクリックして、フォルダー名を入力しなおしてください。
③「次へ」をクリックします

作成完了画面が表示されます。

6 「閉じる」をクリック

これで録画フォルダーが作成されました。作成した録画フォルダーは、予約するとき選択できるようになります。

録画した番組を移動する

録画した番組を別の録画フォルダーに移動します。
あらかじめ、移動先となる録画フォルダーを作っておいてください。

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

2 「ノーマル」タブをクリック

3 （録画番組一覧）をクリック

録画番組一覧が表示されます。

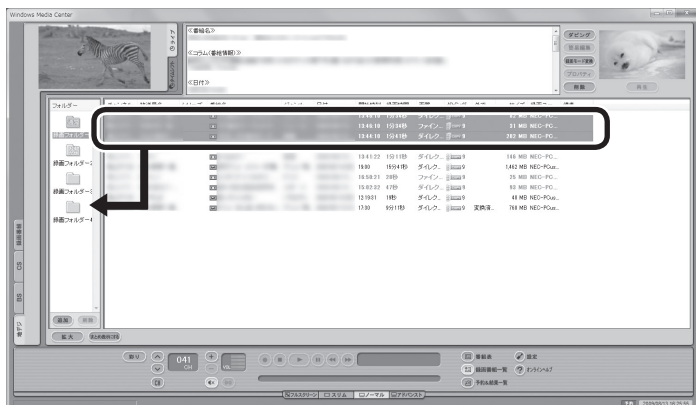
参照

録画フォルダーを作成する→このPARTの「録画フォルダーを作成する」（p.155）

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 移動したい番組をクリックし、移動先の録画フォルダーにドラッグ＆ドロップする

番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「ファイル出力」画面が表示されます。「ファイル出力が終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとの一覧から消えます。
これで、番組の移動ができました。

なお、移動先の録画フォルダーに外付けハードディスクの録画フォルダーを指定すると、外付けハードディスクへ番組を移動することができます。

チェック

複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどの録画フォルダーに移動されたのか、わからなくなります。

ポイント

- ご購入時の状態では録画した番組は、Cドライブに保存されます。
- この画面で、番組を選んで画面右上の 削除 （削除）をクリックすると番組を削除できます。

録画フォルダーを削除する

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

2 「ノーマル」タブをクリック

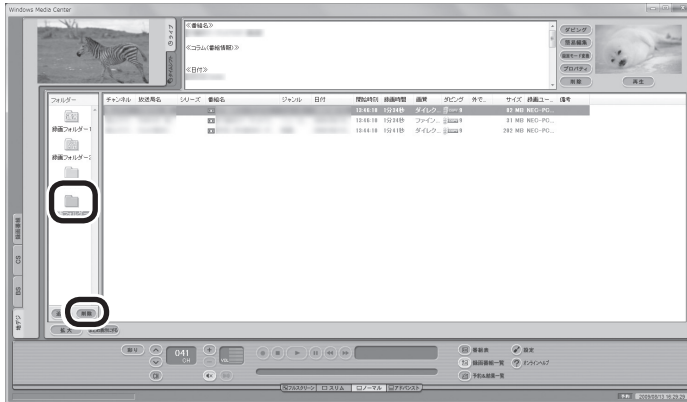
ポイント

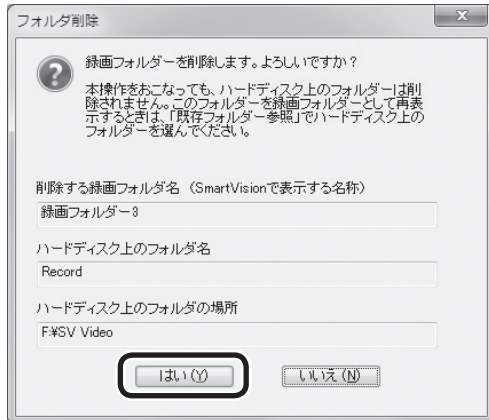
操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 （録画番組一覧）をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 左の「フォルダー」内で削除したい録画フォルダーを選んで、削除（削除）をクリック

削除画面が表示されます。

5 「はい」をクリック

これで、録画フォルダーが削除できました。

- 録画フォルダーを削除しても、データは残ります。
- SmartVision側から録画フォルダーが参照できなくなりますが、ハードディスク内のフォルダーは削除されません。
- ここで削除した録画フォルダーを再度SmartVisionで利用するには、マウス専用画面で「既存フォルダー参照」をクリックし、フォルダーを指定して追加する必要があります。この際、手順4の画面に表示される次の情報が必要になります。控えておいてください。
  - ・削除する録画フォルダー名
  - ・ハードディスク上のフォルダー名
  - ・ハードディスク上のフォルダーの場所

PART 7
一歩すすんだ
テレビ操作

簡易編集機能を使う

簡易編集機能を使って、録画した番組のお気に入りの場面を残し、いらない場面をカットすることができます。

簡易編集機能を使えば、元の番組のデータはそのままに、お気に入りのシーンだけを残した番組のデータを作ることができます。

録画番組を簡易編集する

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

2 「アドバンスト」タブをクリック

3 （録画番組一覧）をクリック

録画番組一覧が表示されます。

4 編集したい番組をクリックし、（簡易編集）をクリック

「簡易編集」タブが表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

ポイント

編集したい番組を再生して、「簡易編集」タブをクリックしても同様です。

ポイント

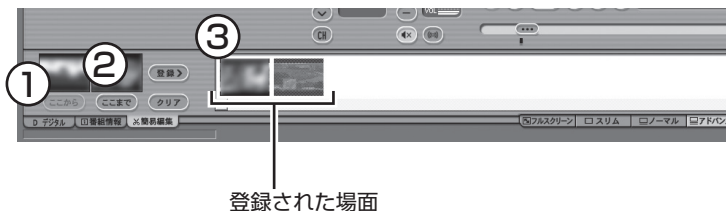
登録した場面を削除するときは、「削除」をクリックします。

チェック

- 録画した番組では、同じ場面を複数回登録することができません。すでに登録された場面と重なる場面を切り取っても、二重には登録されず、ひとつの場面としてまとめて登録されます。
- 録画した番組では、登録した場面の順番を変更することができません。
- 編集した番組が数秒間しかないとき、その番組は正しく再生できません。再生しても映像が表示されず、画面は黒いままとなります。
- 編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

5 必要な場面を切り取って登録する

コントロールパネルのボタンをクリックしたり、プログレスバーをドラッグして、必要な場面を表示させて範囲を指定します。

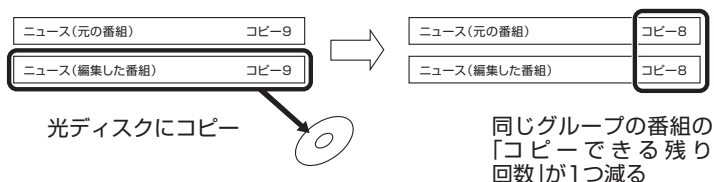
登録された場面

①必要な場面の先頭を表示させて「ここから」をクリック
②必要な場面の終わりを表示させて「ここまで」をクリック
③「ここから」と「ここまで」を指定したら「登録」をクリック

①〜③を繰り返して、必要な場面をすべて登録したら、手順6に進んでください。

6 「保存」をクリック

編集した番組が元の番組と同じ録画フォルダーに保存されます(元の番組は編集前の状態で残ります)。編集した状態で、光ディスクに保存することもできます。
なお、デジタル放送を編集した番組は、録画モード変換した番組と同様、元の番組と同じグループとして扱われており、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。詳しくは次の「光ディスクに保存するときのご注意」をご覧ください。

■ 光ディスクに保存するときのご注意

ダビング10やコピーワンスの番組を簡易編集した番組は、元の番組と1つのグループとして扱われ、光ディスクにコピーできる回数がまとめて制御されています。
このため、編集した番組を光ディスクにコピーすると、元の番組を含む同じグループの番組のコピーできる残り回数が同時に減ります(ムーブのときは同じグループの番組がパソコンから削除されます)。
たとえば、編集したダビング10の番組を光ディスクに1回コピーすると、その番組はもちろん、元の番組のコピーできる残り回数も1つ減ります。

参照

光ディスクへの保存について→
マウス専用画面:オンラインヘルプ(p.150)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「録画した番組でDVDを作成しよう」
リモコンでも使える画面:PART6の「番組を光ディスクに保存する」(p.132)

チェック

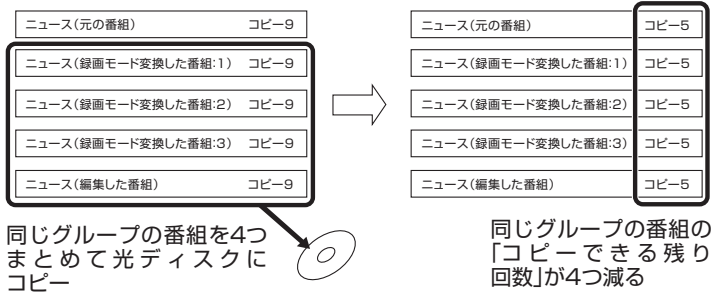
ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「ハードウェア・システム設定」をご覧ください。また、不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。

参照

録画した番組の削除について→PART5の「録画した番組を削除する」(p.106)

参照

簡易編集について→オンラインヘルプ(p.150)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

なお、同じ番組から録画モード変換したり、編集した複数の番組をまとめて光ディスクにコピーすると、番組の数だけコピーできる残り回数が減ります。

一歩すすんだテレビ操作

録画番組を携帯電話で楽しむ（外でもVIDEO）

パソコンで録画した番組を携帯電話のSDカードに保存（ダビング）して楽しむことができます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

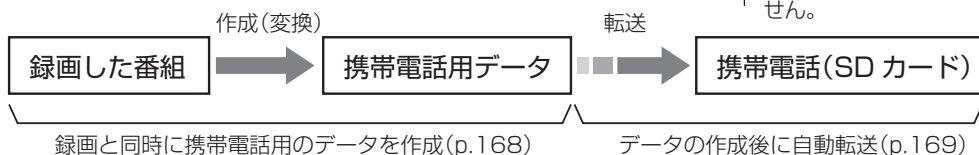
外でもVIDEO って何？

ワンセグ放送を携帯電話で見るように、録画番組を携帯電話で楽しむ機能、それが「外でもVIDEO」です。
パソコンで録画した番組を携帯電話に転送して視聴することができます。何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまう連続ドラマを、携帯電話に入れて持ち出しましょう。

■ 携帯電話に番組を転送する仕組み

次の流れで録画した番組を携帯電話（SDカード）に転送します。

録画した番組 →作成（変換）→ 携帯電話用データ →転送→ 携帯電話（SD カード）

録画と同時に携帯電話用のデータを作成（p.168）　データの作成後に自動転送（p.169）

チェック
ワイヤレスTVデジタルと通信できないときは転送することができません。

転送する前に、携帯電話用のデータが作成されます。
- 携帯電話用のデータを作成済みの番組は、転送完了までにかかる時間が短くなります。
- 番組の録画と同時に携帯電話用のデータを作ることができます（p.168）。また、携帯電話用のデータが作られたとき、自動的に携帯電話に転送するよう設定できます（p.169）。
  コピーワンスで放送された番組は自動転送されませんので、手動で転送をおこなってください（p.163）。

■ 録画番組が転送できる携帯電話について

ワンセグ放送を録画できる携帯電話に転送できます。番組のデータは、携帯電話にセットされたSDカードに保存されます。
携帯電話をパソコンに直接接続するときは、対応するUSBケーブルを使用してください。
携帯電話のSDカードを取り出してパソコンにセットし、番組を転送することもできます。
対応しているSDカードは次のとおりです。
- microSDカード
- microSDHDカード

対応している携帯電話について詳しくは、「121ware.com」のホームページ（http://121ware.com/）をご覧ください。

また、携帯電話とパソコンを接続するケーブルや、携帯電話からのSDカードを取り出す方法などについては、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

■ CPRMアップデートについて

録画した番組を携帯電話(SDカード)に転送する前に、CPRMのアップデートが必要です。アップデートの画面が表示されたときは「はい」をクリックし、画面の説明にしたがってアップデートをおこなってください。
CPRMとは、携帯電話(SDカード)やDVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。携帯電話(SDカード)への転送のほか、録画番組を光ディスクに保存する際にも、この技術が使われます。

参照

パソコンにSDカードをセットする方法について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

参照

CPRMについて→PART6の「CPRMのアップデートをする」(p.128)

録画した番組を携帯電話に転送する

ここでは、録画済みの番組を携帯電話(SDカード)に転送する手順について説明します。

1 携帯電話をパソコンにUSBケーブルで接続する(またはSDカードをパソコンにセットする)

2 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」をクリックしてください。

携帯電話とパソコンを接続するときは、携帯電話の設定の変更(MicroSDモードやカードリーダモードなど)をおこなう必要があります。詳しくは、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

参照

パソコンにSDカードをセットする方法について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

3 「録画番組一覧」をクリックし、「通常 録画フォルダー 1」をクリック

録画番組が表示されます。番組のコピー制御方式を確認してください。

日付の右側に表示されたアイコンで、番組のコピー制御方式が確認できます。

〜

：ダビング10の番組に表示されます。
数字は、携帯電話(SDカード)にコピーできる残り回数を表します。

：コピーワンスの番組、またはすでに携帯電話(SDカード)に9回コピーしたダビング10の番組に表示されます。
このアイコンが表示された番組は携帯電話(SDカード)にムーブ(移動)することができます。

：コピーフリーの番組に表示されます。
このパソコンで録画した番組を、何度でも携帯電話(SDカード)にコピーできます。

ポイント

MOVEが表示された番組を携帯電話(SDカード)に転送すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。

チェック

- ムーブ(移動)すると、もとの番組は削除されます。
- 番組を光ディスクに保存したときも、コピーできる残り回数が減ります。
- すでに携帯電話用のデータが作成されているときは、番組のコピー制御方式を示すアイコンの下に、外でもVIDEOが表示されます。

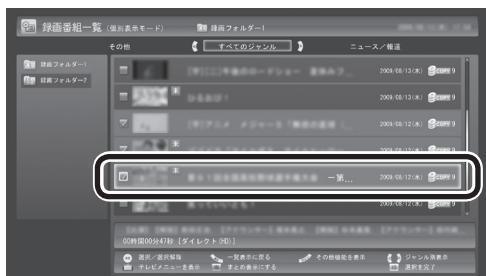
参照

番組を光ディスクに保存する→PART6の「番組を光ディスクに保存する」(p.132)

4 **転送する番組をクリックして画面下の「ダビング(光ディスク/携帯)」をクリック**

転送する番組の一覧が表示されます。

5 **表示されたメニューから、「携帯(SDカード)保存」-「番組選択」をクリック**

6 **SDカードに保存したい番組を選んでクリック**

選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順6を繰り返して、SDカードに保存したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組をクリックしてください。

7 **画面下の「選択を完了」をクリック**

8 転送する順序を指定する

一覧の上から順に転送されます。必要に応じて転送する順序を指定してください。

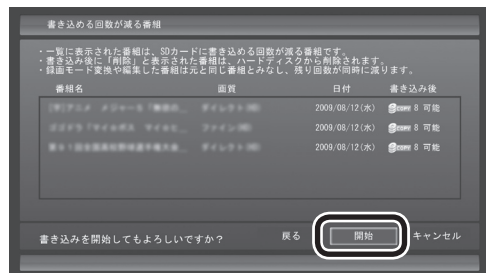
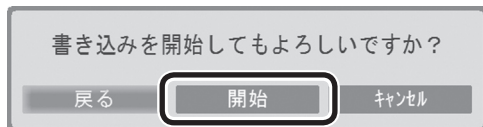
①順序を変更したい番組をクリック

②画面下の「上へ移動」または「下へ移動」をクリック

9 「書き込み」をクリック

確認画面が表示されます。

10 「開始」をクリック

ダビング10やコピーワンスの番組を選んだとき

コピーフリーの番組を選んだとき

携帯電話（SDカード）への転送を示すアイコンが表示されます。

ポイント

特に指定しない場合は、手順6の画面でチェックマークを付けた順番に転送されます。

チェック

●転送を取り消すときは、番組をクリックして画面下の「取消」をクリックしてください。

●転送する番組を追加するときは、画面下の「番組追加」をクリックして、手順6の画面に戻ってください。

チェック

SDカードを挿入していても、「SDカードに転送できません。パソコンのメモリースロットに挿入して転送してください。」と表示されたときは、PART8の「SDカードをセットしているのに、メモリーカードスロットに挿入するようメッセージが表示された」（p.209）をご覧になり、対処してください。

11 「転送が完了しました」と表示されたら、ほかの転送が始まっていないことを確認し、「OK」をクリック

12 携帯電話(またはSDカード)をパソコンから取り外す

SDカードなどの正しい取り外し方法については、『パソコンの準備と基本』をご覧ください。

なお、取り外すときは、マウスを使って、デスクトップ画面右下にある通知領域を操作する必要があります。必要に応じてテレビ画面右上のをクリックし、SmartVisionをウィンドウ表示に切り換えてください。

録画と同時に携帯電話用のデータを作成し、自動的に転送する設定にしているときは、ここでの操作の直後に自動的にほかの番組データの転送が始まることがあります。

携帯電話(SDカード)を取り外す前に、ほかの転送が始まっていないかどうか、必ずご確認ください。

ほかの転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

・テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「SDカード転送中」と表示されます。

・テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、デスクトップ画面右下の通知領域に「SD」と表示されます。

参 照

●録画しながら携帯電話用の番組データを作る→このPARTの「録画と同時に携帯電話用のデータを作成する」(p.168)

●携帯電話用のデータを自動的に転送する→このPARTの「携帯電話用のデータを自動で転送する」(p.169)

録画と同時に携帯電話用のデータを作成する

おてがる予約で録画するときや視聴中の番組を手動で録画をするとき、録画と同時に携帯電話用のデータを作ることができます。

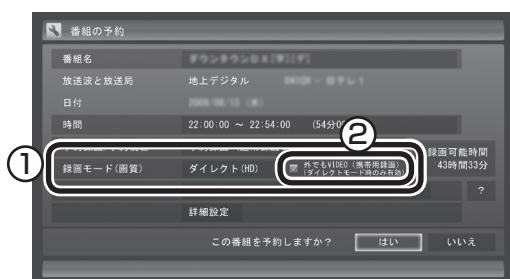
■ おてがる予約で録画するとき

1 「おてがる予約をする」(p.87)の手順1 ～手順3をおこなう

番組を予約する画面が表示されます。

2 予約内容を設定する

①「録画モード」をクリックして「ダイレクト」をクリック

②「外でもVIDEO(携帯用録画)」をクリックしチェックマークを付ける

番組の情報の確認や「繰り返し予約」の設定などについては、「おてがる予約をする」(p.88)の手順4をご覧ください。

3 「はい」をクリック

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

■ 視聴中の番組を手動で録画するとき

テレビを見ている状態で操作してください。

1 操作パネルの「●REC MODE」を何回かクリックし、「ダイレクト+携帯」を選ぶ

チェック

- データ量制限モードのときは、携帯電話用のデータを録画と同時に作成することができません。
- 携帯電話用のデータを録画と同時に作成できるのは、録画モード(画質)が「ダイレクト」のときに限られます。
- おまかせ録画や新番組おまかせ録画では、携帯電話用のデータを録画と同時に作成することができません。
- さかのぼり録画では、携帯電話用のデータを録画と同時に作成することができません。

ポイント

録画と同時に携帯電話用のデータを作成するときは、録画する対象が複数音声の番組であっても、記録できる音声は1つだけになります。必要に応じて「詳細設定」をクリックし、記録する音声を指定してください。

チェック

携帯電話用のデータを自動転送する設定にしているときは、録画が終了すると自動的に携帯電話(SDカード)への転送が始まります。

なお、録画が終了したとき、パソコンに携帯電話(SDカード)が接続されていないと自動転送されません。手動で転送してください。

参 照

携帯電話用のデータを自動的に転送する→このPARTの「携帯電話用のデータを自動で転送する」(p.169)

ポイント

「●REC MODE」を連続してクリックすると、録画モードを次のように設定できます。

ダイレクト→ファイン→ファインロング→ロング→ダイレクト+携帯→ダイレクト・・・(以降繰り返し)

2 操作パネルの●をクリック

録画が始まります

3 録画をやめたいところで■をクリック

これで録画ができました。

チェック

携帯電話用のデータを自動転送する設定にしているときは、録画が終了すると自動的に携帯電話(SDカード)への転送が始まります。

なお、録画が終了したとき、パソコンに携帯電話(SDカード)が接続されていないと自動転送されません。手動で転送してください。

参照

携帯電話用のデータを自動的に転送する→このPARTの「携帯電話用のデータを自動で転送する」(p.169)

携帯電話用のデータを自動で転送する

録画と同時に携帯電話用のデータを作成したとき、そのデータを自動的に携帯電話(SDカード)に転送するよう設定できます。
設定するときは、データの転送先となる携帯電話を接続(またはSDカードをセット)しておく必要があります。
コピーワンスで放送された番組は自動転送されませんので、手動で転送をおこなってください(p.163)。

1 携帯電話をパソコンにUSBケーブルで接続する(またはSDカードをパソコンにセットする)

2 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

3 「設定」をクリックし、「外でもVIDEOの設定」をクリック

「外でもVIDEOの設定」画面が表示されます。

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」をクリックしてください。

参照

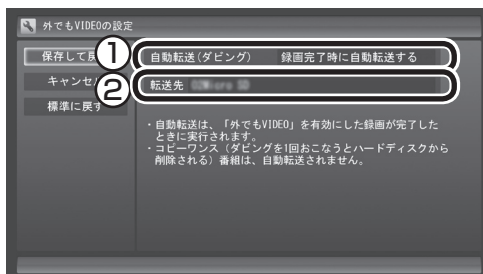
●録画しながら携帯電話用の番組データを作る→このPARTの「録画と同時に携帯電話用のデータを作成する」(p.168)

参照

●携帯電話とパソコンの接続について→携帯電話に添付されたマニュアル
●パソコンにSDカードをセットする方法について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

4 自動転送の設定をする

①「自動転送(ダビング)」をクリックして、「録画完了時に自動転送する」をクリック

②「転送先」をクリックして、接続した携帯電話またはセットしたSDカードをクリック

5 「保存して戻る」をクリック

これで設定が完了しました。必要に応じて、携帯電話(SDカード)を取り外してください。

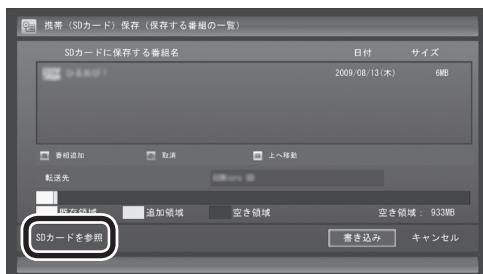
●録画しながら携帯電話用の番組データを作る→このPARTの「録画と同時に携帯電話用のデータを作成する」(p.168)

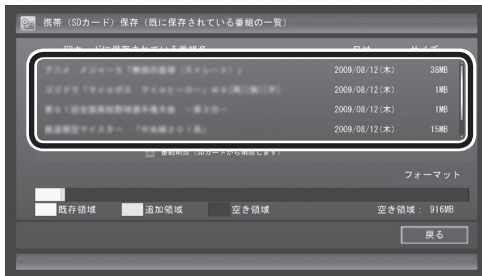
録画が完了すると、自動的に設定された「転送先」へデータの転送が始まります。録画が完了する時刻には、転送先として設定した携帯電話(SDカード)をパソコンに接続しておいてください。

携帯電話に転送したデータを確認・削除する

携帯電話(SDカード)に番組を追加するときに、転送済みの番組のデータを確認したり、削除することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.163)の手順1～手順7をおこなう

2 「SDカードを参照」をクリック

転送されている番組の一覧が表示されます。

3 携帯電話(SDカード)に転送されている番組を確認する

ここで番組をクリックして「番組削除」をクリックし、不要な番組を削除することができます。

「フォーマット」をクリックして、携帯電話またはこのパソコンにセットされたSDカードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、SDカードに保存されているすべてのデータが消去されます。なお、この画面にはSmartVisionから転送された番組の情報のみが表示されます。ほかのデータがSDカードに保存されていても確認することはできません。必要なデータを誤って消去しないようご注意ください。

PART 7 一歩すすんだテレビ操作

G-GUIDE for Windowsで予約する

SmartVisionの番組表のほかに、「G-GUIDE for Windows」というソフトを使って録画予約をすることもできます。

もうひとつの番組表「Gガイド」

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。
また、G-GUIDE for Windowsの番組表からSmartVisionの録画予約ができます。

■ G-GUIDE for Windowsでできること

G-GUIDE for Windowsでは、次の操作ができます。
- 番組表を、好きなときにインターネットからダウンロードできる
- SmartVisionの録画予約ができる
- パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約ができる

チェック

- ●G-GUIDE for Windowsでは、次の録画予約ができます。
  - ・SmartVisionの地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の録画予約
  - ・ディーガの地上デジタル放送、地上アナログ放送、BS·CS·110度CSデジタル放送の録画予約
- ●SmartVisionの初期設定が完了していない場合は、G-GUIDE for Windowsで番組表を見ることはできますが、SmartVisionの録画予約をすることはできません。

ポイント

連携できる「ディーガ」については、次のホームページで確認できます。
http://panasonic.jp/support/software/

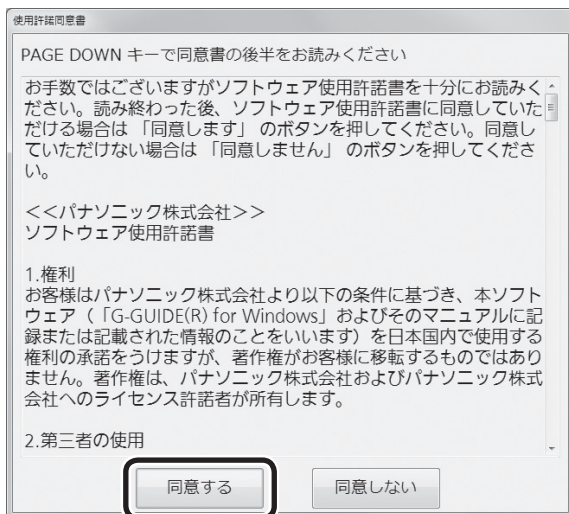
参照

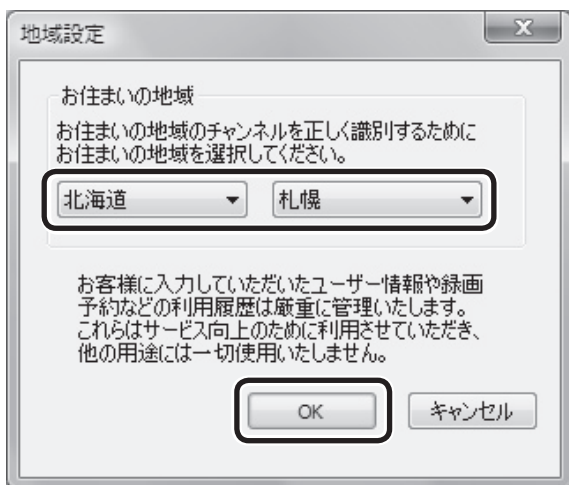
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方→「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「取扱説明書」

G-GUIDE for Windowsの初期設定をする

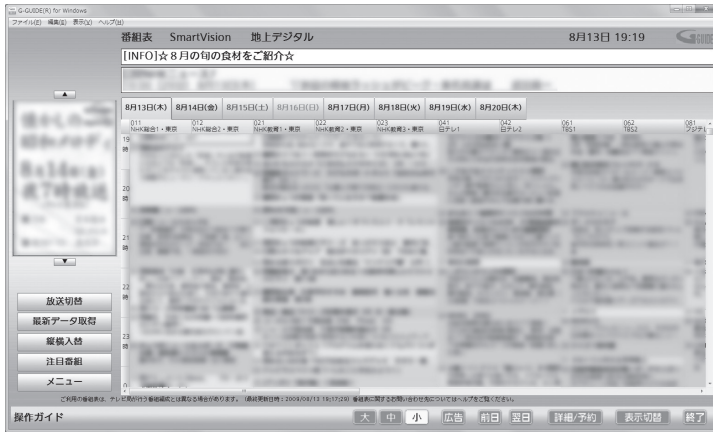
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、「使用許諾同意書」画面が表示されます。

2 「使用許諾同意書」の内容を読み、「同意する」をクリック

「地域設定」画面が表示されます。

3 お住まいの地域を選んで、「OK」をクリック

番組表データのダウンロード画面が表示されます。

4 「はい」をクリック

番組表データがダウンロードされます。ダウンロードが終わると、番組表が表示されます。

これで初期設定は完了です。G-GUIDE for Windowsを終了するときは、画面右下の「終了」をクリックしてください。

G-GUIDE for Windowsで予約する

G-GUIDE for Windowsで録画予約をする場合、SmartVisionを起動する必要はありません。

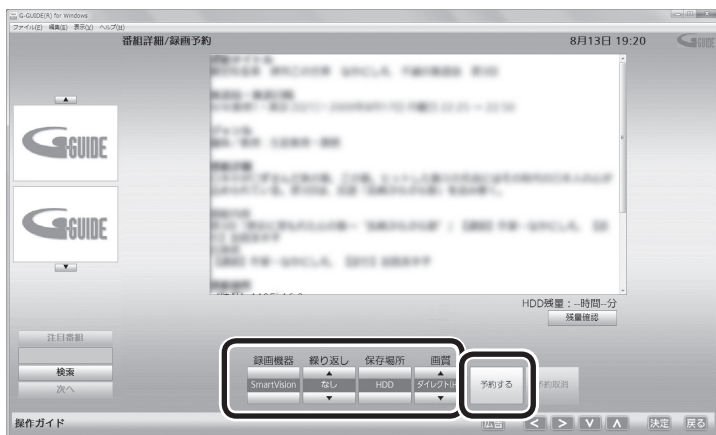
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、番組表が表示されます。

2 録画予約をする番組を選ぶ

① クリックして予約する日付を選ぶ
② 予約する番組をクリック
③「詳細/予約」をクリック

「番組詳細/録画予約」画面が表示されます。

3 録画する内容を確認し、「予約する」をクリック

ポイント

G-GUIDE for Windowsを起動したときに現在のものよりも新しい番組表がある場合は、自動的に最新の番組表がダウンロードされます。また、G-GUIDE for Windowsの画面左側にある「最新データ取得」をクリックしても、番組表をダウンロードすることができます。

ポイント

予約したい番組をダブルクリックしても「番組詳細/録画予約」画面を表示できます。

チェック

G-GUIDE for Windowsでは、視聴予約をすることはできません。

チェック

- 「繰り返し」の設定内容はG-GUIDE for WindowsとSmartVisionで異なります。
- 予約の時刻が重複していた場合は、予約を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の説明を読んで操作してください。
- 「画質」で「ダイレクト+携帯」を選ぶと、録画と同時に携帯電話用のデータを作成することができます。

参照

携帯電話用のデータについて→このPARTの「録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)」(p.162)

4 「戻る」をクリック

番組表に戻ります。

これで、録画予約は完了です。

ポイント

録画予約がされている番組は、番組名の前に予が表示されます。

その他の機能について

G-GUIDE for Windowsでは、このほかにも番組を検索したり、外部機器(ディーガ)へ録画予約をするなどの機能があります。
G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方については、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「G-GUIDE(R) for Windows」-「取扱説明書」をご覧ください。

ポイント

予約の取り消しはSmartVisionでおこなってください。

予約の取り消しについて→
PART5の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)

その他の機能

その他の一歩すすんだ機能について紹介します。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
操作パネルの「字幕」をクリックして字幕表示のオン/オフを切り換えます。

通知領域のアイコンについて

デスクトップ画面右下の通知領域に、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンを表示させることができます。
通常時のアイコン:

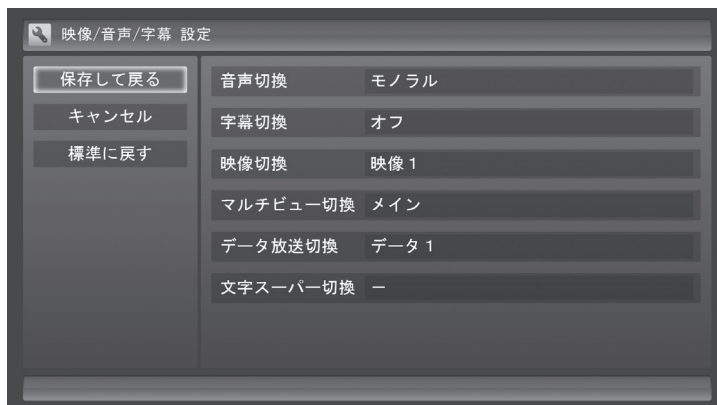
予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中などもアイコンが変化します。

予約開始5分前　：←→(交互に表示)
予約開始1分前　：←→(交互に表示)
録画中　：←→(交互に表示)
録画モード変換中：←→
光ディスクへの書き込み中　：←→
SDカードへの転送中　：←→

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.150)の「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

参照
テレビ機能のアイコンを表示させる操作について→PART2の「テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる」(p.35)

デジタル放送の番組サービスについて

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。
テレビを見ているときに右クリックしてサブメニューを表示させ、「映像／音声／字幕設定」をクリックして表示される画面で設定できます。

録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

2 「ノーマル」タブをクリック

3 （録画番組一覧）をクリック

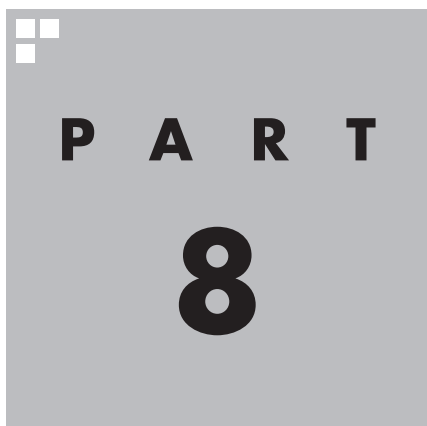
4 変更したい番組を選んで プロパティ （プロパティ）をクリック

「プロパティ」が表示されます。

5 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。
「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

Q&A

ワイヤレスTVデジタルやSmartVisionを使っていて、困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 8
Q&A

テレビに関して何か問題があるときは

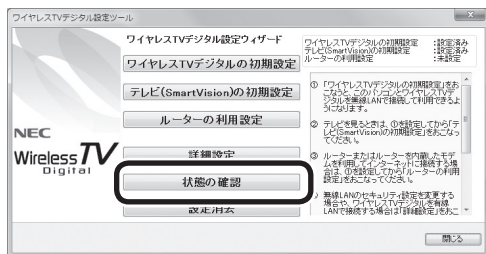
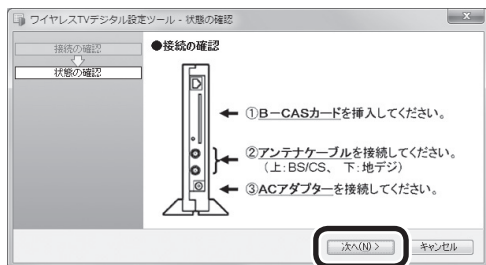
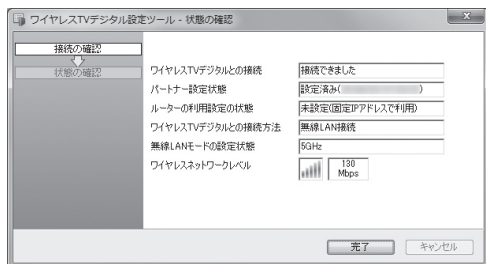
何か問題があるときには、まずワイヤレスTVデジタルの「状態の確認」と、SmartVisionの「まとめて確認」の画面で確認してみてください。どの設定に問題があるかを確認することができます。

初期設定を確認する

■ ワイヤレスTVデジタルの問題点を確認する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

2 「状態の確認」をクリック

3 「次へ」をクリック

次の画面が表示されるまで、何も操作せずに待ってください。

この画面で、問題点を確認します。

チェック

- ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。
- 起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

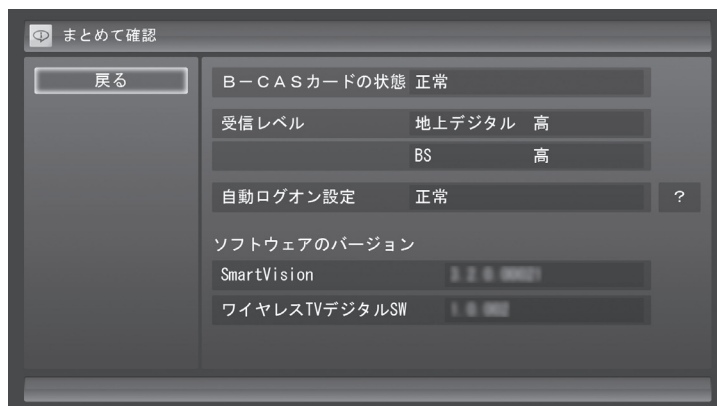
確認できる内容については、PART2の「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)をご覧ください。

■ SmartVisionの問題点を確認する

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」をクリックし、「まとめて確認」をクリック

設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。

この画面で初期設定の状態が表示されます。
それぞれの項目を選ぶと、設定画面が表示されます。問題のある設定を確認してください。
確認できる内容については、PART2の「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)をご覧ください。

SmartVisionの動作がおかしい

SmartVisionが想定どおりに動かないときは、次のことを確認してください。

■ クリックする画面でダブルクリックをしていませんか？

マニュアルで「クリック」と書かれている画面でダブルクリックをおこなうと、マニュアルの記載と異なった動きをすることがあります。クリックとダブルクリックに注意して操作をしてください。

PART 8 Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

アンテナケーブルの接続を確認してください。

■「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART2の「テレビ初期設定をする」(p.29)をご覧ください。

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「WinDVD for NEC」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。
また、テレビを快適に視聴するために、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ ほかのユーザーでSmartVisionなどを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

テレビ視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能で別のユーザーに切り換えると、そのユーザーではテレビを視聴することはできません。

■ 画面左側のソースタブが「録画番組」になっていませんか？（マウス専用画面の場合）

「録画番組」になっているときは、左側のタブから、見たい放送波のタブを選んでください。

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご確認ください。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。

参照

アンテナの接続について→PART1の「アンテナ線を接続する」(p.15)

参照

初期設定の後にテレビが映らないとき→PART2の「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ UHFアンテナの向きを確認してください

デジタル放送の送信塔の方向が、現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

■ B-CASカードは正しくセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
PART1の「B-CASカードをセットする」(p.17)をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度、色の設定は次のようになっています。変更している場合は、もとに戻してください。

モデル	解像度	色
Full HD解像度のディスプレイが搭載されたモデル	1,920×1,080	Ture Color(32ビット)
WXGA解像度のディスプレイが搭載されたモデル	1,366×768	Ture Color(32ビット)

チェック

グラフィックドライバの設定を変更してテレビの画面が見えにくくなったときは、それらの設定を初期状態(デフォルト値)に戻してください。

■ 画質は適切に調整されていますか？

画質の調整では、設定値によって、テレビ画面が真っ白や真っ黒になったり、表示される色が不自然になる場合があります。画質調整をするときは、映像を確認しながらおこなってください。

■ デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「情報」-「受信レベルの確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが0でなくてもテレビが見られないときは、次の点についてご確認ください。

- ●受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合

お近くの電器店などに、次の点を確認してください。

- ・デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
- ・受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- ・衛星アンテナの電源供給が必要かどうか(衛星アンテナの電源供給は、「受信レベルの確認」の画面で設定できます)

参照

受信レベルチェックについて→PART2の「テレビ初期設定で困ったら」(p.36)

■ ワイヤレスTVデジタルと接続していますか

ワイヤレスTVデジタルと接続(通信)していないとテレビを見ることができません。また、次のような機能を使うことができません。

- ・録画済み番組の録画モード変換
- ・B-CASカードのテスト
- ・有料放送の録画予約
- ・受信レベルの確認

テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルにBS/CS放送の電波が混合されていませんか？

地上アナログ放送／地上デジタル放送の電波にBS/CS放送の電波が混合されたアンテナケーブルを本機に接続していると、BS/CS放送の電波の影響で上記の現象が発生することがあります。分波器を使って分波してから本機に接続してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎる可能性があります

操作パネルのをクリックし、「設定」-「チャンネル設定」で設定したい放送波をクリックしてください。表示された画面の「アッテネータ設定」で「有効」をクリックしてください。

■ ブースターの利得(ゲイン)を調節してください

アンテナと本機の接続にブースターを使用している場合、その利得の調整が適切でないと電波が強すぎたり弱すぎたりすることがあります。ブースターから出力する各電波のレベルが適切になるように、ブースターへの入力レベルや利得などを調整してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

チェック

アンテナケーブルの接続経路を変更したりアッテネータの設定を変更したとき、また、ブースターの利得(ゲイン)を調整したときは、操作パネルのをクリックし、「設定」-「初期設定のやりなおし」をクリックして、テレビ初期設定をやりなおしてください。

参照

テレビ初期設定について→PART2の「テレビ初期設定をする」(p.29)

テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう

■ 番組表を受信中ではありませんか？

番組表を受信中はテレビのチャンネルが自動的に切り換わります。番組表の受信は、チャンネルを切り換えるなどの操作で中止されます。

チェック

番組表の受信中にSmartVisionを起動すると、データの受信を中断します。

テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態に)なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押して、表示された画面で「タスク マネージャーの起動」をクリックし、「Windows タスク マネージャー」でWindows Media Centerを終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

操作パネルの で音量を調節してください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

参照

- ●音量の調節について→PART4の「音量を調節する」(p.50)
- ●音量を調節する→『パソコンの準備と基本』第5章の「音量の調節」

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか?

パソコンのCPU使用率が高くなると映像がコマ落ちします。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャー」をクリック

「Windows タスク マネージャー」が起動します。

2 「パフォーマンス」タブをクリック

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

チェック

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか?

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をクリック

2 をクリックし、「メイン画面を起動」をクリック

3 「契約更新/その他」をクリック

4 「アップデート」欄の「有効」をクリックして「無効」にする

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。SmartVisionを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

参照

ウイルスバスターについて→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」

チェック

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

■ データ放送を無効にしてください

データ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 右クリックして、表示されたサブメニューで「データ放送(有効)」をクリック

2 「無効」をクリック

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか？

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

■ タイムシフトモードで見ていますか？

タイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、操作パネルの⏸をクリックして、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ テレビ映像の上にほかのウィンドウなどを表示していませんか？

全画面でテレビを視聴しているときに、テレビメニューやWindowsのスタートメニュー、メッセージなどのウィンドウがテレビ映像と重なると、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。この場合、一度SmartVisionをウィンドウ表示にするか、最小化することで改善されます。

■ 他のワイヤレスLANアクセスポイントや他のワイヤレス機器、他のワイヤレスTVデジタルが近くにありませんか？

他のワイヤレスLANアクセスポイントや他のワイヤレスTVデジタルとは1m以上離してお使いください

■ インターネットに接続していませんか？

インターネットに接続したりデータをダウンロードしたりすると、テレビの映像が途切れたり一時的に停止することがあります。

■ ワイヤレスTVデジタルに対して他のパソコンがアクセスしていませんか？

ワイヤレスTVデジタルに対して他のパソコンがアクセスすると、テレビの映像が途切れたり、一時的に停止したり、録画失敗の原因となることがあります。

■ ワイヤレスTVデジタルの電波が届く範囲内にパソコンを設置していますか？また、ワイヤレスTVデジタルとパソコンの間に電波の障害物がありませんか？

ワイヤレスTVデジタルの電波が届かないところにパソコンを設置したり、ワイヤレスTVデジタルとパソコンとの間に電波を遮るものがあると、テレビの映像が途切れたり、一時的に停止することがあります。

参照

ワイヤレスTVデジタルの設置場所について→PART1の「設置場所についての注意」(p.7)

■ ファイアウォールの設定は間違っていませんか?

ファイアウォールは正しく設定してください。

参照

ファイアウォールの設定について→付録の「ファイアウォールの設定」(p.242)

■ ワイヤレスTVデジタルの使用しているワイヤレスLANのチャネルが、他のワイヤレスLANアクセスポイントと重なっていませんか？

使用するワイヤレスLANのチャネルが重なっている場合、ワイヤレスTVデジタルのACアダプタを外してください。約10秒待ってから、再び接続すると、ワイヤレスTVデジタルが使用するワイヤレスLANチャネルが自動的に変更され、改善する場合があります。

■ ワイヤレスTVデジタルとパソコンの距離が近すぎませんか？

ワイヤレスTVデジタルとパソコンの距離が近すぎると、通信速度が低下して、テレビの映像が乱れることがあります。
ワイヤレスTVデジタルとパソコンは1.5m程度、離してください。

放送中のデジタル放送の映像が遅れている

デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。

ポイント

画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り換わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

デジタルデータ放送が表示できない

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

マウス専用画面にすると、デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい

■ このパソコンのデジタル放送は、CATVパススルー方式（同一周波数および周波数変換）に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
次の手順でチャンネルの再スキャンをおこなってください。

1 **操作パネルの をクリック**

2 **「設定 」をクリックし、「チャンネル設定」をクリック**

3 **「地上デジタル放送のチャンネル確認」をクリック**

4 **「チャンネルスキャン」をクリック**

5 **「スキャン方法」で「再スキャン」を選び、「次へ」をクリック**
チャンネルの再スキャンが始まります。

6 **「チャンネルスキャン」が終了したら、「次へ」をクリック**
これで再スキャンは完了です。

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い

■ ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

アンテナケーブルの接続方法について→PART1の「アンテナ線を接続する」(p.15)

今まで視聴できていたのに、突然、BS・110度CSデジタル放送の映像が悪化した。あるいは映像が表示されなくなった

BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などによって電波の受信状態が悪化することがあります。受信状態が悪化すると、映像や音声が止まったり、映像が表示されなくなることがあります。
また、このようなとき、画質や音質を犠牲にして受信を優先させる「降雨放送(降雨対応放送)」に切り換わることもあります。いずれの場合も、天候の回復によって改善されます。

引っ越しをしたらテレビが映らなくなった

まずアンテナを接続してください。次に、操作パネルのをクリックし、「設定」-「初期設定のやりなおし」をクリックして、テレビの初期設定をやりなおしてください。
テレビ初期設定の流れについては、PART2の「テレビ初期設定をする」(p.29)をご覧ください。

PART 8
Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。
視聴予約について詳しくは、PART3の「視聴予約について」(p.90)をご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのログオンパスワードを設定・変更していませんか？

Windowsのログオンパスワードを新たに設定または変更したときは、「自動ログオン」の設定を変更する必要があります。
「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

参照

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.221)

■ 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください

「結果一覧」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックし、画面下の「予約結果確認」をクリックすると、結果の詳細が表示されます。

参照

予約実行結果を確認する→PART5の「予約の結果を確認する」(p.92)

■ 「自動ログオンの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、自動ログオンの設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。「テレビメニュー」の「設定」-「予約録画の設定」-「自動ログオンの設定」で設定を確認してください。

参照

自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.221)

■ 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか？

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。
「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで変更できる詳細設定で、「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ バックアップユーティリティで自動バックアップを設定していませんか？

バックアップユーティリティで自動バックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

- ●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みのほかの番組と予約時間が重なった。
- ●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。
  「番組の予約」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

■ パスワードが設定された外付けハードディスクを録画用として登録していませんか？

セキュリティを強化した外付けハードディスクにはパスワード機能を搭載しているものがあります。パスワードを設定した外付けハードディスクを録画用として登録している場合、番組が録画できないことがあります。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンやWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

■ 携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)の録画容量が2GBを超えていませんか?

携帯電話用のデータの最大容量は2GB(約8時間)です。これを超えると、携帯電話用のデータの録画が停止します。なお、同時に録画されているダイレクトモードでの録画は継続されます。

■ ワイヤレスTVデジタルとの通信ができるか確認してください

ワイヤレスTVデジタルとの通信ができない状態では、録画をすることができません。

参照

●ウイルスバスターについて→「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「ウイルスバスター」
●Windows Updateについて→「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「Windowsの更新」

録画フォルダーに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます。

■ 保存先の録画フォルダーを変更していませんか？

予約時に保存先として指定した録画フォルダーを確認してください。複数の録画フォルダーを使い分けているときは特にご注意ください。
また、予約したユーザーの保存先の録画フォルダーがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先の録画フォルダーが変更されている場合、録画した番組が表示されません。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは異なる録画フォルダーに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組一覧」から「おまかせ録画フォルダー 2」を選んでおまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルをクリックし、画面下の「機能表示」をクリックして、表示されたサブメニューで「おまかせ属性の解除」-「この番組」をクリックしてください。
おの表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組一覧」の「録画フォルダー」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別の録画フォルダーに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

■ 番組を保存した外付けハードディスクを取り外していませんか？

外付けハードディスクに番組を保存している場合は、その外付けハードディスクを接続しなおしてください。

参 照

予約実行結果を確認する→PART5の「予約の結果を確認する」(p.92)

ポイント

おまかせ録画の最大容量は、マウス専用画面で変更できます。詳しくはオンラインヘルプ(p.150)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外番組一覧に登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参照

予約を変更する→
PART5の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)

■ 番組を「除外番組一覧」に登録していませんか？

除外番組一覧に登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組一覧」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約一覧から番組を取り消していませんか？

予約一覧から取り消した番組（取り消した放送回のみ）は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

参照

予約を変更する→
PART5の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約一覧に登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

おまかせ録画の条件登録について→
PART5の「おまかせ録画を登録する」(p.113)

シリーズものの番組を繰り返し予約したにもかかわらず、録画されていない番組がある

■「繰り返し予約(時間指定で予約)」で予約していませんか？

「繰り返し予約」の「する(時間指定で予約)」を設定して予約をすると、スポーツ中継の延長などで、放送時間が変更された場合でも、あらかじめ設定している同じ曜日、同じ時間で録画します。シリーズものの番組を予約する場合には、「繰り返し予約」の「する(シリーズ録画)」を設定して予約することをおすすめします。

■ 番組表に表示される放送時の番組名が、最初に予約したときの番組名と異なっていませんか？

「繰り返し予約」の「する(シリーズ録画)」を設定すると、番組表の番組名によって同じシリーズの番組を検出して予約します。ただし、同じシリーズの番組であっても、最初に予約したときの番組名と、放送されたときの番組名が、番組表上で異なる場合には、同一シリーズの番組として検出できず、録画されないことがあります。

新番組おまかせ録画を有効にしたにもかかわらず、録画されない新番組がある

■ 複数の新番組が同じ時刻に放送されていませんか？

同じ時刻に複数の新番組が放送される場合、新番組おまかせ録画で録画予約する番組が無作為に選ばれます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。番組改編期など、複数の新番組がスタートする時期には、特にご注意ください。

■ おてがる予約など、優先度の高い録画予約と重複していませんか？

「繰り返し予約(シリーズ録画)」などの自動録画予約や「おてがる予約」など、優先度の高い録画予約は、同じ時刻に放送される新番組の録画より優先されます。
録画したい新番組が決まっているときは、あらかじめ「おてがる予約」などで録画予約してください。

参照

●おてがる予約について→PART5の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.86)
●予約の優先度について→PART5の「予約の優先度について」(p.123)

PART 8 Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

アンテナケーブルの接続を確認してください。

参照

アンテナの接続について→PART1の「アンテナ線を接続する」(p.15)

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ テレビの視聴中ではありませんか？

番組表の予約受信は、テレビの視聴中は実行されません。

デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 8
Q&A

録画ができない

録画をしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画ができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、録画した番組を記録するのに十分な空き容量がないと、録画できないことがあります。
録画中にテレビの画面で操作パネルの「番組情報」をクリックすると、録画可能時間が表示されます。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「ハードウェア・システム設定」-「ハードディスク」をご覧ください。
また、不要な番組を削除して、ハードディスクの空き容量を増やすこともできます。
録画した番組の削除については、PART5の「録画した番組を削除する」(p.106)をご覧ください。

参照
録画時のハードディスク容量について→
PART5の「録画について」(p.76)

■ 録画できる番組ですか？

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、PART5の「録画について」(p.76)をご覧ください。

■ 録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続していますか？

外付けハードディスクに番組を録画するように設定してあるときは、その外付けハードディスクがパソコンに接続されていないと録画できません。
録画用に登録した外付けハードディスクをパソコンに接続しなおすか、録画番組の保存先をパソコンに内蔵されているハードディスクに変更してください。

参照
録画番組の保存先の設定について
→PART7「登録したハードディスクに番組を録画する」(p.153)

PART 8
Q&A

ワイヤレスTVデジタルとうまく通信できないとき

ワイヤレスTVデジタルに接続できない

■「ワイヤレスTVデジタルの初期設定」は終わっていますか?

ワイヤレスTVデジタルを使用するためには、ワイヤレスTVデジタルの初期設定が必要です。設定については「PART2 ワイヤレスTVデジタルの初期設定」(p.23)をご覧ください。

■ ワイヤレスTVデジタルの電源は入っていますか?

PART1の「ACアダプタと電源ケーブルを接続する」(p.17)をご覧になり、正しく接続されているか確認してください。なお、ワイヤレスTVデジタルの電源を入れてから起動するまでに約1分かかります(設定消去スイッチを押したときも同様)。起動中は、ワイヤレスTVデジタル前面の電源ランプ(⏻)とTVランプ(TV)が両方点灯しています。TVランプ(TV)が消灯したら、使用できるようになります。

■ ワイヤレスTVデジタルの電源を入れた直後ではありませんか?

ワイヤレスTVデジタルの電源を入れてから起動するまでに約1分かかります。ワイヤレスTVデジタルの起動中に初期設定をおこなった場合、パソコン側がワイヤレスTVデジタルを認識できないことがあります。
ワイヤレスTVデジタルの起動中は、ワイヤレスTVデジタル前面の電源ランプ(⏻)とTVランプ(TV)が両方点灯しています。TVランプ(TV)が消灯したら使用できるようになります。
TVランプ(TV)が消灯してからもう一度初期設定をおこなってください。

■ ワイヤレスTVデジタルの電波の届く範囲にパソコンを設置していますか?また、周囲に電波の障害になるものはありませんか?

PART1の「安定した通信をおこなうために」(p.7)をご覧になり、設置場所を確認してください。

■ パソコンのワイヤレスLAN機能は有効になっていますか？

パソコンのワイヤレスLAN機能が有効になっているか確認してください。『パソコンの準備と基本』をご覧になり、パソコンのワイヤレススイッチがオンになっているか確認してください。また、ワイヤレスネットワーク接続が有効になっているか確認してください。

参照
ワイヤレススイッチについて→『パソコンの準備と基本』第3章の「インターネットに接続する」-「ワイヤレスLAN機能をオンにする」

ワイヤレスネットワーク接続が有効になっているかどうかは、以下の手順で確認できます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

2 画面左側の「アダプターの設定の変更」をクリック

「ワイヤレスネットワーク接続」が「無効」と表示されている場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、「有効にする」をクリックしてください。

■ 画面右下の通知領域のをクリックして、パソコンが接続している無線LANアクセスポイントを変更していませんか？

通知領域の、をクリックすると、現在パソコンが接続しているワイヤレスLANアクセスポイントが表示されます。この表示が、現在お使いのワイヤレスTVデジタル(WT-XXXXXX)となっていることを確認してください。ワイヤレスTVデジタル以外のアクセスポイントに接続していた場合には、ワイヤレスTVデジタルに接続するように設定を変更してください。

■ ルータとワイヤレスTVデジタルとが接続しているLANケーブルを外したり、ルータの電源をオフにしたりしていませんか？(ルータを使ってインターネット接続をしている場合)

「ルーターの利用設定」をおこなってDHCPが有効になったあと、ワイヤレスTVデジタルからLANケーブルを外したり、ルータの電源を切ると、テレビの視聴やインターネット接続ができなくなります。この場合は、ルータの電源を入れたり、LANケーブルを接続してください。

■ ルータの設定を変更しませんでしたか？(ルータを使ってインターネット接続をしている場合)

ルータの設定を変更した場合、ワイヤレスTVデジタルと通信できなくなる場合があります。その場合は、ワイヤレスTVデジタルの電源コードのプラグをコンセントから抜いて電源を切り、約2～3分後にワイヤレスTVデジタルの電源を入れてください。
ルータの設定でルータのDHCP機能をオフに変更した場合は、ワイヤレスTVデジタルの設定をご購入時の状態に戻してから、設定をやり直してください。その場合は、「ルーターの利用設定」はおこなわず、「詳細設定」でワイヤレスTVデジタルのIPアドレスなどを設定してください。

■ パソコンやワイヤレスTVデジタルのIPアドレスがほかの機器と重複していませんか？（ルータを使わないインターネット接続をしている場合、ルータのDHCP機能をオフにしている場合）

同じネットワークに接続している機器のIPアドレスが重複していると、通信できません。ワイヤレスTVデジタル本体には、ご購入時に「192.168.179.197」が設定されていますので、パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスをこれらと重複しない数値（「192.168.179.112」など）に設定する必要があります。このパソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを調べるには、このPARTの「パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを知りたい」（p.209）をご覧ください。

■ パソコンとワイヤレスTVデジタルをLANケーブルで接続していますか？（有線LANで接続している場合）

ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続する設定に変更した場合は、パソコンとワイヤレスTVデジタルとをLANケーブルで接続してください。

■ ワイヤレスTVデジタル以外のワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことはありませんか？

この場合、ワイヤレスLANの接続先が自動的に変更され、ワイヤレスTVデジタルと通信できなくなる場合があります。「ほかのワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことのある場合の設定を知りたい」（p.210）をご覧になり、ワイヤレスLANの設定をおこなってください。

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」で「ワイヤレスTVデジタルの検索」の結果「ワイヤレスTVデジタルが見つかりませんでした。…」と表示される

■ パソコンのワイヤレスLANの設定を変更しませんでしたか？

パソコン側の「ワイヤレスネットワーク接続」や「ワイヤレスネットワークの管理」で設定を変更すると、ワイヤレスＴＶデジタルに関する設定が変更されてしまう場合があるため、ワイヤレスTVデジタルとの通信ができなくなる場合があります。
この場合は、付録の「ワイヤレスTVデジタルをご購入時の設定に戻す」（p.244）および、PART2の「ワイヤレスTVデジタルの初期設定をする」（p.26）をご覧になり、ワイヤレスTVデジタルの設定をご購入時の状態に戻してから、設定をやり直してください。

■ ワイヤレスTVデジタル本体背面の設定消去スイッチを押して、初期状態に戻しませんでしたか？

ワイヤレスTVデジタル本体背面の設定消去スイッチを押して、ワイヤレスTVデジタルを初期状態に戻したときは、ワイヤレスTVデジタルのワイヤレスLANアクセスポイントに関する設定が全て消去されてしまうため、パソコンとの通信ができなくなります。

この場合は、付録の「ワイヤレスTVデジタルをご購入時の設定に戻す」(p.244)および、PART2の「ワイヤレスTVデジタルの初期設定をする」(p.26)をご覧になり、ワイヤレスTVデジタルの設定をご購入時の状態に戻してから、設定をやり直してください。

■ 同じネットワークに接続しているほかのパソコンやワイヤレスTVデジタルに設定されているIPアドレスが、パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスと重複していませんか?

同じネットワークに接続している機器のIPアドレスが重複していると、通信できません。ワイヤレスTVデジタル本体には、ご購入時に「192.168.179.197」が設定されていますので、パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスをこれらと重複しない数値(「192.168.179.112」など)に設定する必要があります。
このパソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを調べるには、このPARTの「パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを知りたい」(p.209)をご覧ください。

インターネットに接続できない

■ ルータの設定は終わっていますか?(ルータを使ってインターネット接続をしている場合)

ルータを使ってインターネットに接続するためには、ルータの設定が必要です。詳しくはプロバイダから入手した資料やルータのマニュアルなどをご覧ください。

■ ルータとワイヤレスTVデジタルとが接続しているLANケーブルを外したり、ルータの電源をオフにしたりしていませんか?(ルータを使ってインターネット接続をしている場合)

「ルーターの利用設定」をおこなってDHCPが有効になったあと、ワイヤレスTVデジタルからLANケーブルを外したり、ルータの電源を切ると、テレビの視聴やインターネット接続ができなくなります。この場合は、ルータの電源を入れたり、LANケーブルを接続してください。

■ ルータの設定を変更しませんでしたか?

ルータの設定を変更した場合、ワイヤレスTVデジタルと通信できなくなる場合があります。その場合は、ワイヤレスTVデジタルの電源コードのプラグをコンセントから抜いて電源を切り、約2～3分後にワイヤレスTVデジタルの電源を入れてください。
ルータの設定でルータのDHCP機能をオフに変更した場合は、ワイヤレスTVデジタルの設定をご購入時の状態に戻してから、設定をやり直してください。その場合は、「ルーターの利用設定」はおこなわず、「詳細設定」でワイヤレスTVデジタルのIPアドレスなどを設定してください。

PART 8
Q&A

その他

リモコンで操作できない

■ Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていませんか？

Windows Media Centerのウィンドウよりも前にほかのソフトのウィンドウが表示されていると、リモコンで正しく操作することができなくなります。このときは、リモコンの【テレビ】を押してください。Windows Media Centerの画面が手前に表示され、リモコンでの操作ができるようになります。

■ リモコン受信用ユニットは正しく取り付けられていますか？

リモコン受信用ユニットが正しく接続･設置されていないと、リモコンで操作することができません。リモコン受信用ユニットについて詳しくは、PART1の「パソコンにリモコン受信用ユニットを取り付ける」(p.18)をご覧ください。

リモコンでデータ放送が操作できない

■ ご購入時の状態では、録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、データ放送の一部の操作ができません

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン(自動切換モード)」を選び、「データ放送固定モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの【電源】を押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのテレビの終了には約30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

【電源】を押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行していないかを確認してください。また、予約開始時刻が近い場合は、SmartVisionは終了しますが、パソコンは終了しません。

リモコンの【電源】や【テレビ】を押しても、パソコンが起動しない

■ 電源を切った状態、または休止状態ではありませんか？

パソコンの電源を切った状態、または休止状態から、リモコンの【電源】や【テレビ】でパソコンを起動することはできません。

ご購入時の設定では、パソコンが自動的にスリープ状態になってから30時間たつと休止状態になります。

DVDに保存しようとしたが、選択できない番組（保存できない番組）がある

■ 映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組です

映像フォーマット「480p」または「720p」で放送された番組は、DVDにVRモードで保存することができません。

DVD-RAMの書き込みに失敗する

このパソコン以外で使用したことのあるDVD-RAMに録画番組を保存すると、書き込みに失敗する場合があります。その場合は、このパソコンでDVD-RAMをフォーマットしてから、録画番組を保存してください。フォーマットをおこなうと、DVD-RAMのデータはすべて削除されます。必要に応じて、データのバックアップを取ってください。
DVD-RAMのフォーマットについて詳しくは、PART6の「光ディスクをフォーマットする」（p.128）をご覧ください。

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使って、データをDVDに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

参 照

録画番組データをDVDにする→「PART6 録画番組を光ディスク（DVDなど）に保存する」（p.125）

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、テレビ関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

リモコンの【電源】や【テレビ】以外のボタンを押したとき、パソコンが復帰した

パソコンがスリープ状態であれば、リモコンの【テレビ】、【電源】以外のボタンを押しても、スリープ状態が解除され、パソコンが復帰します。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画（おまかせ録画を含む）、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART5の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.91)をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。
電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、操作パネルのをクリックし、「設定」-「予約録画の設定」-「予約実行時の電源設定」とクリックして「電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「スリープ状態/休止状態から起動する」を選んでクリックし、「保存して戻る」をクリックしてください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

ポイント

ご購入時は、電源ボタンはスリープ（省電力状態）でパソコンを終了する設定になっています。

■ 番組表の受信時刻ではありませんか?

ご購入時の状態では、毎日10:00 ～ 16:00の正時ごとに番組表の自動受信がおこなわれる設定になっています。この時刻になると、パソコンが自動的に起動して、番組表の受信に備えます。なお、番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信がおこなわれません。
番組表を受信する時刻の設定は変更することができます。詳しくは、PART4の「番組表の受信時刻を変更する」(p.69)をご覧ください。

ワイヤレスTVデジタル設定ツールを起動できない

テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中、予約開始5分前など、SmartVisionが動作していたり、予約に備えている間は、ワイヤレスTVデジタル設定ツールを起動することができません。
これらの動作が終了してから、ワイヤレスTVデジタル設定ツールを起動してください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]
B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もう一度B-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。

● [E201 信号レベルが低下しています。]
・アンテナケーブルを確認してください。
・アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]
・アンテナケーブルを確認してください。
・地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。
・BS・110度CSデジタル放送の場合は、雨、雪、雷雲などによって電波が受信できなくなると表示されます。天候が回復し、電波の状態が改善されれば、映像が表示されます。

● [E203 放送休止中]
受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。
・番組表などで放送時間をお確かめください。
・エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

● [E209 アンテナの接続を確認してください]
BS/110度CSデジタルアンテナのアンテナ線がショートしたときに、このメッセージが表示されます。
パソコンの電源を切り、BS/110度CSデジタルアンテナ端子に接続しているアンテナ線を外し、アンテナ線のショートの原因を確認してください。そして、ショートの原因を取り除いた後で、再びアンテナ線をパソコンのアンテナ端子に接続してください。なお、ショートの原因がわからないときには、お近くの電器店にご相談ください。

● [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

参照

B-CASカードのセットのしかたについて→PART1の「B-CASカードをセットする」(p.17)

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態になるという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態になります。

予約実行前後の動作について→PART5の「予約実行前後の動作を設定する」(p.100)

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の状態では、毎日10:00 ～ 16:00の正時ごとに番組表の自動受信がおこなわれる設定になっています(番組表の受信が完了すると、その日はそれ以降の番組表の自動受信がおこなわれません)。
番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。

番組表受信時刻の変更について→PART4の「番組表の受信時刻を変更する」(p.69)

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。
保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作をおこなってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。
パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているソフトを終了させてください。また、ソフトの再起動やハードディスクの整理などをお試しください。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ Windows Media Centerのウィンドウを常に手前に表示する設定にしていませんか

Windows Media Centerの「タスク」-「設定」-「全般」-「起動とウィンドウの動作」にある、「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックボックスにチェックを入れていると、Windows Media Centerのウィンドウがほかのウィンドウよりも手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionから別のソフトを起動したり、別のウィンドウを表示させる(マウス専用画面で「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」の「書き込みドライブ」タブにある「フォーマット」ボタンを押したときなど)と、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「常にWindows Media Centerを手前に表示」のチェックを外せば、この現象は起こらなくなります。

USBハードディスク以外のUSB機器を接続したとき、SmartVisionで録画用ハードディスクとして利用するように設定するか確認する画面が表示される

■ メッセージの画面でキャンセルを選択してください

USBハードディスク以外のUSB機器であっても、SmartVision側でハードディスクと認識される場合があります。その場合には、キャンセルを選択してください。

コピー回数が「エラー」と表示された番組がある

■ 利用できない録画ファイルです

次の状態の録画ファイルは、コピー回数に「エラー」と表示されます。「エラー」の番組は、再生を含め、一切利用できません。ハードディスクの容量を節約するため、削除することをおすすめします。

外付けハードディスクに保存された番組が、以下の状態のとき

・外付けハードディスクが接続されていない状態で、同じグループの番組がムーブ、もしくはすべて削除された。

SmartVision上でフォルダを削除後、再追加したフォルダに保存されていた番組が、以下の状態のとき

・同じグループの番組が、すでにムーブ、もしくはすべて削除されていた。

参 照

番組のグループについて→PART6の「光ディスクに保存するときのご注意」(p.138)

ムーブについて→付録の「ダビング10でできること」(p.213)

再セットアップする前などに録画番組のデータをバックアップしたい

■ 外付けハードディスクにデータを移動してください

外付けハードディスクをSmartVisionに登録し、その外付けハードディスクにCドライブに保存されている録画番組のデータを移動することができます。

参 照

●外付けハードディスクの登録について→PART7の「外付けハードディスクを利用する」(p.151)

●録画番組の移動について→PART7の「録画した番組を移動する」(p.156)

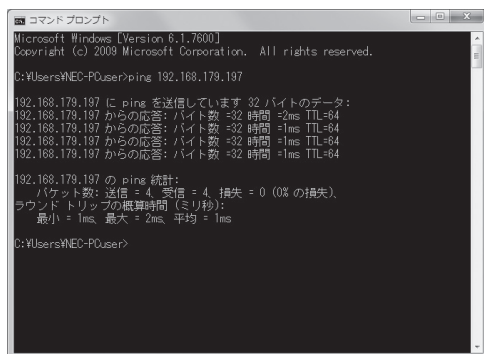
タスクバーのSmartVisionアイコンが表示されない

パソコンを再セットアップすると、タスクバーのSmartVisionアイコンが表示されないことがあります。
この場合は、次の手順でタスクバーにアイコンを追加してください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「テレビ視聴」を右クリック**

2 **「タスクバーに表示する」をクリック**

ワイヤレスTVデジタルに正しく接続できているかどうか調べたい、使用していないIPアドレスを調べたい

ルータを使わずにワイヤレスTVデジタルに接続している状態で、ワイヤレスTVデジタルに正しく接続できているかどうか調べたり、使用していないIPアドレスを調べるには、Windowsの「コマンドプロンプト」を使います。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリック

「コマンドプロンプト」が起動します。

2 キーボードから「ping 192.168.179.197」(ワイヤレスTVデジタルのワイヤレスLANアクセスポイントのIPアドレス)と入力し、【Enter】を押す

「ping」と入力した後に、半角1文字分のスペースを空けてIPアドレスを入力します。

次のような画面が表示されます。

このとき、画面に「192.168.179.197からの応答･･･」と表示された場合は、ワイヤレスTVデジタルに正しく接続できています。「要求がタイムアウトしました。」と表示された場合は、ワイヤレスTVデジタルに正しく接続できていません。なお、手順2で「ping」と入力した後に、半角1文字分のスペースを空けてパソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスに近い数値(例:パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスが「192.168.179.197」の場合は、「ping 192.168.179.198」のように)を入力し、【Enter】を押した場合にも「要求がタイムアウトしました。」と表示されますが、この場合は、そのIPアドレスは使用されていません。

チェック

ルータを使って接続している場合は、ルータに添付のマニュアルをご覧になり、IPアドレスを調べてください。

ポイント

付録の「詳細設定」(p.234)で、ワイヤレスTVデジタルのIPアドレスを変更した場合は、手順2で入力する文字列のうち、「192.168.179.197」の部分は変更する必要があります。

再生できない録画番組がある

■「エラー」の番組です

外付けハードディスクに保存された番組のコピー回数表示は、24時間に1回更新されます。コピー回数が「エラー」に該当する番組の場合、次回の更新で表示が変更されます。
コピー回数が「エラー」の番組については、「コピー回数が「エラー」と表示された番組がある」(p.207)をご覧ください。

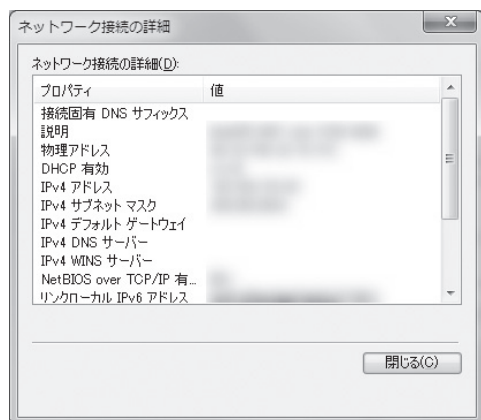
パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを知りたい

以下の手順で知ることができます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリック

2 画面左側の「アダプターの設定の変更」をクリック

3 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして表示される「状態」をクリックし、表示された「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」で「詳細」をクリック

「ネットワーク接続の詳細」にパソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスとサブネットマスクが表示されます。

また、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」をクリックし、キーボードから「ipconfig」と入力して【Enter】を押して表示される画面でも、パソコンのワイヤレスLANアダプタのIPアドレスとサブネットマスクを知ることができます。

SDカードをセットしているのに、メモリーカードスロットに挿入するようメッセージが表示された

SmartVisionで扱えない形式にフォーマットされたSDカードが挿入されています。このSDカードに番組を転送するためには、Windowsの機能でフォーマットをしたあと、さらにSmartVisionでフォーマットをおこなう必要があります。

フォーマットをおこなうと、SDカードの内容はすべて消去されます。必要に応じて、SDカードの内容をバックアップしてください。

1 「スタート」-「コンピューター」をクリック

2 フォーマットするSDカードを右クリックし、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

3 「フォーマット」画面で「ファイルシステム」を「NTFS」に設定する

4 「開始」をクリックし、表示された確認画面で「OK」をクリック

「フォーマットが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

これで、Windowsでのフォーマットは完了です。この後、SmartVisionでSDカードを再度フォーマットしてください。

SmartVisionでSDカードをフォーマットする→PART7の「携帯電話に転送したデータを確認･削除する」(p.197)

ほかのワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことのある場合の設定を知りたい

パソコンをワイヤレスTVデジタル以外のワイヤレスLANアクセスポイントに接続したことがある場合、ワイヤレスTVデジタルとの通信が一時的にできなくなったとき、ワイヤレスTVデジタル以外のワイヤレスLANアクセスポイントに自動的に接続されることがあります。
この場合、ワイヤレスTVデジタルと通信できなくなり、初期設定に失敗したり、テレビの視聴ができなくなります。
このような問題を防ぐために、ワイヤレスTVデジタル以外のアクセスポイントと接続したことがある場合は、次の設定をおこなってください。

1 画面右下の通知領域のをクリック

2 「ネットワークと共有センターを開く」をクリックし、「ワイヤレスネットワークの管理」を開く

3 ワイヤレスTVデジタル(WT−XXXXXX)以外のワイヤレスLANアクセスポイントを右クリックし、「プロパティ」をクリック

4 「接続」タブをクリックし、「このネットワークが接続範囲内にはいると自動的に接続する」のをクリックしてにする

5 「OK」をクリック

ワイヤレスTVデジタル以外に複数のワイヤレスLANアクセスポイントがある場合には、それぞれのワイヤレスLANアクセスポイントに対して手順3 〜手順5を繰り返してください。

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、ワイヤレスTVデジタルをご購入時の状態に戻す方法や仕様一覧について記載しています。

付 録

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画ルール「ダビング10」について説明しています。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。
このパソコンはダビング10に対応しており、ハードディスクに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。
また、録画されたコピーワンス(コピー不可)の番組は、光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。
ムーブ(移動)した場合、ハードディスクから当該番組は自動的に消去されます。
なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

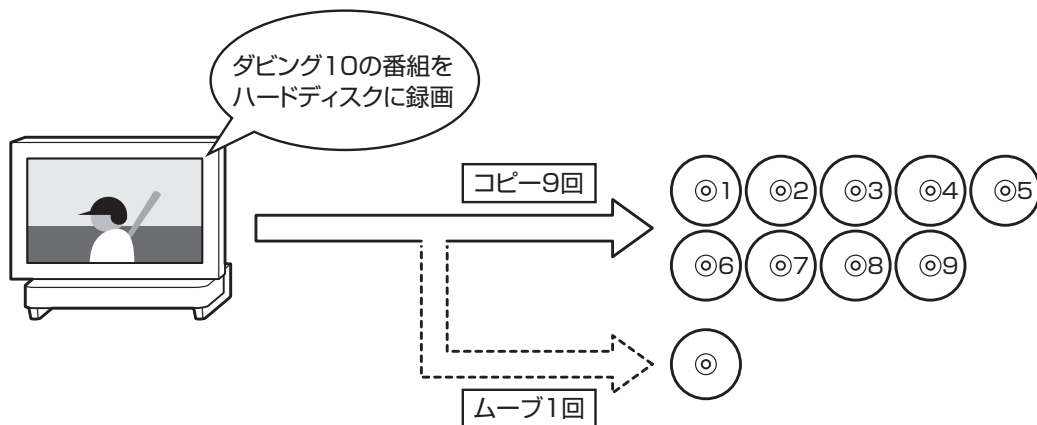
- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス/ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組か区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されます。
  番組をハードディスクに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組か確認できます。

ダビング10とコピーワンスの違い

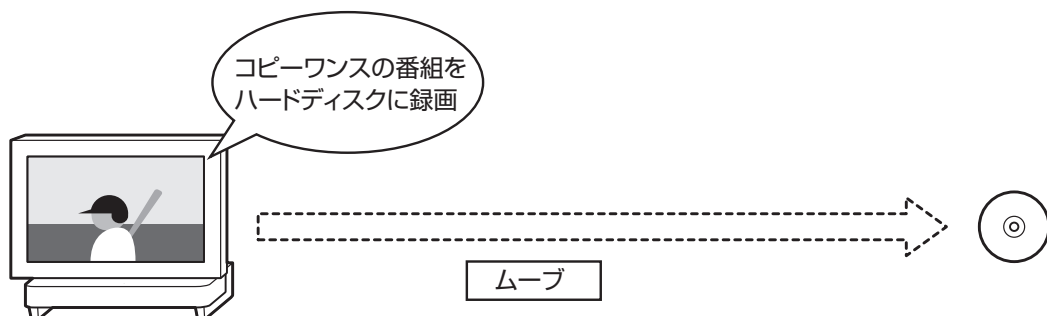
「ダビング10」と「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存
ダビング10	コピー可(回数制限)	コピー 9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)
コピーワンス	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)

ダビング10でできること

●ダビング10
パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。
コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ（移動）になり、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

●コピーワンス
パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ（移動）され、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。

付録

付録

データ量制限モードについて

ワイヤレスLANの速度によって、「通常モード」と「データ量制限モード」からモードを選びます。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

ワイヤレスTVデジタルでは、ワイヤレスLANを使ってテレビの映像を送受信するため、ワイヤレスLANの通信速度が十分に確保できない環境では、コマ落ちなどが起こる場合があります。その場合は、動作モードを「データ量制限モード」にすることをおすすめします。

■ テレビ初期設定後の動作モードについて

動作モードは、テレビ初期設定の途中(p.33の手順9)で、ワイヤレスネットワークレベル(ワイヤレスLANの速度)にあわせて自動的に設定されます。テレビ初期設定後、はじめてテレビを視聴するときは、ここで設定された動作モードで起動します。

「通常モード」と「データ量制限モード」の違い

「データ量制限モード」では、より少ないデータ量でも映像を表示できるように、テレビの映像を変換して表示します。そのため、「通常モード」と比べて次の違いがあります。

●テレビの画質
ファインモードで録画したときと同じ画質で表示されます。

●録画
ダイレクト、ダイレクト+携帯の画質モードで録画することはできません。ファイン、ファインロング、ロングのいずれかで録画します。

チェック

●さかのぼり録画もファインで録画されます。

●ダイレクトの画質モードで予約した番組の録画時に動作モードが「データ量制限モード」になっていた場合は、ファインで録画します。

参照

さかのぼり録画→PART5の「さかのぼり録画をする」(p.82)

ワイヤレスネットワークレベルの確認

お使いの環境のワイヤレスネットワークレベルは、次の手順で確認できます。

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」-「ワイヤレスネットワークレベルの確認」をクリック

ワイヤレスネットワークレベルが表示されます。

3 速度を確認する

速度によって、おすすめする動作モードが異なります。

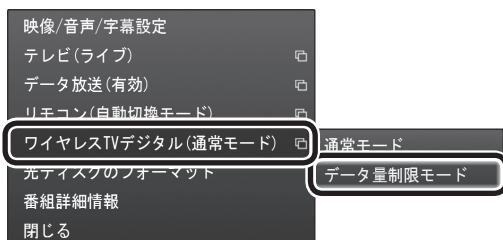
- 100Mbps以上：通常モード
- 40Mbps ～ 100Mbps未満：データ量制限モードまたは、有線LANでの接続
- 40Mbps未満：有線LANでの接続

有線LANでの接続→付録の「詳細設定」（p.234）

動作モードを切り換える

1 テレビが表示されている画面上で右クリック

サブメニューが表示されます。

2 「ワイヤレスTVデジタル(通常モード)」-「データ量制限モード」をクリック

確認の画面が表示されます。

3 表示された内容を読んで、「はい」をクリック

これで、動作モードが変更されます。

録画の実行中は、動作モードを変更することができません。

ポイント

「通常モード」に変更する場合は、手順2で「通常モード」をクリックしてください。

付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

●ワイヤレスTVデジタル専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。

●B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。

●B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
・折り曲げたり、変形させせたり、傷を付けないでください。
・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
・分解・加工しないでください。

●裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。

●B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。

●B-CAS用「ユーザー登録ハガキ」は、B-CASカードをセットした後、必要事項をご記入の上投函してください。

ポイント

限定受信システム(CAS: Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードを登録する

デジタル放送のサービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○を付けることをおすすめします。
詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

チェック

●B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。

●カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。

付 録

アンテナの設定をする

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

1 操作パネルのをクリック

2 「情報」をクリックし、「受信レベルの確認」をクリック

3 確認したい「放送波」と「チャンネル」を選ぶ

4 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル：中」または「レベル：高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

5 「保存して戻る」をクリック

これで、アンテナの設定は完了です。

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候·季節·受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。

付録

個人情報を消去する

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

・データ放送で使用していた個人情報やポイント
・受信済みのメール／掲示板の内容
・しおり一覧の内容
・番組表データ(地上デジタル放送)
・地上デジタル放送のチャンネル設定

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

1 操作パネルの「画面」をクリック

画面が切り換わり、マウス専用画面が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は状態によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

2 「ノーマル」タブをクリック

3 (設定)をクリック

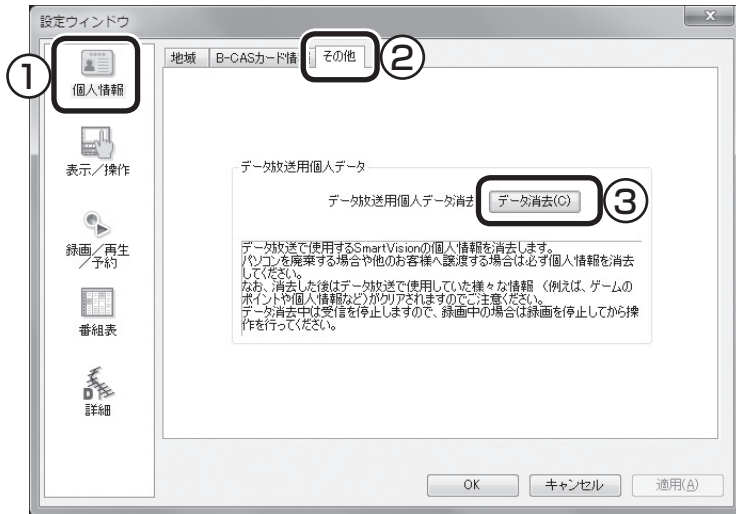
「設定ウィンドウ」が表示されます。

付録

4 データ消去の設定をする

①「個人情報」アイコンをクリック

②「その他」タブをクリック

③「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

5「はい」をクリック

SmartVisionが終了します。
その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定(p.29)をおこなう必要があります。

付録

自動ログオンの設定をする

自動的にログオンするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、ログオンするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

設定を変更する

1 操作パネルの をクリック

2 「設定 」をクリックし、「予約録画の設定」をクリック

3 「自動ログオンの設定」をクリック

4 「自動ログオンのテスト」をクリック

5 ログオンするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動ログオンユーザー」をクリックし、ユーザーを選ぶ

6 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」をクリックし、キーボードからパスワードを入力し、【Enter】を押す

7 再度「自動ログオンのテスト」をクリック

テスト結果が「正常」と表示されれば、自動ログオンの設定が正しくできています。

8 「保存して戻る」をクリック

付録

BS/110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について

有料放送を視聴する場合の、受信契約について説明します。

このパソコンはモデム機能を搭載していないため、電話回線を利用した有料放送の受信契約をテレビの画面からおこなうことができません。
ここでは、受信契約の申し込みをおこなう場合のお問い合わせ先について記載します。

名称	URL	お問い合わせ先
WOWOW [BS9ch]	http://www.wowow.co.jp	0120-580-807 (PHS、IP電話の方は045-683-8080) 受付時間　9:00 ～ 20:00(年中無休)
スター・チャンネル HV [BS10ch]	http://star-ch.jp	0570-013-111 (PHS、IP電話のお客様は　045-339-0399) 受付時間　10:00 ～ 18:00 なお、スター・チャンネル HVの加入申込みは下記のスカパー！ｅ２へお問合せください。
スカパー！ e2	http://www.e2sptv.jp/	0570-08-1212 (PHS、IP電話のお客様は045-276-7777) 受付時間　10:00-20:00 (年中無休)

付 録

SmartVisionのバージョンを確認する

テレビを楽しむためのソフト(SmartVision)の、バージョンの確認方法について説明します。

リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

バージョンを確認する

1 操作パネルの をクリック

テレビメニューが表示されます。

2 「情報 」をクリックし、「バージョンの確認」をクリック

SmartVisionとワイヤレスTVデジタルSWのバージョンが表示されます。

付録

録画モードについて

番組を録画する場合、録画した番組を光ディスクに保存する場合の録画モードごとの画質や機能について詳しく説明します。

ハードディスクに録画する場合

●ご購入時には、ダイレクトで録画される設定となっています。録画予約ごとに個別に録画モードの設定ができます。

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	ロング
ビットレート	地上デジタルHD放送:17Mbps 地上デジタルSD放送:8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送:24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送:11Mbps	8Mbps	4Mbps	2Mbps
記録できる解像度※1	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)
画質と記録時間の関係	高画質 ⇔			長時間
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組	複数の音声のうち、2つを選択して録画できます。※2※3 再生時に音声を切り換えることができます。		複数の音声のうち、1つを選択して録画できます。※2 再生時に音声を切り換えることはできません。	
字幕放送が含まれる番組	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。			
データ放送が含まれる番組	データ放送が記録されます。再生時に操作パネルの「d」をクリックしてデータ放送を表示することができます。	データ放送は記録されません。 再生時に操作パネルの「d」をクリックしてもデータ放送は表示されません。		
複数の映像が含まれる番組	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。			
DVDへの保存	録画モード変換が必要です。	AVCREC形式では、録画モード変換せずに記録できます。DVD-VR形式では、録画モード変換が必要です。		
ブルーレイディスクへの保存	録画モード変換をせずに記録できます。 ダイレクトの場合には、録画モード変換をして記録することもできます。			

※1:ハイビジョン(HD)を記録した場合の再生時の解像度。標準(SD)の番組を記録した場合、再生時にはすべて標準(SD)で再生されます

※2:どの音声を記録するか、録画予約時に選択することができます

※3:携帯電話用のデータ(外でもVIDEO)を同時に録画するときは、複数音声のうち1つを選択して録画します

ハードディスクからDVDへ保存する場合

録画モード	ファイン	ファインロング	ロング	1ディスクダビング	高画質	標準画質	長時間	1ディスクダビング
記録形式	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	AVCREC形式※1	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR形式	DVD-VR方式
対応する光ディスク	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RAM
ビットレート	8Mbps	4Mbps	2Mbps	※2	7.5Mbps VBR	4Mbps VBR	2Mbps VBR	※2
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	※2	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)	標準(SD)
画質と録画時間の関係	高画質 ⟷ 長時間			※2	高画質 ⟷ 長時間			※2
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※3				録画モード変換が必要です。			
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※4	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。						
字幕放送が含まれる番組※5	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。				字幕放送は記録されません。再生時に字幕を表示することはできません。			
データ放送が含まれる番組※4	データ放送は記録されません。 再生時に操作パネルの「d」をクリックしてもデータ放送は表示されません。							

※1：AVCREC形式に対応していないほかの機器では再生することはできません
※2：DVDの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます
※3：ハードディスクに保存されている画質と、DVDに保存するときの画質が同じ場合のみ
※4：WinDVD for NEC、WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECで再生する場合
※5：WinDVD AVC for NEC、WinDVD BD for NECで再生する場合

ハードディスクからブルーレイディスクへ保存する場合

録画モード	ダイレクト	ファイン	ファインロング	ロング	1ディスクダビング
記録形式	BDAV				
対応する光ディスク	BD-RE、BD-R				
ビットレート	地上デジタルHD放送：17Mbps 地上デジタルSD放送：8Mbps BS・110度CSデジタルHD放送：24Mbps BS・110度CSデジタルSD放送：11Mbps	8Mbps	4Mbps	2Mbps	※3
記録できる解像度	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準(SD)	※3
録画時間と画質の関係	高画質 ⟷ 長時間				※3
録画モード変換	録画モード変換は不要です。※1				
複数の音声が含まれる(マルチ音声)番組※2	あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、2つの音声を保存します。その場合には再生時に音声を切り換えることができます。		あらかじめハードディスクに2つの音声が記録されているときは、そのうちの1つを保存します。再生時に音声を切り換えることはできません。		
字幕放送が含まれる番組※2	字幕放送が記録されます。再生時に字幕の表示・非表示ができます。				
データ放送が含まれる番組生※2	データ放送は記録されません。 再生時に操作パネルの「d」をクリックしてもデータ放送は表示されません。				
複数の映像が含まれる番組※2	複数の映像は記録されません。再生時に映像を選択することはできません。				

※1：ハードディスクに保存されている画質と、ブルーレイディスクに保存するときの画質が同じ場合のみ
※2：WinDVD BD for NECで再生する場合
※3：ブルーレイディスクの空き容量に合わせて録画画質が自動調整されます

各モードの画面説明

マウス専用画面の各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ
表示する映像(放送)を切り換えます。

地デジ:地上デジタル放送
BS:BSデジタル放送
CS:110度CSデジタル放送
録画番組:録画番組一覧

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプボタン
SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

番組表ボタン
番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン
録画番組一覧を表示します。

予約&結果一覧ボタン
予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー (クリックできない)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

ポイント

- 番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。
- 映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

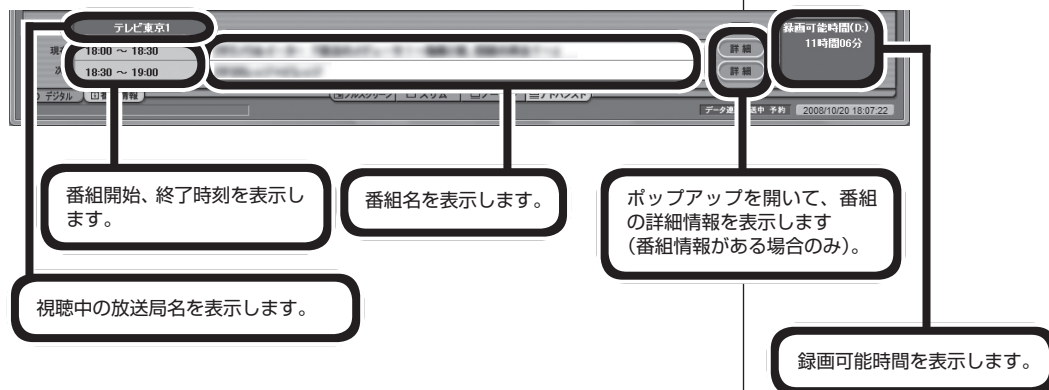
SmartVisionの設定について→オンラインヘルプ(p.150)の「設定」

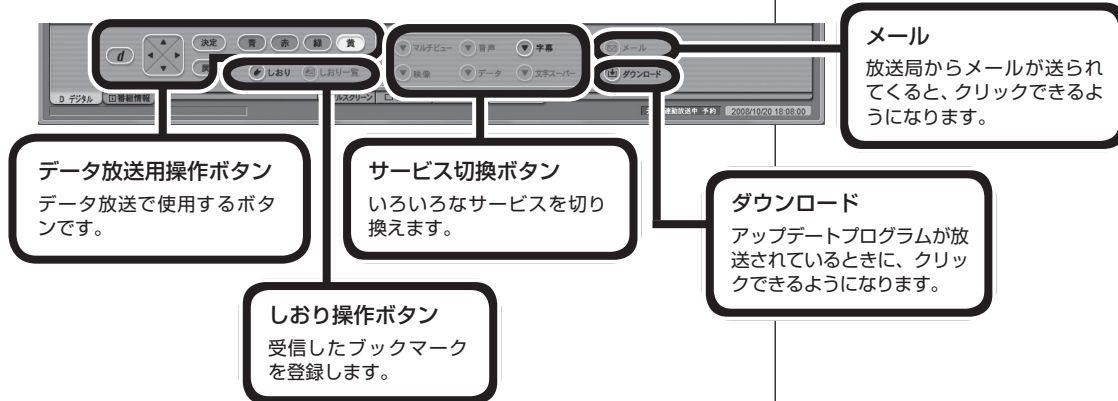
● コントロールパネル

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

●「番組情報」タブ

「番組情報」タブは画面の左下にあります。

● 「デジタル」タブ

「デジタル」タブは画面の左下にあります。

● 「簡易編集」タブ

「簡易編集」タブは画面の左下にあります。

※ ここから を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまで を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

付録

付 録

画面の表示方法を変える

画面サイズが4:3の比率になっている放送では、画面の表示方法を変更することができます。

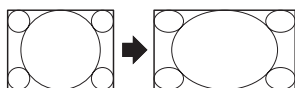
リモコン リモコンの操作についてはp.52をご覧ください。

画面の表示方法は、次の3つから選べます。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

ノーマル

ズーム

ワイド(フル)

画面を右クリックし、サブメニューの「ワイド切換」をクリックして画面の表示方法を選んでください。

チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。

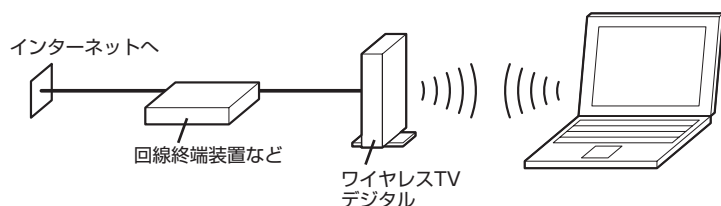
付 録

ルータを使わないインターネット接続について

ここでは、ルータを使わずにインターネットに接続する方法を説明します。

ルータを使わずにインターネットに接続する

PPPoEを使ってインターネットに接続するには、添付のLANケーブルを使って回線終端装置などにワイヤレスTVデジタルを接続します。

・ PPPoEでの接続例

■ 設定前の準備

ワイヤレスTVデジタルでインターネットに接続するために、次の項目を確認してください。

・ インターネット回線の開通や、プロバイダとの契約が済んでいる
・ モデムなどの接続が済んでいる
・ ワイヤレスTVデジタルの初期設定が済んでいる
・ パソコンとワイヤレスTVデジタルにLANケーブルが接続されていない
・ ワイヤレスTVデジタルの電源が入っている（電源コードが接続されている）

チェック

LANケーブルは添付されません。別途、ご用意ください。

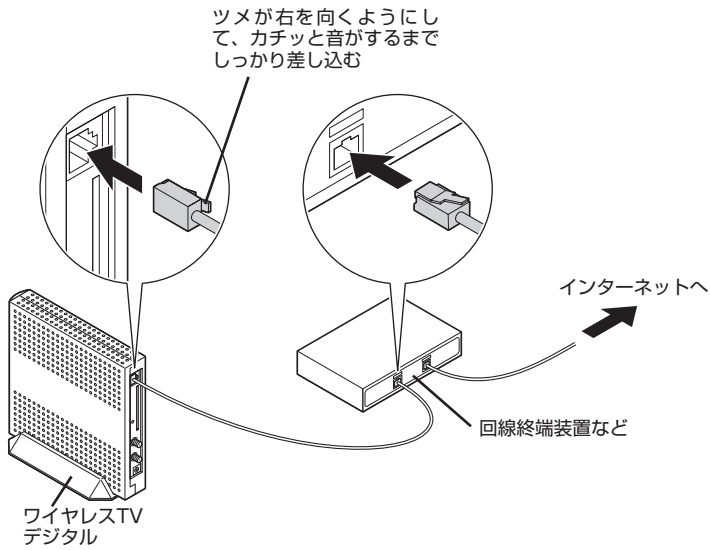
参照

ルータを使ったインターネットへの接続について→「PART3 インターネットに接続する」（p.41）

●インターネット回線、プロバイダについて→『パソコンの準備と基本』
●ワイヤレスTVデジタルの初期設定→「PART2 ワイヤレスTVデジタルの初期設定」（p.23）

チェック

モデムなどの接続については、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

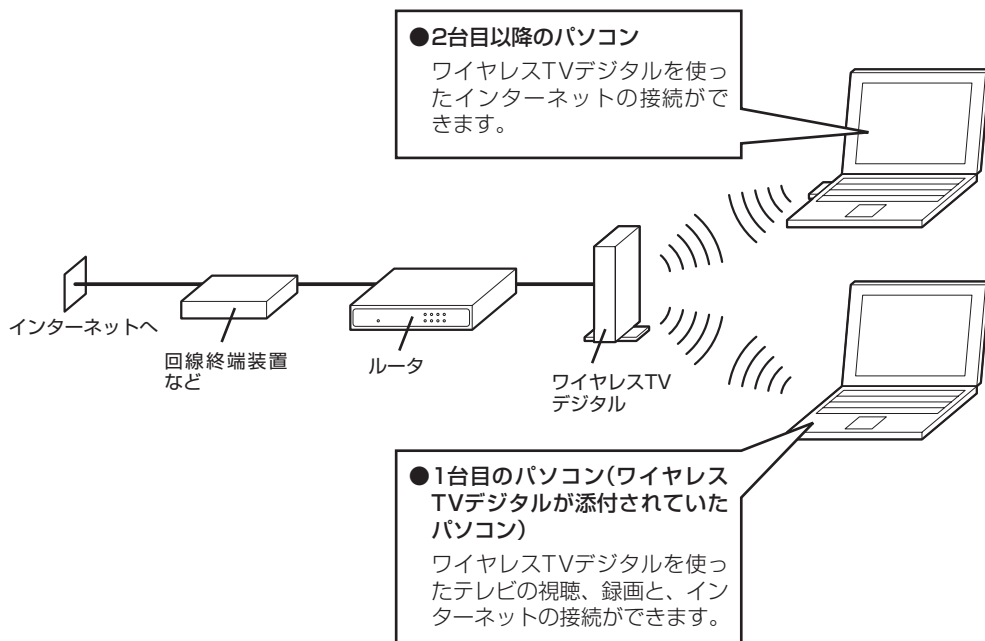
1 ワイヤレスTVデジタルとモデムなどの機器を接続する

■ PPPoE設定をおこなう

プロバイダや回線事業者から送られた資料をご覧になり、PPPoEの設定をおこなってください。

■ インターネットに接続できるが確認する

設定が終了したら、「スタート」-「インターネット」をクリックして、インターネットに接続できるか確認してください。

2台目以降のパソコンをインターネットに接続できるようにする

ご家庭で使っている、無線LAN対応のパソコンをワイヤレスTVデジタルのアクセスポイント機能を使ってインターネットに接続することができます。

2台目以降のパソコンに次の設定をして、インターネットに接続できることを確認してください。

・ワイヤレスLAN機能を有効にする
・ワイヤレスLANアダプタのIPアドレスを自動取得する
・ワイヤレスTVデジタルには暗号化モードと暗号化キーを設定しているため、パソコン側も同じ設定をする必要があります。暗号化モードと暗号化キーは「アクセスポイント設定」(p.238)で確認できます。

チェック

●ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネット接続をしている間は、ワイヤレスLANの帯域を使用するため、テレビの視聴や録画にコマ落ちなどの影響がでる可能性があります。
●2台以上のパソコンでインターネットに接続するには、ルータまたはルータ内蔵のモデムが必要です。
●高速11n対応ワイヤレスLANの通信速度で利用するには、パソコンのワイヤレスLANアダプタが高速11n対応ワイヤレスLANに対応している必要があります。
●ワイヤレスTVデジタルはIEEE802.11nに準拠していますが、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

チェック

パソコンのワイヤレスLAN設定については、お使いのパソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

付 録

詳細設定

ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続したり、設定を変える方法を説明します。

「詳細設定」では、次のことができます。
・ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続する
・ワイヤレスTVデジタルのIPアドレスを変更する
・ワイヤレスTVデジタルとパソコンの通信に使うポート番号を変更する(通常は変更しないでください)

ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続する

ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続する場合は、「詳細設定」をする前に、パソコンとワイヤレスTVデジタルをLANケーブルで接続します。
このとき、次のことに注意してください。

●ルータを使って接続する場合
・100BASE-TXの転送に対応したルータを使用してください。
・ワイヤレスTVデジタルとルータ、ルータとパソコンの接続には、カテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。

●ワイヤレスTVデジタルとパソコンを直接接続する場合
・カテゴリ5以上のLANケーブル(クロスケーブル)を使用してください。

詳細設定をする

1 設定前の準備をする

次の準備をしてください。
・ワイヤレスTVデジタルの接続がされていることを確認する
・ワイヤレスTVデジタルの電源が入っていることを確認する
・パソコンのワイヤレスLAN機能が有効になっていることを確認する
・有線LANで接続する場合は、ワイヤレスTVデジタルとパソコンを有線LANで接続してください。

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

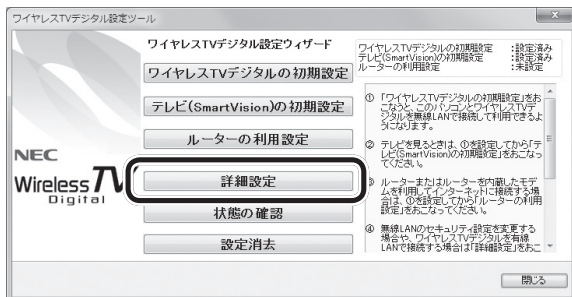
「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

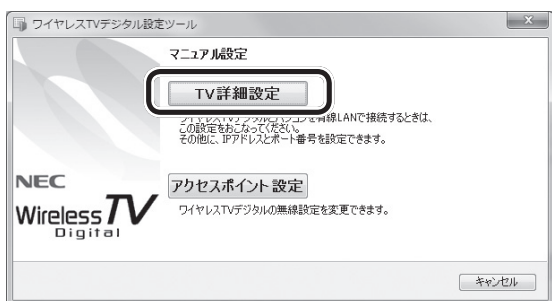
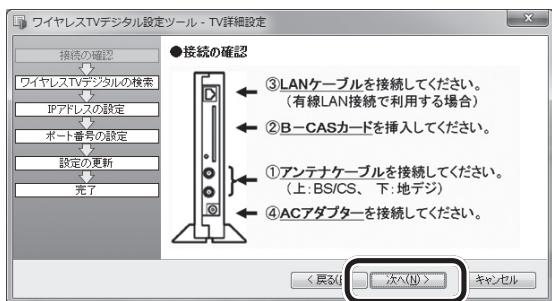
参 照

ワイヤレスTVデジタルの接続→「PART1 ワイヤレスTVデジタルを設置する」(p.1)、「PART3 インターネットに接続する」(p.41)

●ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。

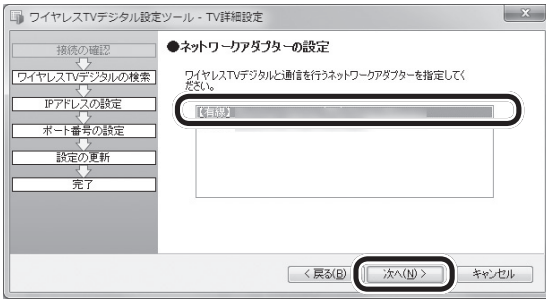
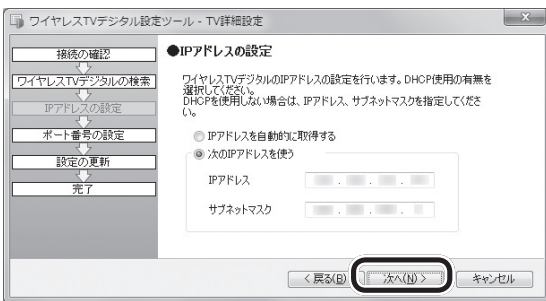
●起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

3 「詳細設定」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ウィザード」画面が表示されます。

4 「TV詳細設定」をクリック

5 「次へ」をクリック

パソコンにLANケーブルが接続されている場合は、手順6に進んでください。接続されていない場合は、手順7へ進んでください。

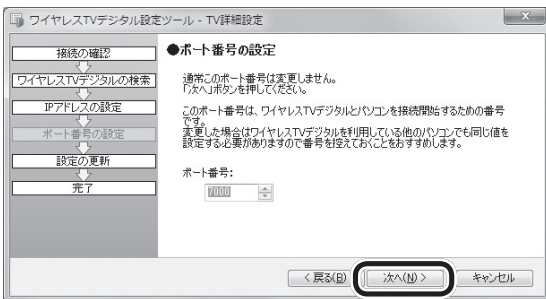
チェック

「有効なネットワークアダプタが検出されませんでした。」と表示された場合は、いったん「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」を終了して、PART8の「ワイヤレスTVデジタルとうまく通信できないとき」(p.198)をご覧になり、問題を解決してから設定しなおしてください。

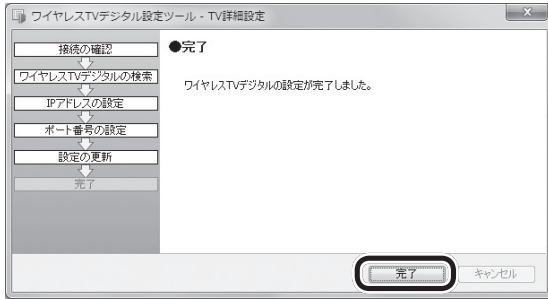
6 （ワイヤレスTVデジタルを有線LANで接続する場合のみ）【有線】と書かれているネットワークアダプタをクリックして、「次へ」をクリック

7 IPアドレスの設定をして、「次へ」をクリック

ご使用の環境にあわせて設定してください。

・ IPアドレスを自動的に取得する：ルータのDHCPサーバ機能を使うときに選択してください。通常は、こちらをおすすめします。
・ 次のIPアドレスを使う：IPアドレスを手動で設定するときに選択してください。その後、「IPアドレス」と「サブネットマスク」にお使いの環境にあった値を入力してください。

「ポート番号の設定」が表示されます。

8 「次へ」をクリック

「ワイヤレスTVデジタルの更新」画面が表示されます。次の画面がでるまで、何も操作せずにお待ちください。

通常は、「ポート番号」を変更しないでください。

9 「完了」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」の最初の画面が表示されます。

10 [×] をクリック

これで、ワイヤレスTVデジタルの詳細設定は完了です。

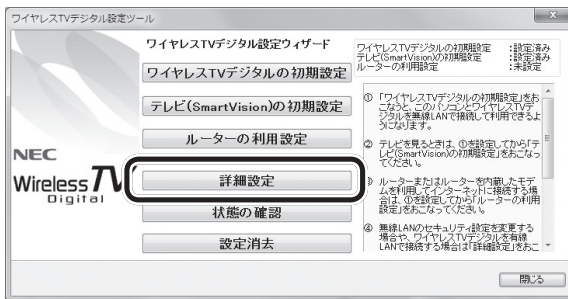
付録

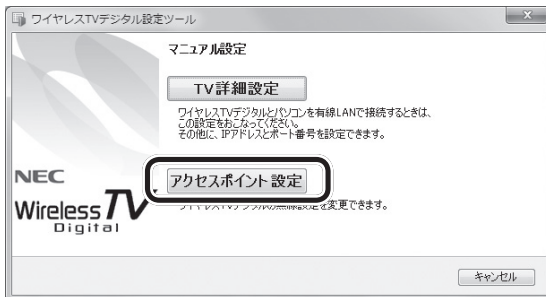
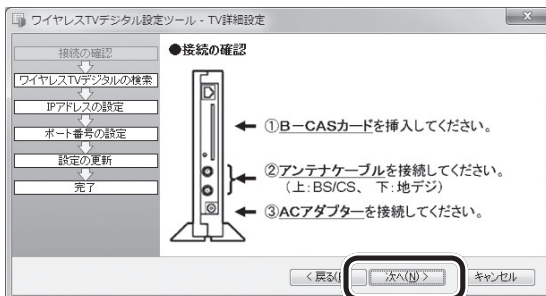
アクセスポイント設定

ワイヤレスLANアクセスポイント機能の設定を変更する手順を説明します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

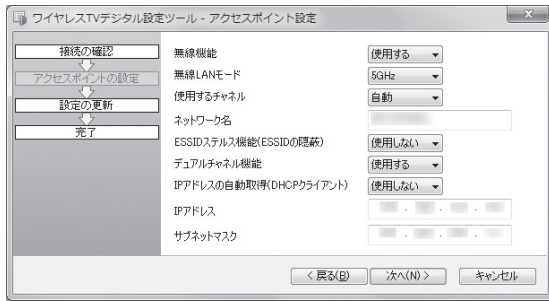
「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

2 「詳細設定」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ウィザード」画面が表示されます。

3 「アクセスポイント設定」をクリック

4 「次へ」をクリック

「ワイヤレスTVデジタルの検索」画面が表示され、しばらくすると、「無線LANアクセスポイントの設定」画面が表示されます。

チェック

- 無線LANアクセスポイントの設定を変更すると、インターネットなどに接続できなくなる場合があります。ネットワークについて十分な知識のない方は、変更しないことをおすすめします。
- ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。
- 起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

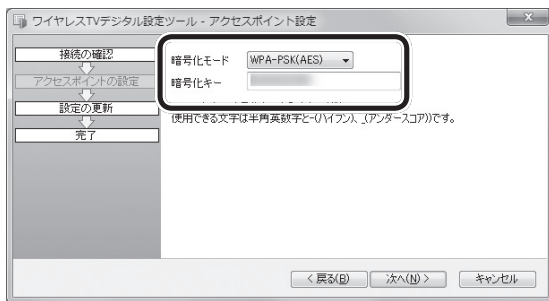
5 設定をする

次の項目について設定できます。

項目		出荷時の設定	初期設定 終了時の設定
無線機能	使用する/使用しない	使用する	使用する
無線LANモード	2.4GHz/5GHz	2.4GHz	5GHzまたは2.4GHz ※1
使用するチャネル	2.4GHz:1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13 5GHz:36,40,44,48　および、自動	自動	自動
ネットワーク名		WT-XXXXXX※2	WT-XXXXXX※2
ESSIDステルス機能 (ESSIDの隠蔽)	使用する/使用しない	使用しない	使用しない
デュアルチャネル機能	使用する/使用しない	使用する	使用しない
IPアドレスの自動取得 (DHCPクライアント)	使用する/使用しない	使用しない	使用しない
IPアドレス		192.168.179.197	192.168.179.197
サブネットマスク		255.255.255.0	255.255.255.0

※1:ご使用のパソコンが2.4GHzのみサポートの場合は、2.4GHzに設定され、5GHz/2.4GHzの両モードをサポートしている場合は、5GHzに設定されます。
※2:XXXXXXには、有線LANのMACアドレスの下6桁が表示されます

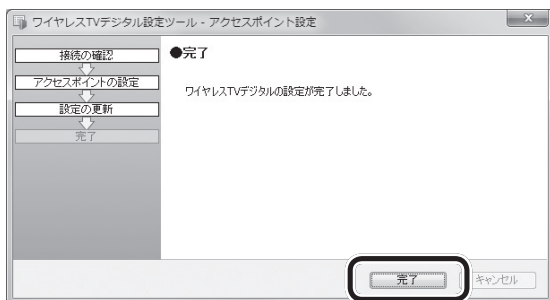
設定をする場合は、「アクセスポイント設定で設定を変更するときのご注意」(p.240)もあわせてご覧ください。

6 「次へ」をクリック

7 暗号化モードと暗号化キーを設定する

項目		出荷時の設定	初期設定 終了時の設定
暗号化モード	WEP/WPA-PSK(TKIP)/ WPA-PSK(AES)	WPA-PSK(AES)	WPA-PSK(AES)
暗号化キー(WEP 64bit、1番)		−	自動設定 (10桁の乱数)
暗号化キー(PSK)		−	自動設定 (10桁の乱数)

8 「次へ」をクリック

「ワイヤレスTVデジタルの更新」画面が表示されます。次の画面がでるまで、何も操作せずにお待ちください。

9 「完了」をクリック

10 [×] をクリック

これで、無線LANアクセスポイントの設定は完了です。

■ アクセスポイント設定で設定を変更するときのご注意

アクセスポイント設定で設定を変更すると、ワイヤレスTVデジタルと通信できなくなる、インターネットに接続できなくなるなどの問題が起きる場合があります。ネットワークについて十分な知識のない方は、変更をしないことをおすすめします。ここでは、各設定を変更した場合の注意項を記載しています。

●無線機能を使用しないに設定した場合
ワイヤレスTVデジタルとLANケーブルで接続してください。無線機能を使用しない設定に変更した場合、ワイヤレスTVデジタルとLANケーブルで接続していない状態では、ワイヤレスTVデジタルとの通信ができなくなります。

●無線LANモードの変更について
無線LANモードを5GHzから2.4GHzに変更すると、映像が乱れる場合があります。これは、2.4GHzのワイヤレスLANが、電子レンジなどの電波干渉を受けやすいためです。

●IPアドレスの変更について
IPアドレスを変更する場合、ワイヤレスTVデジタルとパソコンが同じネットワークに属するように変更してください。適切なIPアドレスが設定されていない場合、ワイヤレスTVデジタルと接続できなくなります。

●暗号化モードと暗号化キーの変更について

・暗号化モードをWEP、もしくはWPA-PSK(TKIP)に設定する場合、ワイヤレスTVデジタルのモードを「データ量制限モード」に変更してください。
・ワイヤレスTVデジタルの暗号化モードや暗号化キーは、パソコン本体の暗号化モードおよび暗号化キーと合わせて変更してください。ワイヤレスTVデジタルとパソコンの設定の双方が正しく設定されていない場合、ワイヤレスTVデジタルと接続できなくなります。パソコンの暗号化モードと暗号化キーは次の方法で確認できます。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共用センター」の「ワイヤレスネットワーク接続」をクリック
「ワイヤレスネットワーク接続の状態」の画面が表示されます。
2. 「ワイヤレスのプロパティ」-「セキュリティ」タブをクリック
3. 「パスワードの文字を表示する」をチェックする
表示された画面で、パソコンの暗号化モード(セキュリティの種類、暗号化の種類)と暗号化キー(ネットワーク セキュリティキー)を確認できます。

●デュアルチャネル機能の変更について

初期設定後は、デュアルチャネルは「使用しない」に設定されています。デュアルチャネルを「使用しない」場合は通信チャネル幅は20MHzで理論値最大通信速度は130Mbpsとなります。また、デュアルチャネルを「使用する」場合は通信チャネル幅は40MHzで理論値最大通信速度は300Mbpsとなります。

その他、設定を変更してワイヤレスTVデジタルと接続できなくなった場合は、一度、ワイヤレスTVデジタルをご購入時の設定に戻し、初期設定をやり直してください。

付録

ファイアウォールの設定

ファイアウォールの設定が必要な場合は、この説明をご覧ください。

ファイアウォール機能を無効/有効にする(Windowsファイアウォール)

■ ファイアウォール機能を無効にする

1 **「スタート」-「コントロールパネル」をクリック**

2 **「システムとセキュリティ」-「Windows ファイアウォール」をクリック**

3 **画面左の「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」をクリック**

4 **「ホームまたは社内(プライベート)ネットワークの場所の設定」と「パブリック ネットワークの場所の設定」両方の「Windows ファイアウォールを無効にする」をクリックして◉にし、「OK」をクリック**

5 **[x] をクリックして画面を閉じる**

■ ファイアウォール機能を有効にする

「ファイアウォール機能を無効にする」の手順4で「Windows ファイアウォールを有効にする」をクリックして◉にし、「OK」をクリックします。

その他のファイアウォールソフトをお使いの場合

Windows ファイアウォール以外のファイアウォールソフト(ウイルスバスターのパーソナルファイアウォールなど)をご利用の場合は、ソフトのマニュアルやヘルプをご覧になり、操作してください。

■ ファイアウォールの設定について

ファイアウォールソフトによっては、通信を許可する設定が必要な場合があります。
次の項目について、通信を許可してください。

・C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥BDTVMW.exe
・C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥bdtvmw¥BDTVGW.exe

付録

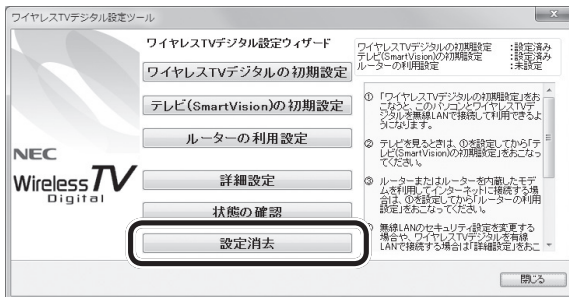
ワイヤレスTVデジタルをご購入時の設定に戻す

パソコンのワイヤレスTVデジタルに関連する設定の消去と、ワイヤレスTVデジタル本体の設定をご購入時の状態に戻す方法を説明します。

■ パソコンのワイヤレスTVデジタル関連の設定を消去する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」をクリック

「ワイヤレスTVデジタル設定ツール」が起動します。

2 「設定消去」をクリック

3 「次へ」をクリック

4 「はい」をクリック

5 「完了」をクリック

続いてワイヤレスTVデジタル本体の設定をご購入時の状態に戻します。

参照

ご購入時の設定について→付録の「ワイヤレスTVデジタルご購入時の設定」(p.246)

チェック

- ●ワイヤレスTVデジタル設定ツールは、テレビを視聴中、予約実行中、録画モード変換中、光ディスク書き込み実行中は起動できません。
- ●起動についての注意が表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

■ ワイヤレスTVデジタル本体の設定をご購入時の状態に戻す

1 ボールペンまたはつまようじを用意する

2 ワイヤレスTVデジタル本体の起動が完了したことを確認する

ワイヤレスTVデジタルの電源を入れた直後は、ワイヤレスTVデジタルをご購入時の状態に戻すことはできません。

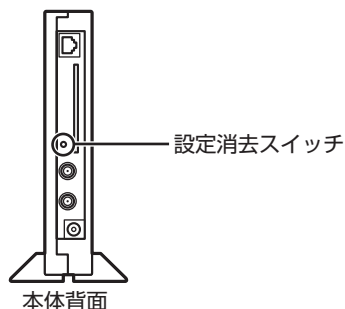
ワイヤレスTVデジタル本体前面にある電源ランプ(⏻)が点灯していること、TVランプ(TV)が消灯していることを確認してください。

電源ランプ(⏻)が消灯しているときは、ACアダプタと電源コードを接続して、電源ランプ(⏻)が点灯・TVランプ(TV)が消灯の状態になるまで待ってください。

3 ボールペンまたはつまようじの先で、本体背面の設定消去スイッチをTVランプ(TV)が点滅するまで押す

しばらくすると、電源ランプ(⏻)が点滅し、TVランプ(TV)が消灯します。

これで、ワイヤレスTVデジタルが再起動して、設定が初期状態になります。PART1をご覧になり、もう一度ワイヤレスTVデジタルをセットアップしなおしてください。

付録

ワイヤレスTVデジタルご購入時の設定

ワイヤレスTVデジタルは、ご購入時には次のように設定されています。

●TVチューナ

項目		設定
基本設定	ポート番号	7000
	IPアドレス	192.168.179.197
	サブネットマスク	255.255.255.0
	パートナ設定	なし

●ワイヤレスLANアクセスポイント

項目		設定
無線LAN設定	無線機能	使用する
	無線LANモード	2.4GHz
	使用するチャネル	自動
	ネットワーク名	WT-XXXXXX※
	ESSIDステルス機能（ESSIDの隠蔽）	使用しない
	デュアルチャネル機能	使用する
	IPアドレスの自動取得（DHCPクライアント）	使用しない
暗号化設定	暗号化モード	WPA-PSK(AES)
	暗号化キー（WEP 64bit、1番）	−
	暗号化キー（PSK）	−

※：XXXXXXには、有線LANのMACアドレスの下6桁が表示されます

付録

無線LAN機能　使用上の注意

ワイヤレスTVデジタルのワイヤレスLAN(無線LAN)機能使用時には次のことにご注意ください。

ワイヤレスTVデジタルの2.4GHzでの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

・ワイヤレスTVデジタルを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにワイヤレスLAN機能をオフにしてください。ワイヤレスLAN機能は、「アクセスポイント設定」(p.238)で、「無線機能」を「使用しない」に設定することで、オフにできます。
・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。

電波法令により、5GHzワイヤレスLAN(W52)機能は、屋内での使用に限定されます。

索 引 INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

キーボードショートカット

マウス専用画面では、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【Fn】+【PgUp】/【Fn】+【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
録画番組一覧拡大表示／非表示 ※2	【:】または【*】
予約一覧表示拡大／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】または【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

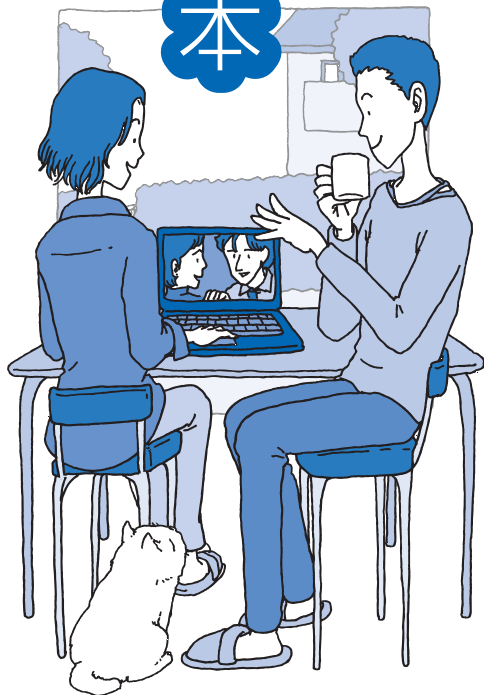
ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	【0】
1	【1】
2	【2】
3	【3】
4	【4】
5	【5】
6	【6】
7	【7】
8	【8】
9	【9】
プリセット①	【1】
プリセット②	【2】
プリセット③	【3】
プリセット④	【4】
プリセット⑤	【5】
プリセット⑥	【6】
プリセット⑦	【7】
プリセット⑧	【8】
プリセット⑨	【9】
プリセット⑩	【0】
プリセット⑪	【Ctrl】+【1】
プリセット⑫	【Ctrl】+【2】

※1

画面モード	【Fn】+【PgUp】	【Fn】+【PgDn】
スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンストモードへ
アドバンストモード時	ノーマルモードへ	アドバンストモード機能変更

※2　文字を入力していない状態で操作してください。

※3　録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

LaVie

810601849A

初版 **2009年10月**
NEC
853-810601-849-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。